

# 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

- 1 大規模自然災害が発生した時でも人命の保護が最大限図られる  
…P 1 ～P 2 8
- 2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる。  
(それがなされない場合の必要な対応を含む)  
…P 2 9 ～P 5 8
- 3 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する。  
…P 5 9 ～P 6 3
- 4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報発信機能は確保する。  
…P 6 4 ～P 6 6
- 5 大規模自然災害発生後であっても、経済活動（サプライチェーンを含む）  
を機能不全に陥らせない。  
…P 6 7 ～P 7 8
- 6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要最低限の電気、  
ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これら  
の早期復旧を図る。  
…P 7 9 ～P 9 7
- 7 制御不能な二次災害を発生させない。  
…P 9 8 ～P 1 2 2
- 8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復  
できる条件を整備する。  
…P 1 2 3 ～P 1 3 7

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課・総務課	<b>担当係</b>	都市G・総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳、有馬直希				
強靱化のための施策プログラム	① 住宅・建築物の耐震化等				重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
<p>○大地震による被害を未然に防ぎ、安全で安心な生活を守るため、「鏡石町耐震改修促進計画」で住宅及び特定建築物（多数の者が利用する学校等で階数3以上床面積1,000㎡以上のもの等）の耐震化を推進している。</p> <p>住宅は、町民生活の基盤として、特定建築物となる公共建築物は防災拠点や避難施設等として、重要な役割を担っており、建築物の倒壊等による被害を最小限度に抑えるため、福島県及び関係団体との連携を一層強化しつつ、住宅・建築物の耐震化に係る取組を促進していく必要がある。</p> <p>本町の住宅耐震化率は66.80%と全国平均約85%を下回っており、耐震化を早急に進める必要がある。</p> <p>また、住宅耐震改修や不燃化対策の促進を図っている。</p> <p>○防災普及として住宅用火災警報器設置を推進しているが、本町の設置率は約70%で全国平均の81.6%を下回っている。</p> <p style="padding-left: 20px;">*住宅・建築物耐震診断 *住宅・建築物耐震改修 *住宅用火災警報器 *感震ブレーカー設置（防災）</p>									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
<p>○「鏡石町耐震改修促進計画」の適宜見直しを図り、住宅及び特定建築物（多数の者が利用する階数3以上床面積1,000㎡以上のもの等）の建築物の耐震化を推進する。</p> <p>○防災普及として、住宅用火災警報器設置については、全設置を早急に進める必要がある。</p> <p>また、今後は感震ブレーカー設置も推進していく必要がある。</p> <p style="padding-left: 20px;">*住宅用火災警報器の設置率100%に向けた対策を行う。 *感震ブレーカー設置の普及に向けた対策を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">*住宅・建築物耐震診断 *住宅・建築物耐震改修 *木造住宅耐震診断 *木造住宅耐震改修</p> <p style="padding-left: 20px;">*ブロック塀等の安全確保に関する事業</p>									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン		<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度  平成26年度～ 平成25年度～令和13年度					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>					
	防災・安全交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）			国					
	福島県安全安心耐震促進事業、福島県安心耐震サポート事業			県					
	防災力の強化関連事業、防災施設整備事業			鏡石町					
	鏡石町木造住宅耐震診断者派遣事業、鏡石町木造住宅耐震改修助成事業			民間					
<b>指標</b>									
<b>指標名</b>	住宅耐震化率		<b>計画名</b>	鏡石町耐震改修促進計画		<b>現状値</b>	(平成20年度) 66.80%	<b>目標値</b>	(平成27年度) 90%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
%	目標値	90							
	実績値	66.8							
<b>指標名</b>	特定建築物の耐震化率		<b>計画名</b>	鏡石町耐震改修促進計画		<b>現状値</b>	(平成20年度) 67.90%	<b>目標値</b>	(平成27年度) 90%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
%	目標値	90							
	実績値	67.9							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・福祉子ども課 健康環境課	<b>担当係</b>	総務G・子どもG・健康G	<b>担当名（内線）</b>	灘山教史、正木諒、斎藤則行		
強靱化のための施策プログラム	② 町有施設（庁舎等）の耐震化等				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>大規模災害発生時においても、必要な行政機能を維持し、迅速かつ確かな災害対応を行うため、防災拠点となる庁舎・公共施設の耐震性を確保する必要があるため、公共施設の耐震化を進めている。</p> <p>また、併せて、施設利用者や町利用者の安全確保のために一時避難所としての機能などを備えるため児童福祉施設の安全性や耐震性を確保する必要がある。耐震対策については、全庁的な進行管理を行いながら公共施設の耐震化を進めており、耐震改修や不燃化対策の促進を図っている。</p> <p>鏡石保育所、児童館においては、築20年以上経過し施設の老朽化が進んでおり改修が必要な個所も見受けられる。</p> <p>外壁や屋根は大規模な改修が必要であり、大規模地震、豪雨など大規模な自然災害が発生した場合は、建物被害が予想され、保育環境への影響が懸念される。</p> <p>役場庁舎の耐震化は平成26年度に改修工事済み。</p> <p>公営住宅（境・東町団地）、定住促進住宅は耐震設計基準の改正後に建築されており、耐震性の問題はない。</p> <p>杉林団地は入居者が全て退去した建物について随時解体・撤去を行っている。</p> <p style="text-align: center;">* 役場庁舎、保育所、町公民館、地区集会所、構造改善センター、鳥見山体育館、保健センター、公営住宅（境・東町） 定住促進住宅（旭町）、児童館、陸上競技場の整備耐震化 * 杉林団地の撤去</p>							
<p>○大規模地震等の災害発生時に応急対策活動の拠点となる施設（庁舎・公共施設・避難所）及び不特定多数の者が使用する一定規模以上の建築物について、全庁的な進行管理を行いながら公共施設の耐震化を進めていく必要がある。</p> <p>また、耐震化の必要性の検証と今後の施設の在り方を検討する。</p> <p>○平成31年3月に鏡石町町営住宅等長寿命化計画が策定され、計画に基づき公営住宅（境・東町団地）、定住促進住宅の改善・長寿命化を行う。</p> <p>○計画に策定されていない施設に関しては、老朽化に伴い随時改修工事を行う。</p> <p style="text-align: center;">* 鏡石保育所（H6）の改修・耐震化 * 鏡石町児童館（H8）の改修・耐震化 * 保健センター・成田保健センター * 「仮称 健康福祉センター」への機能移転 * 鏡石町児童ふれあい交流館 * 公共施設等耐震化・老朽化対策事業</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 子ども・子育て支援事業計画		<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 令和2年度～令和6年度			
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
	次世代育成支援対策施設整備交付金、保育所等整備交付金			国			
	福島県安心子ども基金特別対策事業補助金、認定こども園施設整備交付金			県			
	「仮称 健康福祉センター」建設事業 役場庁舎耐震改修事業、鏡石町町営住宅等長寿命化計画			鏡石町			
				民間			
<b>指標</b>							
指標名	児童福祉施設耐震化率		計画名	現 状 値	(令和元年度) 0%	目 標 値	(令和3年度)
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	0%	0%	10%	20%	50%	60%
	実績値	0					
指標名			計画名	現 状 値	(平成31年度)	目 標 値	(令和6年度)
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値		境団地手すり設置	境団地A棟外壁改修実施設計	境団地A棟外壁・屋根改修	境団地B棟外壁改修実施設計	境団地B棟外壁・屋根改修
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	教育課	<b>担当係</b>	教育G	<b>担当名（内線）</b>	角田智晴				
強靱化のための施策プログラム	③ 教育施設の耐震化等				重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
<p>○学校等の教育施設は、地震等の災害発生時に児童・生徒の安全を確保するとともに、避難所等として使用が想定される建物であることから、学校施設の耐震化や天井等の落下防止対策、電気・給排水衛生設備等の適切な改修・維持管理を進めている。</p> <p>今後も引き続き、耐震性が確保されていない教育施設の耐震化や学校再編等に伴う施設整備、老朽化した施設の改修等を計画的に推進していく必要がある。</p> <p>○学校施設（校舎、体育館）、幼稚園の耐震化及び学校施設の老朽化。</p> <p>○文化財施設の保護等：町内の文化財の状況確認を行う文化財パトロールや、文化財と寺社を対象に文化財防火デー（毎年1月26日）に合わせた文化財防火査察を防火対策の強化のため、須賀川消防署鏡石分署の協力を得ながら実施している。</p> <p>○学校における防災教育の充実。</p>									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
<p>○学校施設における耐震については、平成28年度の中学校大規模改修で「第一小学校」「鏡石中学校」で完了済み。</p> <p>○第二小学校学校施設及び設備が老朽化していることから、児童がより良い学習や学校生活が送れるように、計画的に施設を改修して、教育環境の改善を図る。</p> <p>○文化財保護・事故のきっかけの排除や、災害時の状況悪化を防止するため、文化財施設の情報を整理し、現況確認を継続して実施する。また、文化財そのものの保護を進めるほか、所有者に対する防火対策の意識高揚を図るため情報提供等の活動を実施する。</p> <p>* 第二小学校施設の耐震化整備等（平成30年度～終了時期は未定）＜学校施設環境改善交付金＞</p>									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成26年度～				
<b>具体的な取組 【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>				
					国				
					県				
	鏡石町立第二小学校整備事業 文化財保護事業（文化財パトロール、文化財防火査察）				鏡石町				
				民間					
<b>指標</b>									
<b>指標名</b>	パトロール等の回数（文化財）			<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(平成30年度) 2	<b>目標値</b>	(令和3年度) 3
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
<b>回</b>	<b>目標値</b>	2	2	3	3	3	3		
	<b>実績値</b>								
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	<b>目標値</b>								
	<b>実績値</b>								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗			
強靱化のための施策プログラム	④ 社会福祉施設の耐震化				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○社会福祉施設については、自ら避難することが困難な者も多いため入所者の安全を確保するとともに、災害時にあっても福祉サービスの提供を継続し、被災した患者の受入れや福祉避難所としての機能を確保する必要があることから、耐震化等の防災・減災対策が求められている。</p> <p>○老人福祉センター、特別養護老人ホーム（鏡石ホーム）の耐震化等の対策がされていない。</p>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○社会福祉施設には、耐震化されていない施設が存在することから、今後も引き続き、未耐震化施設について、耐震化整備を促進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 老人福祉センター、特別養護老人ホーム（鏡石ホーム）の耐震化</li> <li>* 耐震改修や不燃化対策の促進</li> </ul>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>			
					国			
					県			
					鏡石町			
					民間			
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	特別養護老人ホーム耐震化率	<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	(令和1年度) 0	<b>目標値</b>	(令和3年度) 20
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
%	目標値	0	10	20	50	100		
	実績値	0						
<b>指標名</b>			<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値							
	実績値							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課	<b>担当係</b>	環境 G	<b>担当名（内線）</b>	齋藤則行
------------	-------	------------	------	----------------	------

強靱化のための施策プログラム	⑤ 公立岩瀬病院との情報共有	重点
----------------	----------------	----

### リスクシナリオ

番号	内容
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生

### 現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】

○病院施設や社会福祉施設については、自ら避難することが困難な者も多い入院患者・入所者の安全を確保するとともに、災害時にあっても医療・福祉の提供を継続し、被災した患者の受入れや福祉避難所としての機能を確保する必要があることから、耐震化等の防災・減災対策が求められている。

病院施設や社会福祉施設には耐震化されていない施設も存在することから、今後も引き続き、未耐震化施設について耐震化整備を促進する必要がある。

○分担金・出資金の支出

### 現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】

○災害時にあっても医療の提供を継続し、被災した患者の受入れなどの機能を確保する必要があることから、施設の充実を図っていくための支援を行う。緊急医療体制の強化・充実への支援を行う。

構成市町村として、分賦金及び出資金を支出する。（新設医療分野（周産期）の負担金も合わせて支出する）

●分担金・出資金の支出

<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度
<b>具体的な取組 【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>
			国
			県
			市町村
			民間

### 指標

指標名	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	都市G	<b>担当名（内線）</b>	有馬直希			
強靱化のための施策プログラム		⑥ 都市公園施設の減災対策等			重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○鳥見山公園のうち、鳥見山体育館については、東日本大震災当時に大規模避難所として多くの避難住民を受け入れた施設であるが、非構造部材の落下・転倒が懸念されることから、減災化対策を進める必要がある。</p> <p>また、今後老朽化が進む都市公園施設、陸上競技場、町民プールすいすいについて、長寿命化計画に基づく施設更新と適切な維持管理に継続して取り組み、都市公園の機能保全と公園利用者の安全を確保していく必要がある。</p> <p>なお、都市計画マスタープラン、住宅マスタープラン、緑の基本計画を適宜、見直しするとともに、適正な公園整備を進めることが必要である。</p>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○都市公園は、住民のレクリエーションのための活動場所や都市における環境保全・景観形成の役割を有する他、都市火災の延焼遅延や災害発生時の避難場所等としての防災機能を備えた公共施設であり、不特定多数の者が利用する施設であることを踏まえた災害への備えが必要である。</p> <p>このことから、都市公園の新規整備時はもちろん、今後老朽化が進む都市公園施設や公園内体育施設についても「鏡石町公園施設長寿命化計画」に基づき、適切な維持管理に継続して取り組み、都市公園の機能保全と公園利用者の安全を確保していく。</p> <p>鳥見山体育館等、災害時に避難住民の受け入れが想定される施設については、長寿命化対策事業にて減災化対策をあわせて進めたい。</p> <p>なお、都市計画マスタープランを適宜、見直しするとともに、適正な公園整備を進める。</p> <p style="margin-left: 20px;">* 鳥見山陸上競技場の耐震化 * 鳥見山公園外の適正な維持管理 * JR鏡石駅を中心としたコンパクトなまちづくりの促進 * 緑化啓発、緑の基本計画、住宅マスタープラン、都市計画マスタープラン</p>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>				
				国				
				県				
	鏡石町公園施設長寿命化計画、社会資本整備総合交付金（防災・安全）			鏡石町				
			民間					
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	長寿命化対策完了箇所数	<b>計画名</b>	鏡石町公園施設長寿命化計画		<b>現況値</b>	(平成28年度) 0	<b>目標値</b>	(令和8年度) 38
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
箇所	目標値	7	4	5	6	1	5	
	実績値	2						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現況値</b>		<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	目標値							
	実績値							

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・大内秀人					
<b>強靱化のための施策プログラム</b>	⑦ 幹線道路・橋梁施設の耐震対策等					<b>重点</b>				
<b>リスクシナリオ</b>										
<b>番号</b>	<b>内容</b>									
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生									
<p><b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b></p> <p>○避難対策や物流輸送に必要な防災拠点・役場等を結ぶ緊急輸送路において、内陸直下型地震に対応した橋梁への耐震対策や幹線道路の維持補修整備を計画的に実施している。</p> <p>また、高度経済成長期以降に集中的に整備されて老朽化した橋梁について、予防保全を取り入れた長寿命化対策に取り組んでいる。</p> <p>今後も引き続き、緊急輸送路における橋梁の耐震対策や幹線道路の維持補修・整備によって、緊急輸送ネットワークの強化を図るとともに、長期的な維持管理費用の縮減と安全性の確保に向けた橋梁の長寿命化対策を進めていく必要がある。</p> <p>大規模地震等が発生した場合であっても、緊急輸送路や避難に必要な道路・歩道等における安全かつ円滑な交通を維持するため、補修整備に取り組んでいる。</p> <p>住宅密集地への防火水槽の設置や耐震性防火水槽への計画的な更新を図るとともに、保守点検による不具合の早期把握・更新対応に努め、今後も引き続き、交通安全対策も含めて適正に維持管理していく必要がある。</p>										
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>										
<p>○緊急輸送路等の指定となっている消防署と鳥見山公園を結ぶ町道笠石476号線の歩道新設工事を継続して進め、安全かつ円滑な交通を維持する事業に取り組んでおり、町道北町・堀米線、町道笠石・鏡田線では舗装点検結果をもとに、修繕に努めている。</p> <p>また、町道全体の道路附属物の点検を行い、健全度判定結果に基づき、修繕に努め、道路パトロールにて、地元との連携を通して計画的な更新を図るとともに維持補修に努めている。</p> <p>○高齢化橋梁の増大に伴い、道路交通の安全性を確保するうえで、これまでの事後的対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図ることにより、橋梁の長寿命化に対するコストの縮減を図って行く。</p> <p>なお、5年に1度の法定点検を実施し、健全度判定結果に基づき修繕計画を立て実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 幹線道路網の整備 * 道路の維持補修・定期的な点検 * 通学路の整備・補修 * 排水施設の整備 * 歩道・側溝整備</li> <li>* 舗装道路整備、ポケットパーク整備 * 防火水槽設置・耐震性防火水槽への更新 * 橋梁の耐震化・長寿命化修繕</li> <li>* 都市施設の整備推進 * 笠石鏡田線・高久田一貫線道路改良 * 牧場線・大山南町線・北町堀米線維持管理等</li> <li>* 北原不時沼線・笠石西中線整備 * 久来石・行方・蓮池西線道路改良、踏切拡幅 * 東部環状線接続町道改良</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業【事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円（うち社会資本整備総合交付金21.0億円）】</li> </ul> <p>●防災・安全交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*（他）笠石476号線ほか旭町工区【事業期間 平成29年度～令和4年度 総事業費 65.0百万円】</li> <li>*（他）鏡田89号線鏡沼工区【事業期間 平成31年度～令和2年度 総事業費 25.0百万円】</li> <li>*（他）笠石482号線外1路線【事業期間 平成31年度～令和4年度 総事業費 70.0百万円】</li> <li>*（1）成田・玉川線ほか成竜橋ほか【事業期間 平成27年度～ 総事業費 405百万円】</li> <li>* 道路施設点検(橋梁)【事業期間 平成27年度～ 総事業費 25百万円】</li> <li>*（1）北町・堀米線ほか2号線ほか【事業期間 平成30年度～ 総事業費 251百万円】</li> </ul>										
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>					
					国					
					県					
	鏡石駅東第1土地区画整理事業、社会資本整備総合交付金事業、 防災・安全交付金事業、公共施設等適正管理推進事業				鏡石町					
				民間						
<b>指標</b>										
<b>指標名</b>	笠石476号線			<b>計画名</b>	笠石476号線歩道新設工事		<b>現状値</b>	(令和1年度) 30%	<b>目標値</b>	(令和5年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
	<b>目標値</b>	30	50	70	90	100				
	<b>実績値</b>	30								
<b>指標名</b>	久来石・行方・蓮池西線			<b>計画名</b>	久来石・行方・蓮池西線道路改良工事		<b>現状値</b>	(令和1年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和6年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
	<b>目標値</b>	40	50	60	70	80	100			
	<b>実績値</b>	40								
<b>指標名</b>	東町地内公道整備			<b>計画名</b>	東町地内道路改良工事		<b>現状値</b>	(令和1年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和2年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
	<b>目標値</b>	40	100							
	<b>実績値</b>	40								

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	総務課・産業課	<b>担当係</b>	まちづくり調整G・振興G	<b>担当名(内線)</b>	小林洋一・正木諒		
強靱化のための施策プログラム		⑧ 空き家対策の推進			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況(課題等の整理)：脆弱性評価】</b>							
<p>○適切な管理が行われていない空き家は、大規模自然災害の発生時において倒壊に伴う避難経路の閉鎖や火災発生の危険性が高く、周辺環境の衛生、美観、防犯等の課題も有している。</p> <p>地域の実情を踏まえ、空き家対策が計画的かつ円滑に実施されるよう、「鏡石町空き家対策計画」を策定した。</p> <p>空き家の倒壊・火災等に伴う被害拡大や交通障害の発生を防止するため、今後も引き続き、国、県、及び民間団体等が連携して総合的な空き家対策を推進していく必要がある。</p> <p>○空き店舗対策としては、安全、安心して過ごせる街並みを形成するために、改修費用や家賃補助制度を導入している。</p> <p>●空き家対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 空き家バンクの設置 * 空き家改修事業補助金制度の推進(空き家改修費補助・空き家家財道具処分費補助)</li> <li>* 空き店舗改修 * 家賃補助制度の推進</li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○「鏡石町空き家対策計画」に基づき、適正な管理推進を進めることとし、空き家の有効活用を推進していく。</p> <p>○産業競争力強化法に基づき認定を受け、平成28年4月に策定した「鏡石町創業支援事業計画」に基づき、創業支援事業者である鏡石町商工会や地域金融機関との連携を図り、町は総括的立場として広報や活動や情報の集約を行い、新規の創業創出を図る。</p> <p>既存空き店舗等を利用した、中心市街地の集客力向上のための店舗、その他賑わいの創出に寄与する施設として活用する場合の店舗を活用した場合の店舗を活用する際の改修費・家賃について補助し、空き店舗の解消と新規創業者への創業支援のメニューとしても支援を図る。</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 空き家対策計画 鏡石町創業支援事業計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 令和1年度～令和5年度 平成28年度～令和2年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	鏡石町空き店舗等対策事業、鏡石町創業スタートアップ支援事業 空き家バンク登録物件改修費補助事業・空き家バンク登録物件家財道具処分費補助事業			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	店舗改修数	<b>計画名</b>	鏡石町創業支援事業計画	<b>現状値</b>	(平成30年度) 0件	<b>目標値</b>	(令和3年度) 1件
<b>単位</b>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件	目標値	1	1	1	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
	実績値				<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<b>指標名</b>	家賃補助件数	<b>計画名</b>	鏡石町創業支援事業計画	<b>現状値</b>	(平成30年度) 3件	<b>目標値</b>	(令和3年度) 4件
<b>単位</b>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件	目標値	1	2	4	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
	実績値				<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<b>指標名</b>	空き家バンク数	<b>計画名</b>	空き家等対策計画	<b>現状値</b>	(令和1年度) 0件	<b>目標値</b>	(令和3年度) 3件
<b>単位</b>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件	目標値	1	1	1	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
	実績値				<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<b>指標名</b>	空き家改修費補助事業件数	<b>計画名</b>	空き家等対策計画	<b>現状値</b>	(令和1年度) 0件	<b>目標値</b>	(令和3年度) 3件
<b>単位</b>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件	目標値	1	2	4	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
	実績値				<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<b>指標名</b>	空き家家財道具処分費補助事業件数	<b>計画名</b>	空き家等対策計画	<b>現状値</b>	(令和1年度) 0件	<b>目標値</b>	(令和3年度) 3件
<b>単位</b>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件	目標値	1	2	4	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
	実績値				<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム		⑨ 消防広域応援体制の強化			重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○大規模災害や特殊災害の発生により、須賀川地方広域消防組合と消防活動や救急活動における連携を図っている。</p> <p>○須賀川広域消防組合との連携強化に努めており 現在、模擬火災訓練の実施や防災行政無線の支局を設置するなど、各種災害に対し迅速かつ的確な対応が図れるよう連携を図っている。</p>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○須賀川地方広域消防組合と相互に連携した取組みを進め、実効性を確保することが重要である。</p> <p>大規模災害発生時において、広域消防応援が迅速かつ円滑に行われるため、県総合防災訓練等への参画による連携強化及び相互応援協定の実効性の確保を図るとともに、消防広域応援体制の充実・強化に取り組んでいく必要がある。</p> <p>現在、模擬火災訓練の実施や防災行政無線の支局を設置するなど、各種災害に対し迅速かつ的確な対応が図れるよう連携を図っているが、より広域での災害に対応できるよう、広域訓練への参加や通信システムの充実を図っていく必要がある。</p> <p>●須賀川広域消防組合との連携</p> <p style="margin-left: 20px;">* 須賀川消防署鏡石分署の建替え(用地確保) * 高規格車両等(救急・消防・救助車両)</p> <p style="margin-left: 20px;">* ICTを活用した情報共有システムの充実強化 * 各種災害に対応した防災訓練等の実施</p>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>					
			国					
			県					
	防災力の強化関連事業、防災施設整備事業		鏡石町					
		民間						
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	広域消防訓練への参加回数	<b>計画名</b>	第5次総合計画		<b>現状値</b>	(令和元年度) 1	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>	
回	目標値	1	2	2	2	2	2	
	実績値	1						
<b>指標名</b>	町防災訓練等の実施回数	<b>計画名</b>	第5次総合計画		<b>現状値</b>	(令和1年度) 1	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>	
回	目標値	1	1	1	1	1	1	
	実績値	1						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳							
強靱化のための施策プログラム		⑩ 消防団の充実・強化			重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○消防団は、地域に密着して住民の安全・安心を守る地域防災の要となる存在であるが、就業構造の変化やライフスタイル、地域の連帯意識の希薄化などの影響により、消防団員の減少及び高齢化が進んでいることから、若い世代の消防団加入促進に向けた取り組みを実施している。</p> <p>今後も引き続き、若者や女性の入団促進を推進するとともに、消防団の活動に対して地域や雇用者側からの理解・支援が得られる環境整備、特定の消防団活動（日中の消火活動や災害時の後方支援等）のみを行う消防活動支援隊を組織している。</p> <p style="margin-left: 20px;">* 鏡石町地域防災計画 * 鏡石町地域水防計画 * 消防団車輛の更新 * 消防団屯所の改築</p> <p style="margin-left: 20px;">* 消防団員の定数確保</p>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○鏡石町地域防災計画の見直しや水防計画策定により、地域消防団としての意識高揚を図る必要がある。</p> <p>また、消防車輛の更新や消防団屯所の改築・耐震化を進めることで、消防団員の環境改善、予防消防活動の充実・強化を図る必要がある。</p> <p style="margin-left: 20px;">* 鏡石町地域防災計画の定期的な見直し * 鏡石町地域水防計画の早期の策定 * 消防団車輛の更新 * 消防団屯所の改築</p> <p style="margin-left: 20px;">* 消防団員の待遇改善、定数確保 * 消防団員の装備の充実、準中型免許取得支援</p> <p style="margin-left: 20px;">* 無線やインターネットを利用した通信システムの充実</p>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～							
<b>具体的な取組 【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>							
					国							
					県							
	防災力の強化関連事業、地域防災体制整備事業、防災施設整備事業				鏡石町							
					民間							
<b>指標</b>												
<b>指標名</b>	消防団員数			<b>計画名</b>	第5次総合計画		<b>現状値</b>	(令和元年度) 169		<b>目標値</b>	(令和6年度) 180	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
人	目標値	169	171	173	175	177	180					
	実績値	169										
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務 G	<b>担当名 (内線)</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム		⑪ 災害に強いまちづくり・消防対策の再構築			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
1-1	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模災害や特殊災害の発生による火災等を発生させない取り組みを進めることが重要であることから、初期消火の体制づくりや消防力の強化、未然に防止する観点から、町民ひとりひとりの心がけを高めるため、防災訓練を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 防災訓練の実施 * 自主防災組織の設置 * 防犯灯の新設、修繕、LED化の推進 * 消防活動支援隊設置・充実強化</li> <li>* 国土利用計画（見直し） * 都市計画マスタープラン（見直し） * 住宅マスタープラン（見直し）</li> <li>* 鏡田・高久田地区計画の整備・推進 * 広報広聴の充実・強化</li> <li>* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実</li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○大規模災害や特殊災害における初動体制づくりの強化を図ることはもちろん、住宅が密集した地域の対策や地域の安全対策等への取り組みを充実、強化していく必要がある。災害発生時において、一人でも多くの人々が自力で避難できるような健康づくりへの取り組みが必要である。</p> <p>緊急時の町内一斉放送による災害への対応も住民へ更なる情報共有を進めるとともに意識の高揚を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 防災訓練の実施 * 自主防災組織の設置 * 防犯灯の新設、修繕、LED化の推進 * 消防活動支援隊設置・充実強化</li> <li>* 国土利用計画（見直し） * 都市計画マスタープラン（見直し）、住宅マスタープラン（見直し）</li> <li>* 都市施設の整備・推進 * 健康・福祉のまちづくりの推進</li> <li>* 広報広聴の充実・強化 * デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実</li> <li>* インターネットを活用した防災情報共有システムの導入</li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 国土利用計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成27年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成24年度～令和3年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
	防災力の強化関連事業、地域防災体制整備事業、防災施設整備事業	鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
指標名	防災訓練の実施回数	計画名		現状値	(令和元年度) 1	目標値	(令和6年度) 2
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
回	目標値	1	1	2	2	2	2
	実績値	1					
指標名	消防活動支援隊員数	計画名		現状値	(令和元年度) 227	目標値	(令和6年度) 235
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人	目標値	227	229	231	233	235	235
	実績値	227					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課・総務課	<b>担当係</b>	事業G・総務G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・渡辺光徳
強靱化のための施策プログラム	① 河川管理施設の整備等				重点
<b>リスクシナリオ</b>					
番号	内容				
1-2	異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水				
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>					
<p>○台風や集中豪雨などの治水対策として、河川改修等を実施するとともに、大規模自然災害が発生したとしても迅速かつ的確な初動対応を実現できるよう河川管理等施設等の適正管理に取り組んでいる。</p> <p>水門・樋門等の河川管理施設については、県管理施設であり、耐用年数を超過する施設となっていることから、長寿命化計画に基づく計画的な補修・更新を行い、河川管理施設の正常な状態を常時確保する必要がある。</p> <p>なお、阿武隈川等の水門・樋門管理については、地元成田地区に業務委託しており、適正な管理に努めている。</p> <p>しかしながら、台風や集中豪雨においては、現地での目視確認による作業であり、河川氾濫を想定すると大変危険が伴うことから、簡易型水位計やライブカメラの設置を望む。</p> <p style="text-align: center;">* 阿武隈川・鈴川の改修整備 * 簡易型水位計の設置、ライブカメラの設置 * 国への管理移管</p>					
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>					
<p>○浸水対策として阿武隈川の水門・樋門管理については、継続して地元成田地区・河川管理者との連携を図り、維持管理に努めていく。</p> <p>令和元年台風19号による阿武隈川等の堤防決壊による水害を踏まえた浸水被害対策として、国、県、地元地区と連携した取り組みを行い、浸水被害の軽減、社会経済被害の最小化を目標としていく。</p> <p>取り組みを行う中で、河川改修整備、簡易水位計の設置、ライブカメラの設置等について国・県に管理要望していく。</p> <p style="text-align: center;">* 阿武隈川・鈴川の改修整備 * 簡易型水位計の設置、ライブカメラの設置 * 国への管理移管 * 高台移転</p>					
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 阿武隈川水系河川整備計画 郡山圏域河川整備計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成19年3月～30年間 平成18年4月～30年間		
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>		
	防災・減災国土強靱化のための3カ年緊急対策、阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト		国		
	福島県豪雨対策緊急河川整備事業、阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト		県		
	阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト		鏡石町		
		民間			
<b>指標</b>					
指標名		計画名		現状値	目標値
単位	年度	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				
指標名		計画名		現状値	目標値
単位	年度	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G	<b>担当名（内線）</b>	佐藤誠							
強靱化のための施策プログラム	② 湛水防御施設の整備等				重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
1-2	異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○東日本大震災では、地盤沈下、農地の表土流出、農業用施設の損壊等の被害が生じたことから、被災した既存の湛水防除施設の早急な復旧整備と機能強化に取り組んだ。</p> <p>今後も引き続き、湛水被害の発生防止のために必要な施設整備を行うとともに、既存施設について機能実態を調査・把握し、適時適切に維持管理を行っていく必要がある。</p> <p style="margin-left: 20px;">* 排水機、排水樋門、排水路等の整備・改修   * 雨水渠の整備   * 排水路網の整備</p>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○令和元年台風19号による阿武隈川等の堤防決壊による水害を踏まえた湛水被害対策として、阿武隈川、釈迦堂川、鈴川、隈戸川それぞれの水門・樋門については、各地元地区への管理委託、町直営による維持管理に努め、継続して地元・県との連携を図っていく、湛水被害、社会経済被害の最小化を目的とし取り組んでいく。</p> <p>○大規模災害や特殊災害の発生に対応すべく体制強化を図っていく。</p> <p style="margin-left: 20px;">* 排水機、排水樋門、排水路等の整備・改修（基盤整備事業、農業水利等長寿命化・防災減災事業）</p> <p style="margin-left: 20px;">* 雨水渠の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">* 排水路網の整備</p>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度							
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>							
					国							
					県							
	河川維持管理業務委託				鏡石町							
				民間								
<b>指標</b>												
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
		目標値										
		実績値										
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
		目標値										
		実績値										

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム	③ 洪水対策体制の整備・洪水ハザードマップの作成				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
1-2	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○国による「避難勧告等に関するガイドライン」が平成29年1月に改正され、避難勧告等発令時に情報を受け取る立場に立った情報提供のあり方が追加されたことから、福島県では市町村へ避難勧告等を遅滞なく発令できるよう、ガイドラインに沿った発令基準の策定の支援・呼びかけに取り組んでいる。</p> <p>当町においても、防災情報提供システムにより、最新の災害・被害情報を速やかに町民に対して情報提供するため、防災行政防線により呼びかけている。</p> <p style="text-align: center;">* 洪水ハザードマップ作成 * 防災マップ等の作成 * 避難所案内標識設置</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○国による「避難勧告等に関するガイドライン」に沿って福島県と連携を強化に努める。</p> <p>最新の災害・被害情報を速やかに町民に対して提供するため、防災行政防線を始め、通信手段の多重化などを整備していく必要がある。</p> <p>台風や集中豪雨などによる洪水災害から町民の生命・財産を守るため、水害リスク情報の提供により、引き続き、避難勧告等の発令基準策定や洪水ハザードマップ・防災マップを作成するとともに、避難所案内標識を設置して町民を速やかに誘導する。</p> <p>各関係機関が連携して洪水対策体制の整備を推進し、防災・減災対策の充実を図っていく必要がある。</p> <p style="text-align: center;">* 洪水ハザードマップ作成 * 防災マップ等の作成 * 避難所案内標識設置 * 洪水ハザードマップ・防災マップ等の作成(見直し) * 避難所案内標識等の設置・充実 * まるごと町ごとハザードマップの作成 * 出水期における広報の充実</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	防災力の強化関連事業、地域の防災体制整備事業、防災施設設備整備事業			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	出水気における広報の実施	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
<b>回</b>	目標値	0	1	1	2	2	2
	実績値	0					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

担当課	総務課	担当係	総務G	担当名(内線)	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム	④ 水害・土砂災害からの「逃げ遅れゼロ」実現のための連携体制の構築			重点			
リスクシナリオ							
番号	内容						
1-2	地震等による建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や火災による死傷者の発生						
現在の取組状況【目標に対する現在の状況(課題等の整理)：脆弱性評価】							
<p>○全国各地で洪水等の水災害が頻発・激甚化していることを踏まえ、河川管理や水防に関わる多様な関係者による連携体制を構築しつつ、町防災対策本部を設置しているが、防災関係機関相互の連携を強化するとともに、防災組織体制の整備を図っている。</p> <p>また、防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムを活用した情報収集を行っており、町民に対する災害・被害情報を提供する手段として町防災行政無線の整備充実に努めている。</p> <p>洪水等からの「逃げ遅れゼロ」実現に向けた要配慮者利用施設の避難体制の強化対策として、平成29年6月に「水防法」及び「土砂災害防止法」が改正されたことに伴い、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者の把握に努めている。</p> <p>さらには、災害発生時の初動職員マニュアル、避難所運営マニュアルを作成し、組織体制を整備している。</p> <p>* 災害対策本部の充実・強化(現地本部との連携調整強化) * 災害発生時の初動職員マニュアル作成 * 避難所運営マニュアル作成 * 消防救急無線デジタル化 * 防災救急無線デジタル化 * デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機配付</p>							
現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】							
<p>○いかなる災害発生時においても防災組織体制の万全を期す必要がある。</p> <p>防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムを活用した情報収集を行っており、町民に対する災害・被害情報の提供手段として町防災行政無線の整備充実に努めることが必要である。</p> <p>防災通信の高度化するため、デジタル式防災行政無線の導入・拡大を進めるとともに、停電時の電源確保のため、非常用電源設備の整備促進する。</p> <p>今後も引き続き、地域が連携した減災体制の充実・強化を推進し、地域住民の防災意識の向上を図っていく必要がある。地域自主防災に関する講習会や水害危険箇所の合同パトロール等を実施するとともに、要配慮者利用施設の管理者向け説明会や小・中学校での出前講座の開催など、水災害対策の推進に取り組んでいく必要がある。</p> <p>洪水等からの「逃げ遅れゼロ」実現に向けた要配慮者利用施設の避難体制の強化対策として、平成29年6月に「水防法」及び「土砂災害防止法」が改正されたことに伴い、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設の管理者等に義務付けられた避難確保計画の作成及び避難訓練を実施していくよう指導する。</p> <p>水害や土砂災害が発生するおそれがある場合における施設利用者の円滑かつ迅速な避難を確保するため、関係機関と連携して施設管理者等による主体的な取組の促進を図るとともに、避難体制の充実・強化を支援していく必要がある。</p> <p>* 災害対策本部の充実・強化(現地本部との連携調整強化、災害時の電源確保) * 消防救急無線の導入 * 防災行政無線個別受信機配付 * 防災行政情報配信システムの導入・強化 * 自主防災組織の充実強化、マニュアル作成 * 防災訓練の実施 * 災害発生時の初動職員マニュアル作成(見直し) * 避難所運営マニュアル作成(見直し) * ハザードマップの作成(見直し) * まるごと町ごとハザードマップの実施(看板設置等の充実) * 地域防災計画・水防計画の作成(見直し) * 災害発生時の初動職員マニュアル作成(見直し) * 避難所運営マニュアル作成(見直し) * 高台移転の実施 * 避難施設の移転 * 車両、農機具などの避難場所の確保</p>							
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～			
具体的な取組【事業内容】	事業名			取組主体			
				国			
				県			
	防災力の強化関連事業、地域の防災体制整備事業、防災施設整備事業			鏡石町			
防災訓練の実施			民間(自主防災組織)				
指標							
指標名	防災訓練の実施回数		計画名	現状値	(令和元年度) 1	目標値	(令和6年度) 2
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
回	目標値	1	1	2	2	2	2
	実績値	1					
指標名	水防訓練の実施回数		計画名	現状値	(令和元年度) 0	目標値	(令和6年度) 1
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
回	目標値	1	1	1	1	1	1
	実績値	0					
指標名	防災行政無線戸別受信機配布戸数		計画名	現状値	(令和元年度) 2,794	目標値	(令和6年度) 3,000
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
戸	目標値	2,800	2,850	2,900	2,930	2,960	3,000
	実績値	2,794					
指標名	自主防災組織における防災訓練の実施		計画名	現状値	(令和元年度) 1	目標値	(令和6年度) 2
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
回	目標値	0	1	1	1	1	1
	実績値	0					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム	① 火山噴火に対する警戒避難体制の整備（火山灰対策）				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
1-3	大規模火山噴火・土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり町土の脆弱性が高まる事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○気象庁において、火山活動の常時観測・監視が行われている吾妻山、安達太良山、磐梯山について、山ごとの火山防災協議会が設置されており、また、那須岳火山防災協議会の設置され、福島県及び関係市町村、防災関係機関、観光団体及び火山の専門家などが一体となって、地域住民や登山者・観光客の警戒避難体制の検討に取り組んでいる。</p> <p>当町においては、火山噴火に対する警戒避難体制の整備を推進するとともに、福島県と情報共有するとともに防災資機材の整備等に取り組み、火山災害に対する安全対策を強化していく必要がある。</p> <p>防災情報通信網の整備として、Jアラート自動起動、緊急速報メールの整備推進を図るとともに、幹線道路等の安全対策や通信手段の防災通信機能の拡充・強化が必要である。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○吾妻山、安達太良山、磐梯山について、火山噴火に対する警戒避難体制の整備を推進するとともに、福島県との情報共有を図り防災資機材の整備等に取り組み、火山災害に対する安全対策を強化していく必要がある。</p> <p>火山噴火に対する警戒避難対策として幹線道路である笠石・鏡田線等の道路改修、維持管理に努め、防災関係機関、地元住民との連携を図り継続した道路管理に努めていく。</p> <p>また、緊急輸送路、警戒体制の強化により利用者の利便性、安全性の向上を図っていく。</p> <p>さらには、緊急時の町内一斉情報配信による災害時の住民へ情報共有を進めるとともに意識の高揚を図る必要がある。</p> <p>* 広報広聴の充実・強化 * 防災無線等の更新(デジタル化) * 個別受信機の充実          * インターネットを活用した情報通信システムの充実 * 消防団員の装備の充実</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	防災力の強化関連事業、地域の防災体制整備事業、防災施設設備整備事業			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	防災行政無線戸別受信機配布戸数	<b>計画名</b>	防災施設設備整備事業	<b>現状値</b>	(令和元年度) 2,794	<b>目標値</b>	(令和6年度) 3,000
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
戸	目標値	2,800	2,850	2,900	2,930	2,960	3,000
	実績値	2,794					
<b>指標名</b>	作業員による直営作業	<b>計画名</b>	交通安全対策事業	<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名(内線)</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム	② 水害・土砂災害からの「逃げ遅れゼロ」実現のための連携体制の構築			重点			
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
1-3	大規模火山噴火・土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり町土の脆弱性が高まる事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況(課題等の整理)：脆弱性評価】</b>							
<p>○全国各地で洪水等の水災害が頻発・激甚化していることを踏まえ、河川管理や水防に関わる多様な関係者による連携体制を構築しつつ、町防災対策本部を設置しているが、防災関係機関相互の連携を強化するとともに、防災組織体制の整備を図っている。</p> <p>また、防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムを活用した情報収集を行っており、町民に対する災害・被害情報を提供する手段として町防災行政無線の整備充実に努めている。</p> <p>洪水等からの「逃げ遅れゼロ」実現に向けた要配慮者利用施設の避難体制の強化対策として、平成29年6月に「水防法」及び「土砂災害防止法」が改正されたことに伴い、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者の把握に努めている。</p> <p>さらには、災害発生時の初動職員マニュアル、避難所運営マニュアルを作成し、組織体制を整備している。</p> <p>*災害対策本部の充実・強化(現地本部との連携調整強化) *災害発生時の初動職員マニュアル作成 *避難所運営マニュアル作成 *消防救急無線デジタル化 *防災救急無線デジタル化 *デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機配付</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○いかなる災害発生時においても防災組織体制の万全を期す必要がある。</p> <p>防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムを活用した情報収集を行っており、町民に対する災害・被害情報の提供する手段として町防災行政無線の整備充実に努めることが必要である。</p> <p>防災通信の高度化するため、デジタル式防災行政無線の導入・拡大を進めるとともに、停電時の電源確保のため、非常用電源設備の整備促進する。</p> <p>今後も引き続き、地域が連携した減災体制の充実・強化を推進し、地域住民の防災意識の向上を図っていく必要がある。地域自主防災に関する講習会や水害危険箇所の合同パトロール等を実施するとともに、要配慮者利用施設の管理者向け説明会や小・中学校での出前講座の開催など、水災害対策の推進に取り組んでいく必要がある。</p> <p>洪水等からの「逃げ遅れゼロ」実現に向けた要配慮者利用施設の避難体制の強化対策として、平成29年6月に「水防法」及び「土砂災害防止法」が改正されたことに伴い、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設の管理者等に義務付けられた避難確保計画の作成及び避難訓練を実施していくよう指導する。</p> <p>水害や土砂災害が発生するおそれがある場合における施設利用者の円滑かつ迅速な避難を確保するため、関係機関と連携して施設管理者等による主体的な取組の促進を図るとともに、避難体制の充実・強化を支援していく必要がある。</p> <p>*災害対策本部の充実・強化(現地本部との連携調整強化、災害時の電源確保) *消防救急無線の導入 *防災行政無線個別受信機配付 *防災行政情報配信システムの導入・強化 *自主防災組織の充実強化、マニュアル作成 *防災訓練の実施 *災害発生時の初動職員マニュアル作成(見直し) *避難所運営マニュアル作成(見直し) *ハザードマップの作成(見直し) *まると町ごとハザードマップの実施(看板設置等の充実) *地域防災計画・水防計画の作成(見直し) *災害発生時の初動職員マニュアル作成(見直し) *避難所運営マニュアル作成(見直し) *高台移転の実施 *避難施設の移転 *車両、農機具などの避難場所の確保</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～			
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	防災力の強化関連事業、地域の防災体制整備事業、防災施設整備事業			鏡石町			
防災訓練の実施			民間(自主防災組織)				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	防災訓練の実施回数		<b>計画名</b>	現状値	(令和元年度) 1	目標値	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
<b>回</b>	目標値	1	1	2	2	2	2
	実績値	1					
<b>指標名</b>	水防訓練の実施回数		<b>計画名</b>	現状値	(令和元年度) 0	目標値	(令和6年度) 1
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
<b>回</b>	目標値	1	1	1	1	1	1
	実績値	0					
<b>指標名</b>	防災行政無線戸別受信機配布戸数		<b>計画名</b>	現状値	(令和元年度) 2,794	目標値	(令和6年度) 3,000
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
<b>戸</b>	目標値	2,800	2,850	2,900	2,930	2,960	3,000
	実績値	2,794					
<b>指標名</b>	自主防災組織における防災訓練の実施		<b>計画名</b>	現状値	(令和元年度) 1	目標値	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
<b>回</b>	目標値	0	1	1	1	1	1
	実績値	0					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基								
強靱化のための施策プログラム		① 道路の除雪体制等の確保			重点								
<b>リスクシナリオ</b>													
番号	内容												
1-4	暴風雨及び豪雨による重大事故や交通途絶等に伴う死傷者の発生												
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>													
<p>○平成26年2月の豪雪災害を契機として、除雪体制の強化を進めてきた。  適時適切な道路除雪や凍結抑制剤の散布等に取り組んでいる。暴風雪や豪雪の異常気象発生時においても安全で円滑な道路環境を整備するため、建設業協同組合と連携しながら、除雪体制等の充実・確保に引き続き取り組んでいく必要がある。</p> <p>○道路の除雪体制等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 建設業協同組合との情報共有</li> <li>* 幹線道路の除雪 * 国道・県道管理者との連携・道路除雪体制強化 * 道路除雪計画策定 * 通学通勤路歩道の除雪</li> </ul>													
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>													
<p>○毎年度策定している道路除雪計画に基づき、建設業協同組合や豪雪（緊急）の際は県中地方冬期道路交通円滑化協議会と連携を強化し、除雪体制の確立をより一層強化なものとし、冬期間における道路の除雪作業及び凍結防止作業を迅速かつ適切に行うこととし、道路交通の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 道路除雪計画策定による除雪体制の確保</li> <li>* 建設業協同組合との情報共有</li> <li>* 幹線道路の除雪</li> <li>* 通学・通勤路歩道の除雪 * 国道・県道管理者との連携強化</li> </ul>													
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町道路除雪計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度  平成25年度～  単年度計画										
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>									
				国									
				県									
	除雪作業業務委託			鏡石町									
				民間									
<b>指標</b>													
指標名					計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5			R 6				
	目標値												
	実績値												
指標名					計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5			R 6				
	目標値												
	実績値												

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

担当課	総務課	担当係	総務G	担当名(内線)	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム	① 町民への情報伝達体制の強化				重点		
リスクシナリオ							
番号	内容						
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生						
現在の取組状況【目標に対する現在の状況(課題等の整理)：脆弱性評価】							
<p>○災害関連情報の途絶及び伝達の遅れによる被害拡大を防ぐため、災害情報共有システム(Lアラート)の運用によって鏡石町が発表する災害関連情報をNHKデータ放送及びヤフー「天気・災害」ページで閲覧できる体制を構築し、実際の災害発生時において避難所情報等の配信が行われている。</p> <p>また、携帯電話事業者との契約に基づく緊急速報メールの配信やホームページを活用した情報発信り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* Jアラート自動起動、緊急速報メールの整備</li> <li>* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実</li> <li>* 移動系防災無線の整備</li> </ul>							
現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】							
<p>○災害関連情報の途絶及び伝達の遅れによる被害拡大を防ぐため、災害情報共有システム(Lアラート)の運用によって鏡石町が発表する災害関連情報をNHKデータ放送及び登録制メールにより情報提供を行う環境を構築し、実際の災害発生時において避難所情報等の配信が行われている。</p> <p>また、携帯電話事業者との契約に基づく緊急速報メールの配信やホームページ等を活用した情報発信、さらには、福島県では(一社)日本アマチュア無線連盟との災害時応援協定締結等に取り組んでいる。</p> <p>当町においては、福島県との情報連携を進めるとともに、今後も、関係機関及び放送・通信事業者との連携強化を図り、適時の情報発信と情報提供手段の多重化を図り、町民への情報伝達体制の強化を推進する必要がある。</p> <p>防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムを活用した情報収集を行っており、町民に対する災害・被害情報の提供する手段として町防災行政無線の整備充実に努める必要がある。</p> <p>防災通信の高度化するため、デジタル式防災行政無線の導入・拡大を進めるとともに、停電時の電源確保のため、非常用電源設備の整備促進する。</p> <p>災害発生時、住民に対し迅速かつ確実に情報の発信と共有を図るために、各種通信システムの充実強化を図る必要がある。</p> <p>また、情報発信の手段が多様化する中で、担当職員が複数の情報発信を行うことで負担が集中し、タイムラグやミスの発生が懸念されることから、複数職員による訓練の実施や情報一斉配信システムを導入することにより、迅速かつ確実な情報発信が行える環境を整備する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* Jアラート自動起動、緊急速報メールの整備</li> <li>* 公衆無線LAN環境整備</li> <li>* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実、インターネット等を活用した情報提供システムの導入</li> <li>* 移動系防災無線の整備</li> <li>* 広報啓発活動の充実・強化</li> <li>* SNSを活用した情報共有の強化</li> <li>* 防災情報の一斉配信システムの導入</li> </ul>							
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
具体的な取組 【事業内容】	事業名			取組主体			
				国			
				県			
	地域の防災体制整備事業			鏡石町			
			民間				
指標							
指標名		計画名		現状値	目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						
指標名		計画名		現状値	目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗			
強靱化のための施策プログラム	② 避難行動要支援者対策の推進				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○高齢者、障がい者、乳幼児などの要配慮者は、災害情報の受理・認識、避難行動、避難所における生活等の場面で困難に直面することが予想され、要配慮者に対する防災対策が重要な課題となっている。</p> <p>災害発生時、速やかに要配慮者を把握して円滑に避難誘導等を行うため、避難行動要支援者名簿を作成している。</p>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○避難行動要支援者の避難を想定した訓練の実施等に取り組む必要があり、今後も名簿の作成・随時更新や対象者一人一人の具体的な個別支援計画の作成（見直し）などの取組を引き続き行う。</p> <p>関係機関及び地域住民の協力・連携による避難行動要支援者の避難訓練を実施し、地域防災力の向上及び避難行動要支援者対策の充実を推進していく必要がある。</p> <p style="margin-left: 20px;">* 避難行動要支援者対策の推進（個別計画書の作成）</p>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>				
				国				
				県				
				鏡石町				
			民間					
<b>指標</b>								
指標名	計 画 名 避難行動要支援者対策				現 状 値	(令和元年度) 20	目 標 値	(令和3年度) 100
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値	20	60	100				
	実績値	20						
指標名	計 画 名				現 状 値	目 標 値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値							
	実績値							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗				
強靱化のための施策プログラム		③ 福祉避難所の充実・確保			重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
○災害時における要配慮者の円滑な避難行動を確保するため、福祉避難所の充実・確保が求められることから、福祉避難所の指定状況の確認、個別訪問や福祉避難所における平常時の備えについて取り組んでいる。									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
○関係機関と連携して福祉避難所の運営訓練を実施するとともに福祉避難所の充実・確保を促進していく必要がある。 また、自ら避難することが困難な者も多い入所者の安全を確保するとともに、災害時にあっても医療・福祉の提供を継続し、被災した患者の受入れや福祉避難所としての機能を確保する必要があることから、耐震化等の防災・減災対策が求められる。 社会福祉施設等の耐震化については、今後も引き続き、未耐震化施設の耐震化整備を促進する必要がある。 また、既存の福祉センターや保健センター等の施設が老朽化しており、複合的施設としての（仮称）健康福祉センターの整備推進を図る必要がある。 * 避難所のバリアフリー化及びトイレ等施設改修 * 特別養護老人ホーム（鏡石ホーム）の耐震化 * 社会福祉協議会への支援 * （仮称）健康福祉センターの整備推進									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>					
				国					
				県					
				鏡石町					
			民間						
<b>指標</b>									
指標名	整備進捗率		計画名	（仮称）健康福祉センター整備事業		現状値	（令和元年度） 10	目標値	（令和3年度） 100
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
%	目標値	20	40	100					
	実績値	10							
指標名			計画名			現状値	目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4		R6		
	目標値								
	実績値								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳	
強靱化のための施策プログラム		④ 訓練実施等による防災関係機関との連携体制及び災害対応力の強化			重点	
<b>リスクシナリオ</b>						
番号	内容					
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生					
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>						
<p>○国、県、市町村のほか、警察、消防、自衛隊などの防災関係機関や地元消防団、自主防災組織等が相互の連携及び災害対応力を強化するとともに、地域住民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、県総合防災訓練をはじめ、様々な避難訓練や情報伝達訓練に参加している。</p> <p>また、町でも、町民参加の防災意識の向上等、消防団の予防消防を図るために、防災訓練に取り組んでいる。</p> <p>防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムによる情報の収集と町民に対する災害・被害情報の提供に努めている。</p> <p style="margin-left: 20px;">* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実 * 防災訓練の実施</p> <p style="margin-left: 20px;">* 県総合防災訓練への参加 * 防災無線等の更新(デジタル化)、個別受信機の充実</p>						
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>						
<p>○大規模災害が発生した場合であっても迅速かつ確かな災害対応を実現するため、実施した訓練を総括し、災害対応における課題等を把握し、必要な見直しを積み重ねていくことにより、関係機関の連携体制及び災害対応力の強化を推進していく必要がある。</p> <p>防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムを活用した情報収集を行っており、町民に対する災害・被害情報の提供する手段として町防災行政無線の整備充実に努めるとともに、防災通信を高度化するため、デジタル式防災行政無線の導入・拡大を進めることが必要である。</p> <p>緊急時の町内一斉情報配信による災害時の住民へ情報共有を進めるとともに意識の高揚を図る必要がある。</p> <p style="margin-left: 20px;">* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実 * 防災訓練の実施</p> <p style="margin-left: 20px;">* 県総合防災訓練への参加 * 防災無線等の更新(デジタル化)、個別受信機の充実、インターネットを活用した情報通信システムの充実</p>						
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～	
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>	
					国	
					県	
					鏡石町	
				民間		
<b>指標</b>						
<b>指標名</b>	防災訓練の実施回数			<b>計画名</b>	<b>現況値</b>	<b>目標値</b>
					(令和元年度) 1	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
回	目標値	1	2	2	2	2
	実績値	1				
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>	<b>現況値</b>	<b>目標値</b>
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
	目標値					
	実績値					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	税務町民課	<b>担当係</b>	町民G	<b>担当名（内線）</b>	佐藤浩一		
強靱化のための施策プログラム		⑤ 在留外国人に対する多言語による情報提供			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○在留外国人からの相談等に適切に対応するため、相談員・通訳員の配置による多言語行政サービスの提供が必要であると考えているが、各課において適切に対応している。</p> <p>福島県においては、通訳者を含めた3者同時通話が可能なトリオフォンの設置を（公財）福島県国際交流協会へ委託しており、当町においては有効活用できるか調査研究を進めている。</p> <p>在留外国人は、言語面での障壁から災害時の要配慮者となる可能性があることから、大規模災害が発生した場合においても外国語による正確な情報提供や相談対応を継続して行えるよう、関係機関と連携して通信機器等の正常な機能確保やバックアップ体制の検討に取り組んでいく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●在留外国人に対する多言語による情報提供（総合案内及びパンフレットの作成）</li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○在外弱者といわれる在留外国人に対して自治体国際化協会作成の多言語生活情報を活用すること、ローカルな部分の対応として町独自の活用生活ガイドブックを作成・提供することにより、在留外国人の災害への不安解消に努める。							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
				鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	在留外国人数	<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人	目標値						
	実績値	50					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳					
強靱化のための施策プログラム		⑥ 自助・共助の取組促進			重点					
<b>リスクシナリオ</b>										
番号	内容									
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生									
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>										
○地域防災力を高めるため、「自助」、「公助」、「共助」の取組を促進し、情報発信や防災出前講座の実施、に取り組んでいる。										
* 自助・共助の取組促進（自助力、共助力の向上・地域での取組）										
* 行政区の組織の充実・強化とコミュニティの促進										
* 消防団、消防活動支援隊等の充実、連携強化										
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>										
○災害による被害を軽減するためには、防災に関わる機関による「公助」の取組とともに、一人一人が自分の身を守る「自助」の取組と地域の協力・助け合いによる「共助」の取組を促進し、連携を強めることが重要となることから、自助・共助に関する情報発信や防災出前講座の実施、に取り組んでいる。										
地域での防災活動におけるリーダーとして活躍している消防団員のさらなる知識向上など、今後も、様々な事業を通じて、町民の自助・共助に関する理解を深め、家庭における非常用品の備蓄や地域の防災行事への参加など、自助・共助の取組を促進していく必要がある。										
* 自助・共助の取組促進（自助力、共助力の向上・地域での取組）										
* 行政区の組織の充実・強化とコミュニティの促進										
* 消防団、消防活動支援隊等の充実、連携強化										
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>					
					国					
					県					
	地域の防災体制整備事業、防災施設設備整備事業				鏡石町					
				民間						
<b>指標</b>										
<b>指標名</b>	消防団員数			<b>計画名</b>	第5次総合計画		<b>現状値</b>	(令和元年度) 169	<b>目標値</b>	(令和6年度) 180
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
人	目標値	169	171	173	175	177	180			
	実績値	169								
<b>指標名</b>	消防活動支援隊委員数			<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	(令和元年度) 227	<b>目標値</b>	(令和6年度)
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
	目標値	227	230	235	240	245	250			
	実績値	227								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム		⑦ 自主防災組織等の強化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○自主防災組織は、地域住民が「自らの命と地域は自分たちで守る」という意識の下、行政区単位で結成される防災組織であり、自主防災組織が積極的に防災活動に取り組むことより、自主防災組織の機能が強化されるとともに地域住民の防災意識の高揚が期待されており、当町においても、行政区単位の自主防災組織を設置している。</p> <p>また、地域防災の中心的な役割を担う消防団、消防活動支援隊も組織されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自主防災組織等の強化</li> <li>* 消防団、消防活動支援隊の充実・強化</li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○自主防災組織が設置されているが、日頃の取組が重要であることから、防災訓練への実施・参加などに取り組み、今後も引き続き、自主防災組織による防災活動を促進し、自主防災組織の機能強化と地域防災力の向上を図っていく必要がある。</p> <p>また、地域防災の中心的な役割を担う消防団、消防活動支援隊の組織の充実・強化を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自主防災組織等の強化</li> <li>* 消防団、消防活動支援隊の充実・強化</li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～			
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	地域の防災体制整備事業			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	自主防災組織の設置数		<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	(令和元年度) 13	<b>目標値</b>	(令和6年度) 13
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	13	13	13	13	13	13
	実績値	13					
<b>指標名</b>			<b>計画名</b>	<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・教育課	<b>担当係</b>	総務G・生涯学習G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳・塚原健司			
強靱化のための施策プログラム	⑧ 東日本大震災・原子力災害を踏まえた防災教育の推進				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○児童・生徒が地域の自然環境、災害や防災について正しい知識を身に付け、災害発生時における危険を理解し、状況に応じた的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができ、また、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができる態度及び能力を育成するため、防災教育に努めている。</p> <p>福島県においては、防災教育プログラムの構築や小中学生に対する防災個人カード配布等に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東日本大震災・原子力災害を踏まえた防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 防災教育の授業実施</li> <li>* NPO法人かがみいしスポーツクラブの充実</li> </ul> </li> </ul>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○当町においては、家庭や地域社会の理解・協力を得ながら、東日本大震災・原子力災害の経験を踏まえた「生き抜く力」を育む防災教育を推進していく必要がある。</p> <p>鏡石町地域防災計画等に基づいた、教科目による防災教育の授業の充実に努めていく。</p> <p>また、公民館事業（アドベンチャークラブやTPT等）において、町内を実際に見て回りながら過去の災害発生や対応の記録について学び、防災意識の高揚を図る教室を実施する。</p> <p>NPO法人かがみいしスポーツクラブにおいて「災害や防災」をテーマに講座・教室を実施する。</p>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>			
					国			
					県			
					鏡石町			
					民間			
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	公民館事業実施回数			<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和3年度) 1
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
<b>回</b>	目標値	0	1	1	1	1	1	
	実績値	0						
<b>指標名</b>	かがみいしスポーツクラブ事業実施回数			<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和3年度) 1
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
<b>回</b>	目標値	0	1	1	1	1	1	
	実績値	0						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	教育課	<b>担当係</b>	教育G	<b>担当名（内線）</b>	角田智晴														
強靱化のための施策プログラム	⑨ 学校における防災対応行動マニュアルの作成				重点														
<b>リスクシナリオ</b>																			
番号	内容																		
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生																		
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>																			
<p>○災害発生時における児童・生徒の安全を確保し、適切な避難行動等を取れるよう備えるには、各学校において災害対応に係る行動マニュアル（危険等発生時対処要領）を作成することが必要である。</p> <p>今後、災害対応に係る行動マニュアルの作成に向けては、福島県の支援等を受けながら、施設・設備の点検、避難訓練や防災教育の実施、関係者による情報・連絡体制の確認等による平常時の防災活動を通じて、学校における災害対応行動マニュアルの実効性を高めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校における災害対応行動マニュアルの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>*小中学校災害対応（火災・地震）行動マニュアル作成</li> </ul> </li> </ul>																			
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>																			
<p>○学校における災害対策マニュアルは作成されているが、今後実情に合わせて内容の見直しを行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校における災害対応行動マニュアルの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>*小中学校災害対応（火災・地震）行動マニュアル作成</li> <li>*災害対策マニュアルの適宜の見直し</li> </ul> </li> </ul>																			
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～																
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>															
				国															
				県															
				鏡石町															
				民間															
<b>指標</b>																			
指標名					計画名					現状値					目標値				
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1		R2		R3		R4		R5		R6							
	目標値																		
	実績値																		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1		R2		R3		R4		R5		R6							
	目標値																		
	実績値																		

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム		⑩ 震災教訓の伝承・風化防止			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○東日本大震災及び原子力災害は、人類がこれまで経験したことのない未曾有の複合災害であり、災害の実態と復興への取組を国や世代を超えて継承・共有していくため、記録誌を作成した。</p> <p>原子力災害は、本県にしかない経験と教訓を今後の防災・減災対策に活かすとともに、想像を超える災害が起こりうるという危機意識を喚起し、経験を忘れずに災害に備えることの大切さを伝えることにより、自助・共助の取組を促し、地域防災力の向上を図るため、今後も引き続き、震災教訓の継承・風化防止に取り組んでいく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●震災教訓の伝承・風化防止 <ul style="list-style-type: none"> <li>*記録集等の作成、配付</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○東日本大震災及び原子力災害の経験を風化させないよう記録誌の活用や、記念誌への記録掲載などを通じて、経験と教訓を後世に伝える努力をする必要がある。</p> <p>また、消防団員の経験やノウハウを今後に伝え、継続していくために、消防団とOB団員による支援隊の連携強化を図るとともに、活動への支援を継続していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●震災教訓の伝承・風化防止 <ul style="list-style-type: none"> <li>*記録集等の作成、配付</li> <li>*消防団及び消防活動支援隊の連携強化と活動支援</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
	地域の防災体制整備事業	鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	上水道G	<b>担当名（内線）</b>	藤田欽一		
強靱化のための施策プログラム		① 応急給水体制の整備			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模自然災害が発生した場合であっても、被災者の飲料水や生活維持に必要な給水を確保するため、飲料水の調達及び輸送に係る災害時応援協定の締結や被災者用物資の備蓄に努めている。</p> <p>安定的な飲料水の供給が図れるよう、既存の各浄水場（桜岡・成田・旭町）の施設整備や耐震化に努めている。なかでも、旭町浄水場は築50年以上が経過しているため、新たに「鏡石浄水場」の建設整備が進行中であり、緊急時の給水施設の整備も計画している。</p> <p>関係機関との連携・協力による給水対策や自衛隊への災害応援要請による応急給水体制の確保を図りつつ、町総合防災訓練において、給水・給食訓練に取り組んでいる。</p> <p>今後も、応急給水に係る訓練等の実施により、関係機関及び協定締結団体との連携をより一層強化し、応急給水体制の充実を進めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 応急給水体制の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 桜岡浄水場の耐震化・施設整備   * 成田浄水場の耐震化・施設整備   * 鏡石浄水場の建設・施設整備</li> </ul> </li> <li>● 広域圏での防災連絡体制の整備</li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>* 成田・桜岡浄水場については、想定される災害に対応できるよう、計画的に設備の耐震化を図る。</p> <p>特に、成田浄水場については浸水想定区域に在り、浸水対策・移転計画などによる対策を検討する。</p> <p>* 老朽化した旭町浄水場が変わる、鏡石浄水場については現在建設中であり、災害時の応急給水の拠点として機能できるよう関連施設等の整備を図る。</p> <p>* 広域的な防災連絡体制の整備をすることで災害時の資材、人材、また応急給水体制等の充実を図る。県を中心に周辺市町村で広域的な対応ができるよう検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 応急給水体制の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 桜岡浄水場の耐震化・施設整備   * 成田浄水場の耐震化・施設整備   * 鏡石浄水場の建設・施設整備</li> </ul> </li> <li>● 広域圏での防災連絡体制の整備</li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町新水道ビジョン	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成30年度～令和9年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	鏡石浄水場の建設、桜岡浄水場の耐震化、水道事業アセットマネジメント計画策定 成田浄水場の浸水対策・移転計画整備、予備水源の確保			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
指標名	計画名			現状値	目標値		
単位	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						
指標名	計画名			現状値	目標値		
単位	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	上水道G	<b>担当名（内線）</b>	藤田欽一		
<b>強靱化のための施策プログラム</b>		② 上水道施設の防災・減災対策			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模自然災害が発生した場合であっても、水道による給水機能を確保するため、基幹管路や配水池、浄水場などの水道施設の耐震化・老朽化対策事業への取組みにより、水道の基盤強化と適正管理の確保に取り組んでいる。</p> <p>水道事業者が将来的な水需要等を考慮して水道施設の耐震化や更新、適切な維持管理を計画的に推進していくための支援の要望活動を進めている。</p> <p>災害時の初動対応や自治体間の相互応援協力など水道事業継続のための体制整備を促進する必要がある。</p> <p>安定的な飲料水の供給が図れるよう、既存の各浄水場（桜岡・成田・旭町）の施設整備や耐震化に努めている。なかでも、旭町浄水場は築50年以上が経過しているため、新たに「鏡石浄水場」の建設整備が進行中であり、緊急時の給水施設の整備も計画している。</p> <p>また、本町の上水道は、すべて地下水に依存しており、水量確保を含め浚渫工事を実施している。上水道管路においては、石綿セメント管の耐震化を考慮した更新事業を進めており、「有収率」の向上を図っている。</p> <p>全体的には、水道事業のアセットマネジメント計画を策定し、計画的な更新を進める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●上水道施設の防災・減災対策             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 鏡石浄水場の建設 * 桜岡浄水場の耐震化 * 上水道管路耐震化（石綿管更新等） * 水源地の整備（水量確保）</li> <li>* 水道事業アセットマネジメント計画策定 * 成田浄水場の浸水対策・移転計画整備 * 予備水源の確保</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○耐震化対策が未整備の浄水場施設について、今後の水需要の考慮しながら効率的に耐震化を図る。</p> <p>耐震性のない石綿セメント管布設区間について、計画的に耐震管への更新を図る。</p> <p>水源井について、適切な管理整備により長寿命化を図る。また、井戸の濁水に備えた予備水源の整備を検討する。</p> <p>浸水想定区域内に位置する成田浄水場について、浸水対策や移転計画を含め災害時の水道水の安定供給を測れるよう検討する。</p> <p>水道事業の安定的運営のため所有施設のアセットマネジメント計画を策定し効率的な事業運営を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●上水道施設の防災・減災対策             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 鏡石浄水場の建設 * 桜岡浄水場の耐震化 * 上水道管路耐震化（石綿管更新等） * 水源地の整備（水量確保）</li> <li>* 水道事業アセットマネジメント計画策定 * 成田浄水場の浸水対策・移転計画整備 * 予備水源の確保</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町新水道ビジョン	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成30年度～令和9年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	鏡石浄水場の建設、桜岡浄水場の耐震化、水道事業アセットマネジメント計画策定 上水道管路耐震化（石綿管更新等）、水源地の整備（水量確保） 成田浄水場の浸水対策・移転計画整備、予備水源の確保		鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	整備率	<b>計画名</b>	第5次拡張事業 鏡石浄水場建設工事	<b>現状値</b>	（令和元年度） 5%	<b>目標値</b>	（令和3年度） 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値	17%	51%	92%	100%		
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・産業課	<b>担当係</b>	総務G・振興G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳・小林洋一		
強靱化のための施策プログラム		③ 物資供給体制の充実・強化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模自然災害等の発生時において、被災地で必要となる食料や燃料、生活必需品等の物資供給を確保するため、物資等の調達や緊急輸送に関する災害時応援協定を関係団体・事業者と締結しており、連絡体制の確認・強化及び協定に基づく対応に係る実効性の確保を図っている。</p> <p>今後も、新規の災害時応援協定の締結や協定締結団体との連携強化に取り組み、災害時における物資供給体制の充実・強化を推進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●物資供給体制の充実・強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害対策本部の強化、情報収集</li> <li>*支援物資の配付整備</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○新規の災害時応援協定の締結や協定締結団体との連携強化を図り物資供給体制の充実強化を図る。</p> <p>また、災害時に必要とされる物資と支援物資のミスマッチが懸念されることから、被災者からの情報収集や支援物資の要請、受け入れ及び配布に関するマニュアル等の作成を検討する必要がある。支援物資の配付整備については、災害時における物資供給体制の充実・強化を推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●物資供給体制の充実・強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害対策本部の強化、情報収集</li> <li>*支援物資の配布整備</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町新水道ビジョン	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成30年度～令和9年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
		鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム		④ 備蓄物資の充実・強化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○災害発生時においても、避難所へ避難している被災者や在宅被災者等に対し、生活の維持に欠かすことのできない食料・飲料水や生活必需品等の供給を確保するため、食料・飲料水、毛布、紙おむつ等の備蓄を行っている。備蓄倉庫は確保されているものの、改築・耐震化が図れるよう努める。</p> <p>災害時の物資供給協定の締結によりスムーズな対応が可能となることから、随時事務を処理する必要がある。</p> <p>今後も、災害時に物資を搬出しやすい備蓄倉庫の確保や使用期限が到来する備蓄物資の適時適切な更新を進め、救援対策の充実を図っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●備蓄物資等の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 非常用食料、物資の備蓄</li> <li>* 備蓄倉庫の整備、改築</li> <li>* 災害時物資供給協定の締結</li> <li>* 配送協定の締結</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○一定の備蓄倉庫は確保されているものの、さらなる新設や改築・耐震化が図れるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●備蓄物資等の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 非常用食料、物資の備蓄</li> <li>* 備蓄倉庫の整備、改築</li> <li>* 災害時物資供給協定の締結</li> <li>* 配送協定の締結</li> <li>* 在庫備蓄の在庫管理及び更新</li> <li>* 学校給食の食料供給体制の強化</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
				市町村			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	備蓄倉庫整備数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 2	<b>目標値</b>	(令和6年度) 3
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
棟	目標値	2	2	2	2	3	3
	実績値	2					
<b>指標名</b>	防災協定締結数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 22	<b>目標値</b>	(令和6年度) 25
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
	目標値	22	22	23	23	24	25
	実績値	22					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム		⑤ 大規模災害等における広域応援体制の充実・強化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
○大規模災害等が発生し、単独では十分な応急措置が実施できない場合に備え、友好町村等と相互応援協定、広域応援協定等を締結し、人的・物的支援について広域応援体制を構築している。							
●大規模災害等における広域応援体制の充実・強化							
* 友好町村等の災害・消防相互応援協定							
* こおりやま広域圏における応援協定の締結							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○大規模災害時であっても相互に応援要請・職員派遣の円滑な対応を行うため、各種会議や訓練等の実施を通じて各相互応援協定の実効性を確保し、広域応援体制の充実・強化を図る必要がある。							
災害応援協定に基づいた相互応援体制の充実・強化に努める。							
●大規模災害等における広域応援体制の充実・強化							
* 友好町村等の災害・消防相互応援協定							
* こおりやま広域圏における応援協定の締結							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>		
					国		
					県		
					鏡石町		
				民間			
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	協定締結数		<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	(令和元年度) 22	<b>目標値</b>	(令和6年度) 25
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	22	22	23	23	24	25
	実績値	22					
<b>指標名</b>			<b>計画名</b>	<b>現状値</b>			<b>目標値</b>
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・大内秀人		
強靱化のための施策プログラム	⑥ 緊急輸送道路の防災・減災対策				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○災害応急対策活動の実施に必要な物資、資機材、要員等の広域的な輸送を行うため、緊急輸送道路としての役割を担う幹線道路等において、道路亀裂や法面の危険箇所や豪雨による冠水箇所が発生している。</p> <p>道路防災総点検を実施するとともに、大きな災害が予測される箇所については、優先的に整備を行ってきたが、その他の要対策箇所についても計画的・重点的な対策を進めていく必要がある。</p> <p>また、住宅地における避難経路についても整備を行う必要があり、未整備区間等を含めた計画的な整備を進めていく必要がある。</p> <p>そこで、救急救援活動等に必要な緊急輸送道路や避難路については、国や県と連携を図り整備を推進する必要がある。</p> <p>●緊急輸送道路の防災・減災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 町内幹線道路の整備 * 笠石鏡田線道路改良 * 久来石・行方・蓮池西線道路改良 * 久来石・行方・蓮池西線踏切拡幅</li> <li>* 東町地内公道整備 * 国道4号鏡石拡幅（4車線化整備） * 国道4号矢吹鏡石道路計画（4車線化整備）</li> <li>* 鏡田111号線道路改良 * 笠石476号線道路改良 * 笠石482号線道路改良 * 橋梁の長寿命化修繕 * 町内生活道路改良</li> <li>* 施設点検、予防保全的な修繕・改修 * 東北自動車道接続町道整備 * 県道下松本鏡石停車場線・成田鏡田線接続町道の整備</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業（事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円）</li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○緊急輸送路等の指定となっている消防署と鳥見山公園を結ぶ町道笠石476号線の歩道新設工事を継続して進め、安全かつ円滑な交通を維持する事業に取り組んでおり、町道北町・堀米線、町道笠石・鏡田線では舗装点検結果をもとに、修繕に努める。</p> <p>また、町道全体の道路附属物の点検を行い、健全度判定結果に基づき、修繕に努め、道路パトロールにて、地元との連携を通して計画的な更新を図るとともに維持補修に努める。</p> <p>○久来石・行方・蓮池西線は笠石原町と南町を結ぶ重要な路線であるが狭隘であり、朝夕の通勤通学時間帯には車両の交互通行により歩行者等の安全を確保するのが困難であり視距も悪いため、現道を拡幅工事を実施し、より安全な道路として整備に努める。</p> <p>○鏡田111号線は県道下松本鏡石停車場線と一級町道鏡田仁井田線を結ぶ地区内交通を担う路線であり近隣には学校施設（岡ノ内幼稚園）がある。隣接する町道鏡田426号線に流入する通過交通が増大していることから本路線を整備し、流入する通過交通を迂回させることで、地区内の交通の円滑化を図れるように努める。</p> <p>○東町地内公道整備については現況道路が袋小路になっているため、災害時に緊急車両等の通行が困難になるため団地内の道路を整備に努める。</p> <p>○高齢化橋梁の増大に伴い、道路交通の安全性を確保するうえで、これまでの事後的対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図ることにより、橋梁の長寿命化に対するコストの削減を図って行く。</p> <p>また、5年に1度の法定点検を実施し、健全度判定結果に基づき修繕計画を立て実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 幹線道路網の整備 * 道路の維持補修・定期的な点検 * 通学路の整備・補修 * 排水施設の整備 * 歩道・側溝整備</li> <li>* 舗装道路整備、ポケットパーク整備 * 防火水槽設置・耐震性防火水槽への更新 * 橋梁の耐震化・長寿命化修繕</li> <li>* 緊急輸送道路の防災・減災対策（上段記載事業）への取組 * 都市施設の整備推進</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業</li> </ul> <p>【事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円（うち社会資本整備総合交付金21.0億円）】</p> <p>●防災・安全交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*（他）笠石476号線ほか旭町工区【事業期間 平成29年度～令和4年度 総事業費 65.0百万円】</li> <li>*（他）鏡田89号線鏡沼工区【事業期間 平成31年度～令和2年度 総事業費 25.0百万円】</li> <li>*（他）笠石482号線外1路線【事業期間 平成31年度～令和4年度 総事業費 70.0百万円】</li> <li>*（1）成田・玉川線ほか成竜橋ほか【事業期間 平成27年度～ 総事業費 405百万円】</li> <li>* 道路施設点検（橋梁）【事業期間 平成27年度～ 総事業費 25百万円】</li> <li>*（1）北町・堀米線ほか2号線ほか【事業期間 平成30年度～ 総事業費 251百万円】</li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
	国道4号鏡石拡幅・国道4号矢吹鏡石道路計画（4車線化整備）		国				
	駅東第1土地区画整理事業、社会資本整備総合交付金事業、防災・安全交付金事業		県				
	公共施設等適正管理推進事業		鏡石町				
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	久来石・行方・蓮池西線	<b>計画名</b>	久来石・行方・蓮池西線道路改良工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和6年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	40	50	60	70	80	100
	実績値	40					
<b>指標名</b>	東町地内公道整備	<b>計画名</b>	東町地内道路改良工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和2年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	40	100				
	実績値	40					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課・産業課	<b>担当係</b>	事業G・農政G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・常松忠央		
強靱化のための施策プログラム	⑦ 迂回路となり得る町道・農道・林道の整備				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○町道・農道・林道は、大規模災害の発生時において、基幹交通の寸断に伴う輸送機能の停止や孤立集落の発生を回避するための代替輸送路・迂回路としての役割を期待できることから、引き続き、防災・減災の観点からも必要な農道・林道について計画的に整備していく必要がある。</p> <p>○農作業の利便性向上、農産物流通の効率化、生活環境の向上等を図るため、計画的な農道の整備に取り組んでいる。                  森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林整備や林道の整備を進めている。                  広域的な道路交通網の整備推進に向けては、「高久田・一貫線道路改良」「東部環状線接続道路改良」とほ場整備事業との一体的整備を図るよう進めている。</p> <p>●迂回路となり得る町道・農道・林道の整備                  ＊既存町道・農道・林道の点検、補修、新規整備 ＊高久田・一貫線道路改良 ＊東部環状線接続道路改良</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○東部環状線接続道路及び高久田・一貫線道路を整備することにより、広域的な交通ネットワーク網の整備と利用者の利便性、安全性の向上に努めている。また、ほ場整備事業との一体的整備を図ることで町道の迂回路の整備にも繋がる。</p> <p>○農作業の利便性向上、農産物流通の効率化、農山村の活性化及び生活環境の向上等を図るため、計画的な農道の整備を促進する。</p> <p>○森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林整備や林道の整備を推進する。</p> <p>○広域的な道路交通網の整備推進に向けては、「高久田・一貫線道路改良」「東部環状線接続道路改良」と「ほ場整備事業」との一体的整備を推進する。</p> <p>●迂回路となり得る町道・農道・林道の整備                  ＊既存町道・農道・林道の点検、補修、新規整備 ＊高久田・一貫線道路改良 ＊東部環状線接続道路改良</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町舗装維持修繕個別計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成31年度～令和5年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
	ほ場整備事業、道路整備事業	鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	東部環状線接続道路	<b>計画名</b>	東部環状線接続道路改良工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 20%	<b>目標値</b>	(令和6年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	20	30	50	60	80	100
	実績値	20					
<b>指標名</b>	ほ場整備事業	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・教育課	<b>担当係</b>	総務G・生涯学習G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳・塚原健司		
強靱化のための施策プログラム		⑧ 避難所の機能充実			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
○災害等の発生時において、役場庁舎、行政施設、学校施設及び（仮称）健康福祉センターなどを応急対策等のために防災利用することとしている。							
●避難所の機能充実							
* 自家発電機等の整備							
* 学校施設の避難所としての防災機能強化（小中学校施設の耐震化）							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○学校の耐震化については完了しているが、災害時において学校を避難所として使用するにあたり、教育施設であることに留意し、使用施設の優先順位、避難所運営方法について、協議を行っておく必要がある。							
○災害等の発生時において、役場庁舎、行政施設、学校施設及び（仮称）健康福祉センターなどを応急対策等のために防災利用することとしている。そのため、関係者との連携体制を構築する必要がある。							
救援物資等の運送拠点や防災関係機関の活動拠点、広域避難における中継・休息施設などに「学校施設」や「（仮称）健康福祉センター」を利用することにより、円滑な災害対応を実現するため、災害に係るネットワークが確立できることから、平常時においても連携体制を強化し、防災拠点化を推進していく必要がある。そのようなことから、学校施設においては、防災機能の強化や耐震化・改修を計画的に進める必要がある。							
●避難所の機能充実							
* 自家発電機等の整備							
* 学校施設の避難所としての防災機能強化（小中学校施設の耐震化）							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組 【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
				鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	自家発電設備設置数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
台	目標値	0	0	1	1	2	2
	実績値	0					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・福祉こども課 都市建設課	<b>担当係</b>	総務G・福祉G・都市G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳・矢部憲宗・大内秀人		
強靱化のための施策プログラム	⑨ 防災拠点化の推進				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○災害等の発生時において、役場庁舎、各種行政施設、学校施設、（仮称）健康福祉センターなどを応急対策等のために防災利用することとしている。</p> <p>主に役場庁舎を防災拠点施設として運用しており、役場庁舎が使用できない場合には勤労青少年ホームを使用することとしている。</p> <p>災害等の発生時において、現在建設を検討している（仮称）健康福祉センターを災害発生時に応急対策等のために利用することを計画に入れている。</p> <p>●防災拠点化の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">* 役場庁舎の防災機能強化 * （仮称）健康福祉センターの防災機能併用施設化</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○災害等の発生時において、役場庁舎や各種行政施設、学校施設、（仮称）健康福祉センターなどを応急対策等のために防災利用することとしている。そのため、関係者との連携体制を構築する必要がある。</p> <p>主に役場庁舎を防災拠点施設として運用しており、役場庁舎が使用できない場合には勤労青少年ホームを使用することとしている。このため、役場庁舎の防災拠点施設としての機能強化を図ることや、第二の防災拠点として期待される（仮称）健康福祉センターへの防災機能の併設を行う必要がある。</p> <p>救援物資等の運送拠点や防災関係機関の活動拠点、広域避難における中継・休息施設などに「学校施設」や「（仮称）健康福祉センター」を利用することにより、円滑な災害対応を実現するため、災害に係るネットワークが確立できることから、平常時においても連携体制を強化し、防災拠点化を推進していく必要がある。そのようなことから、学校施設においては、防災機能の強化や耐震化・改修を計画的に進める必要がある。</p> <p>●防災拠点化の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">* 役場庁舎の防災機能強化 * （仮称）健康福祉センターの防災機能併用施設化</p> <p style="padding-left: 20px;">* （仮称）健康福祉センター建設に向け関係者との連携体制を構築する必要がある。</p> <p style="padding-left: 20px;">* （仮称）健康福祉センター計画における防災機能併用施設としての位置付けの確立</p> <p style="padding-left: 20px;">* （仮称）健康福祉センター予定地の造成工事及びアクセス、周辺道路の整備を駅東第1土地区画整理事業（事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円）で整備する。</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	駅東第1土地区画整理事業、社会資本整備交付金事業			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
指標名	計画名 （仮称）健康福祉センター整備事業			現状値	（令和元年度） 10	目標値	（令和3年度） 100
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
%	目標値	20	40	100			
	実績値	10					
指標名	計画名 （仮称）健康福祉センター予定地の造成工事 及びアクセス、周辺道路築造工事			現状値	（令和元年度） 20	目標値	（令和2年度） 100
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	30	100				
	実績値	20					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム	⑩ 自助・共助の取組推進				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
2-1	被災地での食材・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○地域防災力を高め、災害による被害を軽減するためには、防災に関わる機関による「公助」の取組とともに、一人一人が自分の身を守る「自助」の取組と地域の協力・助け合いによる「共助」の取組を促進し、連携を強めることが重要となることから、自助・共助に関する情報発信や防災出前講座の実施、に取り組んでいる。</p> <p>地域の防災活動におけるリーダーとして活躍している消防団員のさらなる知識向上など、今後も、様々な事業を通じて、町民の自助・共助に関する理解を深め、家庭における非常用品の備蓄や地域の防災行事への参加など、自助・共助の取組を促進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自助・共助の取組促進（自助力、共助力の向上・地域での取組）</li> </ul>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○地域防災力を高めるため、平常時から行政区を単位とした組織の充実やコミュニティの促進を図る必要がある。</p> <p>行政区、消防団、消防活動支援隊など、地域防災の中心となる組織の充実と連携強化を図る必要がある。</p> <p>地域の防災活動におけるリーダーとして活躍している消防団員のさらなる知識向上など、今後も、様々な事業を通じて、町民の自助・共助に関する理解を深め、家庭における非常用品の備蓄や地域の防災行事への参加など、自助・共助の取組を促進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自助・共助の取組促進（自助力、共助力の向上・地域での取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>*行政区の組織の充実・強化とコミュニティの促進</li> <li>*消防団、消防活動支援隊等の充実、連携強化</li> </ul> </li> </ul>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成26年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>			
					国			
					県			
	地域の防災体制整備事業、防災施設設備整備事業				鏡石町			
					民間			
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	消防団員数	<b>計画名</b>	第5次総合計画		<b>現状値</b>	(令和元年度) 169	<b>目標値</b>	(令和6年度) 180
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
人	目標値	169	171	173	175	177	180	
	実績値	169						
<b>指標名</b>	消防活動支援隊委員数	<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	(令和元年度) 227	<b>目標値</b>	(令和6年度)
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値	227	230	235	240	245	250	
	実績値	227						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳
------------	-----	------------	-----	----------------	------

強靱化のための施策プログラム	① 消防広域応援体制の強化	重点
----------------	---------------	----

### リスクシナリオ

番号	内容
2-2	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足

### 現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】

○大規模災害や特殊災害の発生により、須賀川地方広域消防組合と消防活動や救急活動における連携を図っている。

○須賀川広域消防組合との連携強化に努めており 現在、擬火災訓練の実施や防災行政無線の支局を設置するなど、各種災害に対し迅速かつ的確な対応が図れるよう連携を図っている。

### 現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】

○須賀川地方広域消防組合と相互に連携した取組みを進め、実効性を確保することが重要である。

大規模災害発生時において、広域消防応援が迅速かつ円滑に行われるため、県総合防災訓練等への参画による連携強化及び相互応援協定の実効性の確保を図るとともに、消防広域応援体制の充実・強化に取り組んでいく必要がある。

現在、擬火災訓練の実施や防災行政無線の支局を設置するなど、各種災害に対し迅速かつ的確な対応が図れるよう連携を図っているが、より広域での災害に対応できるよう、広域訓練への参加や通信システムの充実を図っていく必要がある。

- 須賀川広域消防組合との連携
  - \* 須賀川消防署鏡石分署の建替え(用地確保) \* 高規格車両等(救急・消防・救助車両)
  - \* ICTを活用した情報共有システムの充実強化 \* 各種災害に対応した防災訓練等の実施

<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>	
		国	
		県	
	防災力の強化関連事業、防災施設整備事業	鏡石町	
		民間	

### 指標

<b>指標名</b>	広域消防訓練への参加回数	<b>計画名</b>	第5次総合計画				<b>現状値</b>	(令和元年度) 1	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>			
<b>回</b>	目標値	1	2	2	2	2	2			
	実績値	1								

  

<b>指標名</b>	町防災訓練等の実施回数	<b>計画名</b>	第5次総合計画				<b>現状値</b>	(令和元年度) 1	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>			
<b>回</b>	目標値	1	1	1	1	1	1			
	実績値	1								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム		② 大規模災害等における広域応援体制の充実・強化			重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
2-2	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○大規模災害等が発生し、単独では十分な応急措置が実施できない場合に備え、友好町村等と相互応援協定、広域応援協定等を締結し、人的・物的支援について広域応援体制を構築している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模災害等における広域応援体制の充実・強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>*友好町村等の災害・消防相互応援協定</li> <li>*こおりやま広域圏における応援協定の締結</li> </ul> </li> </ul>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○大規模災害時であっても相互に応援要請・職員派遣の円滑な対応を行うため、各種会議や訓練等の実施を通じて各相互応援協定の実効性を確保し、広域応援体制の充実・強化を図る必要がある。</p> <p>災害応援協定に基づいた相互応援体制の充実・強化に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模災害等における広域応援体制の充実・強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>*友好町村等の災害・消防相互応援協定</li> <li>*こおりやま広域圏における応援協定の締結</li> </ul> </li> </ul>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>				
				国				
				県				
				鏡石町				
			民間					
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	協定締結数	<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	(令和元年度) 22	<b>目標値</b>	(令和6年度) 25
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値	22	22	23	23	24	25	
	実績値	22						
<b>指標名</b>			<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値							
	実績値							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳	
強靱化のための施策プログラム		③ 消防防災ヘリの円滑な運行確保			重点	
<b>リスクシナリオ</b>						
番号	内容					
2-2	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足					
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>						
○消防防災ヘリの安全かつ円滑な運航を確保するため、ヘリ臨時離着陸場の維持管理に取り組んでいる。						
●ヘリポート						
①鳥見山陸上競技場 ②鳥見山野球場 ③鏡石町公民館グランド						
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>						
○消防防災ヘリの安全かつ円滑な運航を確保するため、ヘリ臨時離着陸場の維持管理に取り組んでいる。						
また、大規模自然災害の発生時など、消防防災ヘリに対する出動要請の関係機関との連絡体制の確保、さらには県消防防災ヘリのみでは対応できない場合における自治体間の相互応援協定や広域航空消防応援実施要綱に基づく防災ヘリの応援・連携体制を構築する必要がある。						
今後も、各種訓練等を通じて、相互応援協定等に基づく防災ヘリの応援・連携体制を確認するとともに、複数の防災ヘリ等について円滑な運航を調整するための能力向上やヘリ臨時離着陸場の充実・確保に向けた取組を推進していく必要がある。						
上記3か所がヘリ離着陸場であることの施設利用者への周知を徹底し、施設管理者および利用者ともに防災意識の高揚を図る。また、緊急時に円滑に利用できるよう環境整備に努める。						
●ヘリポート ①鳥見山陸上競技場 ②鳥見山野球場 ③鏡石町公民館グランド						
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～	
具体的な取組 【事業内容】	事業名				取組主体	
					国	
					県	
					鏡石町	
					民間	
<b>指標</b>						
指標名	離着陸箇所数		計画名	現状値	（令和元年度） 3	目標値 （令和3年度） 3
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5
箇所	目標値	3	3	3	3	4
	実績値	3				
指標名			計画名	現状値		目標値
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5
	目標値					
	実績値					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム		④ 消防団の充実・強化			重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
2-2	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○消防団は、地域に密着して住民の安全・安心を守る地域防災の要となる存在であるが、就業構造の変化やライフスタイル、地域の連帯意識の希薄化などの影響により、消防団員の減少及び高齢化が進んでいることから、若い世代の消防団加入促進に向けた取り組みを実施している。</p> <p>今後も引き続き、若者や女性の入団促進を推進するとともに、消防団の活動に対して地域や雇用者側からの理解・支援が得られる環境整備、特定の消防団活動（日中の消火活動や災害時の後方支援等）のみを行う消防活動支援隊を組織している。</p> <p style="margin-left: 20px;">* 鏡石町地域防災計画 * 鏡石町地域水防計画 * 消防団車輛の更新 * 消防団屯所の改築</p> <p style="margin-left: 20px;">* 消防団員の定数確保 * 消防救急無線デジタル化</p>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○鏡石町地域防災計画の見直しや水防計画策定により、地域消防団としての意識高揚を図る必要がある。</p> <p>また、消防車輛の更新や消防団屯所の改築・耐震化を進めることで、消防団員の環境改善、予防消防活動の充実・強化を図る必要がある。</p> <p style="margin-left: 20px;">* 鏡石町地域防災計画の定期的な見直し * 鏡石町地域水防計画の早期の策定 * 消防団車輛の更新 * 消防団屯所の改築</p> <p style="margin-left: 20px;">* 消防団員の待遇改善、定数確保 * 消防団員の装備の充実、準中型免許取得支援</p> <p style="margin-left: 20px;">* 無線やインターネットを利用した通信システムの充実</p>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>				
				国				
				県				
	防災力の強化関連事業、地域防災体制整備事業、防災施設整備事業			鏡石町				
			民間					
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	消防団員数	<b>計画名</b>	第5次総合計画		<b>現状値</b>	(令和元年度) 169	<b>目標値</b>	(令和6年度) 180
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
人	目標値	169	171	173	175	177	180	
	実績値	169						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値							
	実績値							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・都市建設課	<b>担当係</b>	総務G・都市G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳・有馬直希		
強靱化のための施策プログラム	⑤ 災害に強いまちづくり・消防対策の再構築				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-2	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模災害や特殊災害の発生による火災等が発生させない取り組みを進めることが重要であることから、初期消火の体制づくりや消防力の強化、未然に防止する観点から、町民ひとりひとりの心がけを高めることから、防災訓練を実施している。</p> <p>＊防災訓練の実施 ＊自主防災組織の設置 ＊防犯灯の新設、修繕、LED化の推進 ＊消防活動支援隊設置・充実強化</p> <p>＊国土利用計画（見直し） ＊都市計画マスタープラン（見直し）</p> <p>＊鏡田・高久田地区計画の整備・推進 ＊広報広聴の充実・強化</p> <p>＊デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○大規模災害や特殊災害における初動体制づくりの強化を図ることはもちろん、住宅が密集した地域の対策や地域の安全対策等への取り組みを充実、強化していく必要がある。</p> <p>緊急時の町内一斉放送による災害への対応も住民へ更なる情報共有を進めるとともに意識の高揚を図る必要がある。</p> <p>＊防災訓練の実施 ＊自主防災組織の設置 ＊防犯灯の新設、修繕、LED化の推進 ＊消防活動支援隊設置・充実強化</p> <p>＊国土利用計画（見直し） ＊都市計画マスタープラン（見直し） ＊都市施設の整備・推進</p> <p>＊広報広聴の充実・強化 ＊デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実</p> <p>＊インターネットを活用した防災情報共有システムの導入</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 国土利用計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成27年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成24年度～令和3年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	防災力の強化関連事業、地域防災体制整備事業、防災施設整備事業		鏡石町				
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	防災訓練の実施回数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 1	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
回	目標値	1	1	2	2	2	2
	実績値	1					
<b>指標名</b>	消防活動支援隊員数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 227	<b>目標値</b>	(令和6年度) 235
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人	目標値	227	229	231	233	235	235
	実績値	227					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳
------------	-----	------------	-----	----------------	------

強靱化のための施策プログラム	① 防災拠点病院における非常時使用燃料等の確保	重点
----------------	-------------------------	----

### リスクシナリオ

番号	内容
2-3	救助・救急・医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶

### 現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】

○災害時に多発する重篤救急患者の救命医療等を確保するため、災害に伴う停電が発生した場合であっても、医療活動を維持する必要があることから、非常用発電機及び燃料の備蓄や非常時使用燃料等が確保されるよう燃料供給事業所との連携を図っている。

- 災害拠点病院及び町内医療機関における非常時使用燃料等の確保
  - \*非常時燃料供給事業所との協定締結

### 現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】

○災害拠点病院及び町内医療機関の現状把握に努め、機能の確保に取り組んでいく必要がある。

- 災害拠点病院及び町内医療機関における非常時使用燃料等の確保
  - \*非常時燃料供給事業所との協定締結

<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>
			国
			県
			鏡石町
		民間	

### 指標

指標名	非常用燃料供給に関する協定数		計画名	現状値	(令和元年度)		目標値	(令和6年度)	
	1	2			1	2			
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
件	目標値	0	1	1	1	1	1		
	実績値	0							
指標名			計画名	現状値			目標値		
単位	年度	R1			R2	R3		R4	R5
	目標値								
	実績値								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗	
強靱化のための施策プログラム	② 透析医療機関での非常時対応体制の整備				重点	
<b>リスクシナリオ</b>						
番号	内容					
2-3	救助・救急・医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶					
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>						
<p>○災害等に伴う停電・断水が発生した場合であっても透析医療の継続を確保するため、人工透析医療機関における非常用電源や貯水槽の設置による非常時対応体制の整備が求められる。</p> <p>町内の人工透析実施医療機関においては、現在、自己水源での対応により透析医療を行っているが、自家発電装置の有無についての調査を実施し、災害時の透析医療体制の確認・強化に取り組む。</p> <p>今後、災害時の透析医療に係る具体的な対応については、福島県災害医療マニュアル等参考にしながら、県及び各医療機関相互の連携強化に取り組んでいく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●透析医療機関での非常時対応体制の整備</li> <li style="padding-left: 40px;">*非常時対応協定締結</li> </ul>						
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>						
<p>○町内の人工透析実施医療機関における非常用電源や貯水槽の設置による非常時対応体制の整備強化に努める。。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●透析医療機関での非常時対応体制の整備</li> <li style="padding-left: 40px;">*非常時対応協定締結</li> </ul>						
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～	
具体的な取組 【事業内容】	事業名				取組主体	
					国	
					県	
					鏡石町	
					民間	
<b>指標</b>						
指標名	計画名			現状値	目標値	
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5
	目標値					
	実績値					
指標名	計画名			現状値	目標値	
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5
	目標値					
	実績値					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗
------------	--------	------------	-----	----------------	------

強靱化のための施策プログラム	③ 緊急車両等に供給する燃料の確保	重点
----------------	-------------------	----

### リスクシナリオ

番号	内容
2-3	救助・救急・医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶

### 現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】

○大規模自然災害等の発生時において、緊急車両や施設等で必要となる燃料の供給を確保するため、福島県石油業協同組合と燃料等の供給に関する災害時応援協定の締結を進める必要がある。

- 緊急車両等に供給する燃料の確保
  - \*緊急燃料供給事業所との協定締結

### 現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】

○緊急車両等への優先給油を行う給油所との連携に取り組む必要がある。

また、緊急車両等への優先給油を行う給油所との連携に取り組む必要がある。

今後も引き続き、訓練等を通じて福島県石油業協同組合との連携強化を図るとともに、関係機関・各種団体等との緊密な連携の下、災害時に必要な燃料の確保に向けた取組を推進していく必要がある。

- 緊急車両等に供給する燃料の確保
  - \*緊急燃料供給事業所との協定締結

<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～
--------------	----------------------	-------------	-------------------------

<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>
		国
		県
		鏡石町
		民間

### 指標

<b>指標名</b>	非常用燃料供給に関する協定数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 1	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件	目標値	0	1	1	1	1	1
	実績値	0					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム		① 災害時医療救護所開設			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-4	医療・福祉施設及び関係者の絶対的不足・被災・支援ルートの途絶による医療・福祉機能の麻痺						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○DMATは、災害発生後直ちに被災地へ入り、トリアージや救命処置、患者の搬送に係る診察・処置、被災地内の病院における診療支援等を行う災害派遣医療チームであるが、国及び県を通じて、DMATへの取組を促進し、災害医療体制の強化を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害医療救護所開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害時医療救護活動マニュアル作成</li> <li>*災害時医療救護所の開設</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○災害時医療救護活動マニュアルを作成するとともに、災害時医療救護所の設置に向けた準備を進める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害医療救護所開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害時医療救護活動マニュアル作成</li> <li>*災害時医療救護所の開設</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
				鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
指標名	計画名			現状値	目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						
指標名	計画名			現状値	目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗
------------	--------	------------	-----	----------------	------

強靱化のための施策プログラム	② 災害時要援護者の支援	重点
----------------	--------------	----

### リスクシナリオ

番号	内容
2-4	医療・福祉施設及び関係者の絶対的不足・被災・支援ルートの途絶による医療・福祉機能の麻痺

### 現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】

○当町においては、災害時における医療・福祉施設が並びに関係者が不足している状況である。

### 現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】

○災害時における施設と福祉関係者の確保を重要課題として取り組む必要がある。  
 また、災害派遣精神医療チーム（DPAT）との連携が図られるかも含めて検討する必要もある。  
 関係機関との緊密な協力・連携の下、災害時における精神保健活動支援体制の充実・強化を図る必要がある。  
 ●災害時要援護者支援プランの推進

<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～
<b>具体的な取組 【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>	
		国	
		県	
	要支援者の確認、制度の周知、訓練の実施	鏡石町	
		民間	

### 指標

<b>指標名</b>		<b>計画名</b>	避難行動要支援者対策	<b>現状値</b>	(令和元年度) 20	<b>目標値</b>	(令和3年度) 100
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
%	目標値	20	60	100			
	実績値	20					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・教育課	<b>担当係</b>	総務G・生涯学習G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳・塚原健司			
強靱化のための施策プログラム	③ ドクターヘリによる救急医療体制の充実・強化				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
2-4	医療・福祉施設及び関係者の絶対的不足・被災・支援ルートの途絶による医療・福祉機能の麻痺							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○救急専門医等による初期治療時間及び救命救急センターへの搬送時間を短縮することによる救命率の向上を図るため、ドクターヘリによる広域連携を図っている。</p> <p>消防防災ヘリと同様に円滑な運航を確保するため、ヘリ臨時離着陸場の維持管理に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘリポート ①鳥見山陸上競技場 ②鳥見山野球場 ③鏡石町公民館グラウンド</li> <li>●ドクターヘリによる救急医療体制の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>*緊急離着陸場所の確保、整備 *鳥見山陸上競技場の整備・更新</li> </ul> </li> </ul>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○大規模自然災害時は、救命救急処置を要する重傷外傷患者の増加や道路交通基盤の被災等により、ドクターヘリの需要増大が見込まれることから、ドクターヘリ臨時離着陸場所の確保、救急医療体制の充実・強化を図る必要がある。</p> <p>救急医療体制の充実のため、離着陸場施設として必要なものの情報を整理し、都市建設課との陸上競技場改修計画の協議検討を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘリポート ①鳥見山陸上競技場 ②鳥見山野球場 ③鏡石町公民館グラウンド</li> <li>●ドクターヘリによる救急医療体制の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>*緊急離着陸場所の確保、整備 *鳥見山陸上競技場の整備・更新</li> </ul> </li> </ul>								
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～			
具体的な取組【事業内容】	事業名				取組主体			
					国			
					県			
					鏡石町			
					民間			
<b>指標</b>								
指標名	離着陸箇所数			計画名	現状値	(令和元年度) 3	目標値	(令和3年度) 3
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
箇所	目標値	3	3	3	3	4	4	
	実績値	3						
指標名				計画名	現状値	目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値							
	実績値							

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当名(内線)</b>	折笠友基・大内秀人		
強靱化のための施策プログラム	④ 幹線道路の整備				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-4	医療・福祉施設及び関係者の絶対的不足・被災・支援ルートの途絶による医療・福祉機能の麻痺						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況(課題等の整理)：脆弱性評価】</b>							
<p>○避難対策や物流輸送に必要な防災拠点・役場等を結ぶ緊急輸送路において、内陸直下型地震に対応した橋梁への耐震対策や幹線道路の維持補修整備を計画的に実施している。</p> <p>また、高度経済成長期以降に集中的に整備されて老朽化した橋梁について、予防保全を取り入れた長寿命化対策に取り組んでおり、さらには、緊急輸送路や避難に必要な道路・歩道等における安全かつ円滑な交通を維持するため、補修整備にも取り組んでいる。</p> <p>緊急輸送路における橋梁の耐震対策や幹線道路の維持補修・整備によって、緊急輸送ネットワークの強化を図るとともに、長期的な維持管理費用の縮減と安全性の確保に向けた橋梁の長寿命化対策を進めていく必要がある。</p> <p>●幹線道路網の整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 道路の維持補修・定期的な点検 * 通学路の整備・補修 * 排水施設の整備 * 歩道・側溝整備 * 橋梁の耐震化・長寿命化修繕</li> <li>* 未舗装道路整備 * ポケットパーク整備 * 防火水槽設置・耐震性防火水槽への更新 * 都市施設の整備推進</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業</li> </ul> <p>【事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円(うち社会資本整備総合交付金21.0億円)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 国道4号鏡石拡幅(4車線化整備)、国道4号矢吹鏡石道路計画(4車線化整備)</li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○緊急輸送路等の指定となっている消防署と鳥見山公園を結ぶ町道笠石476号線の歩道新設工事を継続して進め、安全かつ円滑な交通を維持する事業に取り組んでおり、町道北町・堀米線、町道笠石・鏡田線では舗装点検結果をもとに、修繕に努める。</p> <p>町道全体の道路附属物の点検を行い、健全度判定結果に基づき、修繕に努め、道路パトロールにて、地元との連携を通して計画的な更新を図るとともに維持補修に努める。</p> <p>久来石・行方・蓮池西線は、笠石原町と南町を結ぶ重要な路線であるが狭隘であり、朝夕の通勤通学時間帯には車両の交互通行により歩行者等の安全を確保するのが困難であり視距も悪いため、現道を拡幅工事を実施し、より安全な道路として整備に努める。</p> <p>鏡田111号線は県道下松本鏡石停車場線と一級町道鏡田仁井田線を結ぶ地区内交通を担う路線であり近隣には学校施設(岡ノ内幼稚園)がある。</p> <p>隣接する町道鏡田426号線に流入する通過交通が増大していることから本路線を整備し、流入する通過交通を迂回させることで、地区内の交通の円滑化を図れるように努める。</p> <p>東町地内公道整備については現況道路が袋小路になっているため、災害時に緊急車両等の通行が困難になるため団地内の道路を整備に努める。</p> <p>高齢化橋梁の増大に伴い、道路交通の安全性を確保するうえで、これまでの事後的対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図ることにより、橋梁の長寿命化に対するコストの縮減を図って行く。</p> <p>また、5年に1度の法定点検を実施し、健全度判定結果に基づき修繕計画を立て実施している。</p> <p>●防災・安全交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* (他)笠石476号線ほか旭町工区【事業期間 平成29年度～令和4年度 総事業費 65.0百万円】</li> <li>* (他)鏡田89号線鏡沼工区【事業期間 平成31年度～令和2年度 総事業費 25.0百万円】</li> <li>* (他)笠石482号線外1路線【事業期間 平成31年度～令和4年度 総事業費 70.0百万円】</li> <li>* (1)成田・玉川線ほか成竜橋ほか【事業期間 平成27年度～ 総事業費 405百万円】</li> <li>* 道路施設点検(橋梁)【事業期間 平成27年度～ 総事業費 25百万円】</li> <li>* (1)北町・堀米線ほか2号線ほか【事業期間 平成30年度～ 総事業費 251百万円】</li> <li>* 国道4号鏡石拡幅(4車線化整備)、国道4号矢吹鏡石道路計画(4車線化整備)</li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～			
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
	国道4号鏡石拡幅・国道4号矢吹鏡石道路計画(4車線化整備)			国			
	鏡石駅東第1土地区画整理事業、社会資本整備総合交付金事業			県			
	防災・安全交付金事業、公共施設等適正管理推進事業			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	久来石・行方・蓮池西線		<b>計画名</b>	久来石・行方・蓮池西線道路改良工事			
	<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和6年度) 100%			
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	<b>目標値</b>	40	50	60	70	80	100
	<b>実績値</b>	40					
<b>指標名</b>	東町地内公道整備		<b>計画名</b>	東町地内道路改良工事			
	<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和2年度) 100%			
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	<b>目標値</b>	40	100				
	<b>実績値</b>	40					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗		
強靱化のための施策プログラム		⑤ 社会福祉施設の耐震化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-4	医療・福祉施設及び関係者の絶対的不足・被災・支援ルートの途絶による医療・福祉機能の麻痺						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○社会福祉施設については、自ら避難することが困難な者も多いため入所者の安全を確保するとともに、災害時であっても福祉サービスの提供を継続し、被災した患者の受入れや福祉避難所としての機能を確保する必要があることから、耐震化等の防災・減災対策が求められている。</p> <p>○老人福祉センター、特別養護老人ホーム（鏡石ホーム）の耐震化等の対策がされていない。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○本町の社会福祉施設には耐震化されていない施設が存在することから、今後も引き続き、未耐震化施設について耐震化整備を促進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●老人福祉センター、特別養護老人ホーム（鏡石ホーム）の耐震化、耐震改修や不燃化対策の促進</li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
				鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	特別養護老人ホーム耐震化率	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和3年度) 20
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
%	目標値	0	10	20	50	100	
	実績値	0					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗			
強靱化のための施策プログラム	⑥ 福祉避難所の充実・確保				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
2-4	医療・福祉施設及び関係者の絶対的不足・被災・支援ルートの途絶による医療・福祉機能の麻痺							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
○災害時における要配慮者の円滑な避難行動を確保するため、福祉避難所の充実・確保が求められることから、福祉避難所の指定状況の確認、個別訪問や福祉避難所における平常時の備えについて取り組んでいる。								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
○関係機関と連携して福祉避難所の運営訓練を実施するとともに福祉避難所の充実・確保を促進していく必要がある。 また、自ら避難することが困難な者も多い入所者の安全を確保するとともに、災害時にあっても医療・福祉の提供を継続し、被災した患者の受入れや福祉避難所としての機能を確保する必要があることから、耐震化等の防災・減災対策が求められる。 社会福祉施設等の耐震化については、今後も引き続き、未耐震化施設の耐震化整備を促進する必要がある。 また、既存の福祉センターや保健センター等の施設が老朽化しており、複合的施設としての（仮称）健康福祉センターの整備推進を図る必要がある。 * 避難所のバリアフリー化及びトイレ等施設改修 * 特別養護老人ホーム（鏡石ホーム）の耐震化 * 社会福祉協議会への支援 * （仮称）健康福祉センターの整備推進								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>				
				国				
				県				
				鏡石町				
			民間					
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	整備進捗率	<b>計画名</b>	（仮称）健康福祉センター整備事業		<b>現状値</b>	（令和元年度） 10	<b>目標値</b>	（令和3年度） 100
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
%	目標値	20	40	100				
	実績値	10						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4		R6	
	目標値							
	実績値							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課	<b>担当係</b>	環境G	<b>担当名（内線）</b>	齋藤則行							
強靱化のための施策プログラム	① 感染症等予防措置の推進				重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
2-5	被災地における疫病・感染症等の大規模発生											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○災害時において、感染症等がまん延する事態を防ぐためには、避難所等における手洗い・手指消毒の励行、咳エチケットの徹底、トイレやごみ保管場所等の適正な衛生管理などの感染症予防対策の実施が効果的であり、感染症対策に関する各種研修への職員参加により、最新の感染症対応能力のある人材の育成に取り組んでいる。</p> <p>●感染症予防措置の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">* ワクチンの確保（登録申請）   * 麻しん・風疹ワクチンの接種   * 感染症に関する情報収集と広報周知の強化</p>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○災害時において、疾病や感染症予防対策のリーダーとして活躍できる人材の育成を進めるとともに、平常時から予防接種や感染症に関する情報提供、検査実施体制の整備、感染症に関する正しい知識や予防策についての普及啓発などに取り組み、感染症予防措置を推進していく必要がある。</p> <p>●感染症予防措置の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">* ワクチンの確保</p> <p style="padding-left: 20px;">* 感染症に関する情報収集と広報周知の強化</p> <p style="padding-left: 20px;">* 集団予防接種等対策   * 消毒薬剤等の備蓄</p>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～									
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>								
				国								
				県								
				鏡石町								
			民間									
<b>指標</b>												
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5			R6			
	目標値											
	実績値											
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5			R6			
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	上水道G	<b>担当名（内線）</b>	藤田欽一							
強靱化のための施策プログラム	② 水質保全の確保				重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
2-5	被災地における疫病・感染症等の大規模発生											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○災害時において、水道水は大切なライフラインの一つです。水道水における水質検査では、水道法に定められた水質基準項目に適合した安全な水道水を供給するために、水源から蛇口まで水質の安全確保に向けた検査を実施し、水質の向上に取り組んでいる。</p> <p>安全・安心な水を提供するためには、水源から給水栓にいたるまでの水質を総合的に管理・監視していく必要がある。</p> <p>水源水質の保全や適切な浄水処理及び管路内や給水装置における水質安全性の確保など、水道水の安全性の確保に努める。</p> <p>日常業務のレベルアップにより、さらに安全な水を確実に供給できるように体制を整備していく必要がある。水道施設の運営上の判断は職員の経験に依存しているため、これを継承発展させていき、管理者の判断能力も確保していきます。</p> <p>特に浄水場の運転管理は、浄水処理や水質に関する内外研修会を取り入れ、併せて業務を通して訓練を実施し判断能力の継承に努めていく必要である。また、今後の水質の安定的な維持管理のため民間事業者への業務委託についても検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水質保全の確保             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 水質調査の実施、水質保全のための啓発</li> </ul> </li> </ul>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○安全安心な水道水の供給には、水道施設全体の適切な維持管理が必須である。</p> <p>今後、水道事業の効率化が求められている状況や技術の継承が困難になることを想定し、安定した維持管理が実施できるよう民間事業者への業務委託を検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水質保全の確保             <ul style="list-style-type: none"> <li>* ろ過施設等の定期的な点検・補修</li> <li>* 水質調査の実施</li> <li>* 水質保全のための啓発</li> </ul> </li> </ul>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町新水道ビジョン	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成30年～令和9年度									
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>								
				国								
				県								
	浄水場運転管理業務委託事業			鏡石町								
			民間									
<b>指標</b>												
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	下水道G	<b>担当名（内線）</b>	保田広隆								
強靱化のための施策プログラム	③ 下水道業務計継続計画（BCP）の策定・推進				重点								
<b>リスクシナリオ</b>													
番号	内容												
2-5	被災地における疫病・感染症等の大規模発生												
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>													
<p>○東日本大震災と同程度の大地震を想定し、下水道施設が被災した場合であっても、速やかにかつ高いレベルで下水道が果たすべき機能を維持・回復することを目的として、事前対策や非常時対応等について定めた「鏡石町下水道業務継続計画（BCP）」を策定し、情報伝達訓練等を実施している。</p> <p>災害発生時の対応手順の定着と確実な実行のため、今後も下水道BCPに基づく訓練の実施や計画見直しによる対応従事者のレベルアップを図っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●下水道業務継続計画（BCP）の策定・推進</li> </ul>													
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>													
○今後も下水道BCPに基づく訓練の実施や計画見直しによる対応従事者のレベルアップを図っていく。													
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～										
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>								
					国								
					県								
					鏡石町								
				民間									
<b>指標</b>													
指標名					計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6						
		目標値											
		実績値											
指標名					計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6						
		目標値											
		実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	下水道G	<b>担当名（内線）</b>	保田広隆		
強靱化のための施策プログラム		④ 下水道施設の維持管理			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-5	被災地における疫病・感染症等の大規模発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模自然災害等によって下水道施設の機能が損なわれた場合、疫病や感染症等がまん延するリスクがあることから、下水道施設の適切な維持管理が求められる。</p> <p>町では、限られた人員、予算の中で効果的に施設管理を行うための管理区分の設定、点検・調査頻度、改築判断基準等を定めた「鏡石町県中流域下水道ストックマネジメント計画」を平成28年12月に策定しており、下水道施設を一体的に捉えた長寿命化対策及びライフサイクルコストの低減を推進するため、定期的な計画見直しによる精度向上を図り、下水道施設の持続的な機能確保に取り組んでいく必要がある。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○下水道長寿命化計画を適宜見直し、下水道施設の持続的な機能確保に取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●下水道施設の維持管理           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 下水道事業アセットマネジメント計画策定</li> <li>* 長寿命化対策 * 改築更新</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町下水道ストックマネジメント 下水道事業計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成28年度～ 昭和54～令和6年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	公共下水道事業 改築工事 社会資本整備総合交付金事業		鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	鏡石町下水道ストックマネジメント	<b>計画名</b>	ふくしまの美しい水環境整備の推進	<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値	12000千円	8,000千円	10,000千円			
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	下水道G	<b>担当名（内線）</b>	保田広隆		
強靱化のための施策プログラム		⑤ 合併処理浄化槽設置への転換促進			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
2-5	被災地における疫病・感染症等の大規模発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
○し尿のみを処理する単独処理浄化槽について、平成12年の浄化槽法改正により新設が原則禁止されたが、依然として多くの単独処理浄化槽が残存し、老朽化が進んでいる。							
生活環境の改善や公共用水域の水質保全、感染症のまん延予防を図り、浄化槽の災害耐性を強化するためには、福島県浄化槽整備事業費補助金による補助事業を活用し、老朽化した単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進している。							
●合併処理浄化槽設置への転換促進							
*合併処理浄化槽設置整備の推進							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○今後も福島県浄化槽整備事業費補助金による補助事業を活用し、老朽化した単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進していく。							
●合併処理浄化槽設置への転換促進							
*合併処理浄化槽設置整備の推進							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	浄化槽整備事業、循環型社会形成推進交付金			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	浄化槽整備事業	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
	目標値	925千円	925千円	925千円	925千円	925千円	
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央				
強靱化のための施策プログラム		⑥ 家畜伝染病対策の充実・強化			重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
2-5	被災地における疫病・感染症等の大規模発生								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
<p>○大規模自然災害時においても家畜伝染病の発生予防・まん延防止対策を迅速かつ的確に行うため、初動防疫に必要な資材の備蓄、防疫演習の実施、防疫対策業務に関する協定締結等を実施しており、今後も引き続き、関係機関との緊密な連携の下、家畜防疫体制の強化を図る必要がある。</p> <p>町内においても緊急時の連絡体制や職員等の初動マニュアルを作成し、備える必要がある。</p>									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
<p>○家畜伝染病の発生予防・まん延防止対策を迅速かつ的確に行うため、今後も引き続き、関係機関との緊密な連携の下、家畜防疫体制の強化を推進する。</p> <p>町内においても緊急時の連絡体制や職員等の初動マニュアルの作成を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家畜伝染病対策の充実・強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 関係機関との連絡体制の強化、初動マニュアル作成</li> </ul> </li> </ul>									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～						
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>				
					国				
					県				
					鏡石町				
					民間				
<b>指標</b>									
<b>指標名</b>	初動マニュアル策定			<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 策定無	<b>目標値</b>	(令和3年度) 策定有
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>		
	目標値	策定有	策定有	策定有	/	/	/		
	実績値	策定無			/	/	/		
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>		
	目標値								
	実績値								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務 G	<b>担当名 (内線)</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム	① 災害対策本部機能の強化				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
3-1	行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○大規模災害発生時に町の各機関が自らも被災し、人、物、情報等の資源に制約を受けた場合であっても、優先的に実施すべき業務を的確に行うため、業務継続計画を策定する必要がある。町災害対策本部の設置場所となる役場庁舎及び代替え施設の耐震化や非常用発電機設置を図っていく必要がある。</p> <p>災害に係るネットワークが確立できることから、平常時においても連携体制を強化し、防災拠点化を推進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策本部機能の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 鏡石町業務継続計画の策定 * 役場庁舎の耐震化 * 役場庁舎非常用発電機設置 * 災害時相互応援協定締結</li> <li>* (仮称)健康福祉センターの整備</li> </ul> </li> </ul>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○業務継続体制の充実・強化に取り組んでいくことが必要であり、町災害対策本部の設置場所となる役場庁舎や代替え施設の耐震化や非常用発電機設置により、困難な状況下であっても、対応できる体制づくりが重要である。</p> <p>今後は、通勤手段等に制限を設けた状況下における職員参集訓練の実施や非常時優先業務の見直しなど、業務継続計画の実効性を高める取組を推進していくとともに、災害対応等に必要不可欠な行政機能の確保に向けた取組を促進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策本部機能の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 鏡石町業務継続計画の策定 * 役場庁舎の改修・耐震化 * 役場庁舎非常用発電機設置 * 災害時相互応援協定締結</li> <li>* 通信設備の強化</li> </ul> </li> <li>○(仮称)健康福祉センター建設に向け関係者との連携体制を構築する必要がある。</li> </ul> <p>災害対策本部としての機能、救援物資等の運送拠点や防災関係機関の活動拠点、広域避難における中継・休息施設などに(仮称)健康福祉センターを利用することにより、円滑な災害対応を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(仮称)健康福祉センターの整備及び計画における防災機能併用施設としての位置付けの確立</li> </ul>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組 【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>			
					国			
					県			
					鏡石町			
				民間				
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	業務継続計画の策定	<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和6年度) 1
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値	0	1	1	1	1	1	
	実績値	0						
<b>指標名</b>			(仮称)健康福祉センター整備事業	<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	(令和元年度) 10	<b>目標値</b>	(令和3年度) 100
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
%	目標値	20	40	100				
	実績値	10						
<b>指標名</b>			公共施設の非常用電源設置	<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
箇所	目標値	0	0	1	1	2	2	
	実績値	0						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・福祉こども課 健康環境課	<b>担当係</b>	総務G・こどもG・健康G	<b>担当名（内線）</b>	灘山教史、正木諒、斎藤則行		
強靱化のための施策プログラム	② 町有施設の耐震化等				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
3-1	行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>大規模災害発生時においても、必要な行政機能を維持し、迅速かつ的確な災害対応を行うため、防災拠点となる庁舎・公共施設の耐震性を確保する必要があるため、公共施設の耐震化を進めている。</p> <p>また、併せて、施設利用者や町利用者の安全確保のために一時避難所としての機能などを備えるため児童福祉施設の安全性や耐震性を確保する必要がある。耐震対策については、全庁的な進行管理を行いながら公共施設の耐震化を進めており、耐震改修や不燃化対策の促進を図っている。</p> <p>鏡石保育所、児童館においては、築20年以上経過し施設の老朽化が進んでおり改修が必要な個所も見受けられる。</p> <p>外壁や屋根は大規模な改修が必要であり、大規模地震、豪雨など大規模な自然災害が発生した場合は、建物被害が予想され、保育環境への影響が懸念される。</p> <p>役場庁舎の耐震化は平成26年度に改修工事済み。</p> <p>公営住宅（境・東町団地）、定住促進住宅は耐震設計基準の改正後に建築されており、耐震性の問題はない。</p> <p>杉林団地は入居者が全て退去した建物について随時解体・撤去を行っている。</p> <p style="text-align: center;">* 役場庁舎、保育所、町公民館、地区集会所、構造改善センター、鳥見山体育館、保健センター、公営住宅（境・東町） 定住促進住宅（旭町）、児童館、陸上競技場の整備耐震化 * 杉林団地の撤去</p>							
<p>○大規模地震等の災害発生時に応急対策活動の拠点となる施設（庁舎・公共施設・避難所）及び不特定多数の者が使用する一定規模以上の建築物について、全庁的な進行管理を行いながら公共施設の耐震化を進めていく必要がある。</p> <p>また、耐震化の必要性の検証と今後の施設の在り方を検討する。</p> <p>○平成31年3月に鏡石町町営住宅等長寿命化計画が策定され、計画に基づき公営住宅（境・東町団地）、定住促進住宅の改善・長寿命化を行う。</p> <p>○計画に策定されていない施設に関しては、老朽化に伴い随時改修工事を行う。</p> <p style="text-align: center;">* 鏡石保育所（H6）の改修・耐震化 * 鏡石町児童館（H8）の改修・耐震化 * 保健センター・成田保健センター * 「仮称 健康福祉センター」への機能移転 * 鏡石町児童ふれあい交流館</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 子ども・子育て支援事業計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 令和2年度～令和6年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
	次世代育成支援対策施設整備交付金、保育所等整備交付金	国					
	福島県安心こども基金特別対策事業補助金、認定こども園施設整備交付金	県					
	「仮称 健康福祉センター」建設事業 役場庁舎耐震改修事業、鏡石町町営住宅等長寿命化計画	鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	児童福祉施設耐震化率	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 0%	<b>目標値</b>	(令和3年度)
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	<b>目標値</b>	0%	0%	10%	20%	50%	60%
	<b>実績値</b>	0					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>	鏡石町町営住宅等長寿命化計画	<b>現状値</b>	(平成31年度)	<b>目標値</b>	(令和6年度)
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	<b>目標値</b>		境団地手すり設置	境団地A棟外壁改修実施設計	境団地A棟外壁・屋根改修	境団地B棟外壁改修実施設計	境団地B棟外壁・屋根改修
	<b>実績値</b>						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・福祉こども課	<b>担当係</b>	総務G・財政G・福祉G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳・正木諒・矢部憲宗					
強靱化のための施策プログラム	③ 訓練実施等による防災関係機関との連携体制及び災害対応力の強化				重点					
<b>リスクシナリオ</b>										
番号	内容									
3-1	行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下									
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>										
<p>○国、県、市町村のほか、警察、消防、自衛隊などの防災関係機関や地元消防団、自主防災組織等が相互の連携及び災害対応力を強化するとともに、地域住民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、県総合防災訓練をはじめ、様々な避難訓練や情報伝達訓練に参加している。</p> <p>また、町でも、町民参加の防災意識の向上等、消防団の予防消防を図るために、防災訓練に取り組んでいる。</p> <p>防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムによる情報の収集と町民に対する災害・被害情報の提供に努めている。</p> <p style="margin-left: 20px;">* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実 * 防災訓練の実施</p> <p style="margin-left: 20px;">* 県総合防災訓練への参加 * 防災無線等の更新(デジタル化)、個別受信機の充実</p>										
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>										
<p>○大規模災害が発生した場合であっても迅速かつ確かな災害対応を実現するため、実施した訓練を総括し、災害対応における課題等を把握し、必要な見直しを積み重ねていくことにより、関係機関の連携体制及び災害対応力の強化を推進していく必要がある。</p> <p>防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムを活用した情報収集を行っており、町民に対する災害・被害情報の提供する手段として町防災行政無線の整備充実に努めるとともに、防災通信を高度化するため、デジタル式防災行政無線の導入・拡大を進めることが必要である。</p> <p>緊急時の町内一斉情報配信による災害時の住民へ情報共有を進めるとともに意識の高揚を図る必要がある。</p> <p style="margin-left: 20px;">* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実 * 防災訓練の実施</p> <p style="margin-left: 20px;">* 県総合防災訓練への参加 * 防災無線等の更新(デジタル化)、個別受信機の充実、インターネットを活用した情報通信システムの充実</p> <p>○（仮称）健康福祉センター建設に向け関係者との連携体制を構築する必要がある。</p> <p>災害対策本部としての機能、救援物資等の運送拠点や防災関係機関の活動拠点、広域避難における中継・休息施設などに（仮称）健康福祉センターを利用することにより、円滑な災害対応を実現する。</p> <p>災害に係るネットワークが確立できることから、平常時においても連携体制を強化し、防災拠点化を推進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●（仮称）健康福祉センターの整備及び計画における防災機能併用施設としての位置付けの確立</li> </ul>										
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～							
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>					
					国					
					県					
	「仮称 健康福祉センター」建設事業 役場庁舎耐震改修事業、鏡石町町営住宅等長寿命化計画				鏡石町					
				民間						
<b>指標</b>										
<b>指標名</b>					<b>計画名</b>	(仮称)健康福祉センター整備事業	<b>現状値</b>	(令和元年度) 10	<b>目標値</b>	(令和3年度) 100
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6			
%	目標値	20	40	100						
	実績値	10								
<b>指標名</b>					<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 1	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6			
回	目標値	1	2	2	2	2				
	実績値	1								
<b>指標名</b>					<b>計画名</b>	鏡石町町営住宅等長寿命化計画	<b>現状値</b>	(平成31年度)	<b>目標値</b>	(令和6年度)
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6			
	目標値		境団地手すり設置	境団地A棟外壁改修実施設計	境団地A棟外壁・屋根改修	境団地B棟外壁改修実施設計	境団地B棟外壁・屋根改修			
	実績値									

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳				
強靱化のための施策プログラム		④ 緊急車両等に供給する燃料確保			重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
3-1	行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
○大規模自然災害等の発生時において、緊急車両や施設等で必要となる燃料の供給を確保するため、福島県石油業協同組合と燃料等の供給に関する災害時応援協定の締結を進める必要がある。									
●緊急車両等に供給する燃料の確保									
*緊急燃料供給事業所との協定締結									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
○大規模自然災害等の発生時において、緊急車両や施設等で必要となる燃料の供給を確保するため、福島県石油業協同組合と燃料等の供給に関する災害時応援協定の締結を進める必要がある。									
また、緊急車両等への優先給油を行う給油所との連携に取り組む必要がある。									
今後も引き続き、訓練等を通じて福島県石油業協同組合との連携強化を図るとともに、関係機関・各種団体等との緊密な連携の下、災害時に必要な燃料の確保に向けた取組を推進していく必要がある。									
●緊急車両等に供給する燃料の確保									
*緊急燃料供給事業所との協定締結									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>				
					国				
					県				
					鏡石町				
				民間					
<b>指標</b>									
<b>指標名</b>	非常用燃料供給に関する協定数			<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	（令和元年度） 1	<b>目標値</b>	（令和6年度） 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
件	目標値	0	1	1	1	1	1		
	実績値	0							
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	目標値								
	実績値								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	税務町民課	<b>担当係</b>	町民G	<b>担当名（内線）</b>	佐藤浩一							
強靱化のための施策プログラム	⑤ 総合行政情報システムのクラウド化				重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
3-1	行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○総合行政情報システムは、役場庁舎に設置する自庁舎設置方式により運用している。</p> <p>大規模自然災害等の発生時において、役場庁舎が被災した場合、システムの運用がストップしてしまう可能性がある。</p>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○大規模自然災害等の発生時において、役場庁舎が被災した場合でも、必要な行政機能を維持し、迅速かつ的確な災害対応を行うため、総合行政情報システムの安定的な運用を確保するため、システムサーバを自庁舎設置方式からデータセンターと庁舎を専用回線で結ぶデータセンター設置方式に変更する。</p> <p>※こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョンの動向により方式を検討</p>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～									
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>							
	官民データ活用推進基本計画・自治体情報システム構造改革推進事業				国							
	ふくしま情報化推進計画				県							
	こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョン				鏡石町							
					民間							
<b>指標</b>												
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム		① 災害対策本部機能の強化			重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
4-1	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○大規模災害発生時に町の各機関が自らも被災し、人、物、情報等の資源に制約を受けた場合であっても、優先的に実施すべき業務を的確に行うため、業務継続計画を策定する必要がある。町災害対策本部の設置場所となる役場庁舎及び代替え施設の耐震化や非常用発電機設置を図っていく必要がある。</p> <p>災害に係るネットワークが確立できることから、平常時においても連携体制を強化し、防災拠点化を推進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策本部機能の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 鏡石町業務継続計画の策定 * 役場庁舎の耐震化 * 役場庁舎非常用発電機設置 * 災害時相互応援協定締結</li> <li>*（仮称）健康福祉センターの整備</li> </ul> </li> </ul>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○業務継続体制の充実・強化に取り組んでいくことが必要であり、町災害対策本部の設置場所となる役場庁舎や代替え施設の耐震化や非常用発電機設置により、困難な状況下であっても、対応できる体制づくりが重要である。</p> <p>今後は、通勤手段等に制限を設けた状況下における職員参集訓練の実施や非常時優先業務の見直しなど、業務継続計画の実効性を高める取組を推進していくとともに、災害対応等に必要不可欠な行政機能の確保に向けた取組を促進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対策本部機能の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 鏡石町業務継続計画の策定 * 役場庁舎の改修・耐震化 * 役場庁舎非常用発電機設置 * 災害時相互応援協定締結</li> <li>* 通信設備の強化</li> </ul> </li> <li>○（仮称）健康福祉センター建設に向け関係者との連携体制を構築する必要がある。           <p>災害対策本部としての機能、救援物資等の運送拠点や防災関係機関の活動拠点、広域避難における中継・休息施設などに（仮称）健康福祉センターを利用することにより、円滑な災害対応を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●（仮称）健康福祉センターの整備及び計画における防災機能併用施設としての位置付けの確立</li> </ul> </li> </ul>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>			
					国			
					県			
					鏡石町			
				民間				
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	業務継続計画の策定	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	（令和元年度） 0	<b>目標値</b>	（令和6年度） 1	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	目標値	0	1	1	1	1	1	
	実績値	0						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>	（仮称）健康福祉センター整備事業		<b>現状値</b>	（令和元年度） 10	<b>目標値</b>	（令和3年度） 100
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
%	目標値	20	40	100				
	実績値	10						
<b>指標名</b>	公共施設の非常用電源設置	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	（令和元年度） 0	<b>目標値</b>	（令和6年度） 2	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
箇所	目標値	0	0	1	1	2	2	
	実績値	0						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳				
強靱化のための施策プログラム	② 町民への情報伝達手段の多重化				重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
4-1	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
<p>○災害関連情報の途絶及び伝達の遅れによる被害拡大を防ぐため、災害情報共有システム（Jアラート）の運用によって鏡石町が発表する災害関連情報をNHKデータ放送及びヤフー「天気・災害」ページで閲覧できる体制を構築し、実際の災害発生時において避難所情報等の配信が行われている。</p> <p>また、携帯電話事業者との契約に基づく緊急速報メールの配信やホームページを活用した情報発信り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* Jアラート自動起動、緊急速報メールの整備</li> <li>* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実</li> <li>* 移動系防災無線の整備</li> </ul>									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
<p>○携帯電話事業者との契約に基づく緊急速報メールの配信やホームページ等を活用した情報発信、さらには、福島県では（一社）日本アマチュア無線連盟との災害時応援協定締結等に取り組んでいる。</p> <p>当町においては、福島県との情報連携を進めるとともに、今後も、関係機関及び放送・通信事業者との連携強化を図り、適時の情報発信と情報提供手段の多重化を図り、町民への情報伝達体制の強化を推進する必要がある。</p> <p>防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムを活用した情報収集を行っており、町民に対する災害・被害情報の提供する手段として町防災行政無線の整備充実に努めることが必要である。</p> <p>防災通信の高度化するため、デジタル式防災行政無線の導入・拡大を進めるとともに、停電時の電源確保のため、非常用電源設備の整備促進する。</p> <p>災害発生時、住民に対し迅速かつ確実に情報の発信と共有を図るために、各種通信システムの充実強化を図る必要がある。</p> <p>また、情報発信の手段が多様化する中で、担当職員が複数の情報発信を行うことで負担が集中し、タイムラグやミスの発生が懸念されることから、複数職員による訓練の実施や情報一斉配信システムを導入することにより、迅速かつ確実な情報発信が行える環境を整備する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* Jアラート自動起動、緊急速報メールの整備</li> <li>* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実</li> <li>* インターネット等を活用した情報提供システムの導入</li> <li>* 移動系防災無線の整備</li> <li>* 広報啓発活動の充実・強化</li> <li>* SNSを活用した情報共有の強化</li> <li>* 防災情報の一斉配信システムの導入</li> <li>* 避難所案内標識の設置</li> </ul>									
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
具体的な取組 【事業内容】	事業名			取組主体					
				国					
				県					
				鏡石町					
			民間						
<b>指標</b>									
指標名	防災行政無線戸別受信機配布戸数		計画名	防災施設設備整備事業		現 状 値	(令和元年度) 2,794	目 標 値	(令和6年度) 3,000
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
戸	目標値	2,800	2,850	2,900	2,930	2,960	3,000		
	実績値	2,794							
指標名			計画名			現 状 値	目 標 値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	目標値								
	実績値								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳				
強靱化のための施策プログラム	① 町民への情報伝達手段の多重化				重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
4-2	テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
<p>○災害関連情報の途絶及び伝達の遅れによる被害拡大を防ぐため、災害情報共有システム（Jアラート）の運用によって鏡石町が発表する災害関連情報をNHKデータ放送及びヤフー「天気・災害」ページで閲覧できる体制を構築し、実際の災害発生時において避難所情報等の配信が行われている。</p> <p>また、携帯電話事業者との契約に基づく緊急速報メールの配信やホームページを活用した情報発信り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* Jアラート自動起動、緊急速報メールの整備</li> <li>* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実</li> <li>* 移動系防災無線の整備</li> </ul>									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
<p>○携帯電話事業者との契約に基づく緊急速報メールの配信やホームページ等を活用した情報発信、さらには、福島県では（一社）日本アマチュア無線連盟との災害時応援協定締結等に取り組んでいる。</p> <p>当町においては、福島県との情報連携を進めるとともに、今後も、関係機関及び放送・通信事業者との連携強化を図り、適時の情報発信と情報提供手段の多重化を図り、町民への情報伝達体制の強化を推進する必要がある。</p> <p>防災情報通信網の整備については、緊急事態に備えて防災情報提供システムを活用した情報収集を行っており、町民に対する災害・被害情報の提供する手段として町防災行政無線の整備充実に努めることが必要である。</p> <p>防災通信の高度化するため、デジタル式防災行政無線の導入・拡大を進めるとともに、停電時の電源確保のため、非常用電源設備の整備促進する。</p> <p>災害発生時、住民に対し迅速かつ確実に情報の発信と共有を図るために、各種通信システムの充実強化を図る必要がある。</p> <p>また、情報発信の手段が多様化する中で、担当職員が複数の情報発信を行うことで負担が集中し、タイムラグやミスが発生が懸念されることから、複数職員による訓練の実施や情報一斉配信システムを導入することにより、迅速かつ確実な情報発信が行える環境を整備する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* Jアラート自動起動、緊急速報メールの整備</li> <li>* デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実</li> <li>* インターネット等を活用した情報提供システムの導入</li> <li>* 移動系防災無線の整備</li> <li>* 広報啓発活動の充実・強化</li> <li>* SNSを活用した情報共有の強化</li> <li>* 防災情報の一斉配信システムの導入</li> </ul>									
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
具体的な取組 【事業内容】	事業名			取組主体					
				国					
				県					
				鏡石町					
			民間						
<b>指標</b>									
指標名	防災行政無線戸別受信機配布戸数		計画名	防災施設設備整備事業		現状値	(令和元年度) 2,794	目標値	(令和6年度) 3,000
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
戸	目標値	2,800	2,850	2,900	2,930	2,960	3,000		
	実績値	2,794							
指標名			計画名			現状値		目標値	
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	目標値								
	実績値								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	都市G	<b>担当名（内線）</b>	有馬直希		
強靱化のための施策プログラム		① 地域高規格道路等へのアクセス			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
5-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下、経済活動の停滞						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○災害発生時において、被災地からの避難や被災地への救援救助活動、物資供給等の円滑な輸送を迅速に行うためには、広域交通の分断を回避し、防災拠点間を結ぶ移動の代替性を確保することが重要である。</p> <p>地域間の連携強化に向けた高速交通体系等の整備を進めるため、「都市計画道路の未整備路線」の整備を推進する必要がある。</p> <p>また、併せて緊急輸送道路や避難道路等の整備も計画的に推進する必要がある。</p> <p>●地域高規格道路等の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">* 駅東口都市計画道路整備 * 北原・不時沼線新設工事（国道4号接続）</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○災害発生時において、被災地からの避難や被災地への救援救助活動、物資供給等の円滑な輸送を迅速に行うためには、広域交通の分断を回避し、防災拠点間を結ぶ移動の代替性を確保することが重要であることから、地域間の連携強化に向けた高速交通体系等の整備を進めるため、「都市計画道路の未整備路線」の整備を推進する。</p> <p>●地域高規格道路等の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">* 駅東口都市計画道路整備 * 北原・不時沼線新設工事（国道4号接続）</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
		鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・大内秀人					
強靱化のための施策プログラム	② 緊急輸送道路の防災・減災対策				重点					
<b>リスクシナリオ</b>										
番号	内容									
5-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下、経済活動の停滞									
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>										
<p>○災害応急対策活動の実施に必要な物資、資機材、要員等の広域的な輸送を行うため、緊急輸送道路としての役割を担う幹線道路等において、道路亀裂や法面の危険箇所や豪雨による冠水箇所が発生している。</p> <p>道路防災総点検を実施するとともに、大きな災害が予測される箇所については、優先的に整備を行ってきたが、その他の要対策箇所についても計画的・重点的な対策を進めていく必要がある。</p> <p>また、住宅地における避難経路についても整備を行う必要があり、未整備区間等を含めた計画的な整備を進めていく必要がある。</p> <p>そこで、救急救援活動等に必要な緊急輸送道路や避難路については、国や県と連携を図り整備を推進する必要がある。</p> <p>●緊急輸送道路の防災・減災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 町内幹線道路の整備 * 笠石鏡田線道路改良 * 久来石・行方・蓮池西線道路改良 * 久来石・行方・蓮池西線踏切拡幅</li> <li>* 東町地内公道整備 * 国道4号鏡石拡幅（4車線化整備） * 国道4号矢吹鏡石道路計画（4車線化整備）</li> <li>* 鏡田111号線道路改良 * 笠石476号線道路改良</li> <li>* 笠石482号線道路改良 * 橋梁の長寿命化修繕 * 町内生活道路改良 * 施設点検、予防保全的な修繕・改修</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業（事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円）</li> </ul>										
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>										
<p>○緊急輸送路等の指定となっている消防署と鳥見山公園を結ぶ町道笠石476号線の歩道新設工事を継続して進め、安全かつ円滑な交通を維持する事業に取り組んでおり、町道北町・堀米線、町道笠石・鏡田線では舗装点検結果をもとに、修繕に努める。</p> <p>また、町道全体の道路附属物の点検を行い、健全度判定結果に基づき、修繕に努め、道路パトロールにて、地元との連携を通して計画的な更新を図るとともに維持補修に努める。</p> <p>○久来石・行方・蓮池西線は笠石原町と南町を結ぶ重要な路線であるが狭隘であり、朝夕の通勤通学時間帯には車両の交互通行により歩行者等の安全を確保するのが困難であり視距も悪いため、現道を拡幅工事を実施し、より安全な道路として整備に努める。</p> <p>○鏡田111号線は県道下松本鏡石停車場線と一級町道鏡田仁井田線を結ぶ地区内交通を担う路線であり近隣には学校施設(岡ノ内幼稚園)がある。</p> <p>隣接する町道鏡田426号線に流入する通過交通が増大していることから本路線を整備し、流入する通過交通を迂回させることで、地区内の交通の円滑化を図れるように努める。</p> <p>○東町地内公道整備については現況道路が袋小路になっているため、災害時に緊急車両等の通行が困難になるため団地内の道路を整備に努める。</p> <p>○高齢化橋梁の増大に伴い、道路交通の安全性を確保するうえで、これまでの事後的対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図ることにより、橋梁の長寿命化に対するコストの削減を図って行く。</p> <p>また、5年に1度の法定点検を実施し、健全度判定結果に基づき修繕計画を立て実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 幹線道路網の整備 * 道路の維持補修・定期的な点検 * 通学路の整備・補修 * 排水施設の整備 * 歩道・側溝整備</li> <li>* 舗装道路整備、ポケットパーク整備 * 防火水槽設置・耐震性防火水槽への更新 * 橋梁の耐震化・長寿命化修繕</li> <li>* 都市施設の整備推進</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業（事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円）</li> </ul> <p>●防災・安全交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* (他) 笠石476号線ほか旭町工区【事業期間 平成29年度～令和4年度 総事業費 65.0百万円】</li> <li>* (他) 鏡田89号線鏡沼工区【事業期間 平成31年度～令和2年度 総事業費 25.0百万円】</li> <li>* (他) 笠石482号線外1路線【事業期間 平成31年度～令和4年度 総事業費 70.0百万円】</li> <li>* (1) 成田・玉川線ほか成竜橋ほか【事業期間 平成27年度～ 総事業費 405百万円】</li> <li>* 道路施設点検(橋梁)【事業期間 平成27年度～ 総事業費 25百万円】</li> <li>* (1) 北町・堀米線ほか2号線ほか【事業期間 平成30年度～ 総事業費 251百万円】</li> </ul>										
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>					
	国道4号鏡石拡幅・国道4号矢吹鏡石道路計画（4車線化整備）				国					
	鏡石駅東第1土地区画整理事業、社会資本整備総合交付金事業、防災・安全交付金事業				県					
	公共施設等適正管理推進事業				鏡石町					
				民間						
<b>指標</b>										
<b>指標名</b>	久来石・行方・蓮池西線			<b>計画名</b>	久来石・行方・蓮池西線道路改良工事		<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和6年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
	目標値	40	50	60	70	80	100			
	実績値	40								
<b>指標名</b>	東町地内公道整備			<b>計画名</b>	東町地内道路改良工事		<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和2年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
	目標値	40	100							
	実績値	40								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課・産業課	<b>担当係</b>	事業G・農政G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・常松忠央				
強靱化のための施策プログラム	③ 迂回路となり得る町道・農道・林道の整備				重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
5-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下、経済活動の停滞								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
<p>○町道・農道・林道は、大規模災害の発生時において、基幹交通の寸断に伴う輸送機能の停止や孤立集落の発生を回避するための代替輸送路・迂回路としての役割を期待できることから、引き続き、防災・減災の観点からも必要な農道・林道について計画的に整備していく必要がある。</p> <p>○農作業の利便性向上、農産物流通の効率化、農山村の活性化及び生活環境の向上等を図るため、計画的な農道の整備に取り組んでいる。森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林整備や林道の整備を進めている。</p> <p>広域的な道路交通網の整備推進に向けては、「高久田・一貫線道路改良」「東部環状線接続道路改良」とほ場整備事業との一体的整備を図るよう進めている。</p> <p>●迂回路となり得る町道・農道・林道の整備          ＊既存町道・農道・林道の点検、補修、新規整備 ＊高久田・一貫線道路改良 ＊東部環状線接続道路改良</p>									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
<p>○東部環状線接続道路及び高久田・一貫線道路を整備することにより、広域的な交通ネットワーク網の整備と利用者の利便性、安全性の向上に努めている。また、ほ場整備事業との一体的整備を図ることで町道の迂回路の整備にも繋がる。</p> <p>○農作業の利便性向上、農産物流通の効率化、農山村の活性化及び生活環境の向上等を図るため、計画的な農道の整備を促進する。</p> <p>○森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林整備や林道の整備を推進する。</p> <p>○広域的な道路交通網の整備推進に向けては、「高久田・一貫線道路改良」「東部環状線接続道路改良」と「ほ場整備事業」との一体的整備を推進する。</p> <p>●迂回路となり得る町道・農道・林道の整備          ＊既存町道・農道・林道の点検、補修、新規整備 ＊高久田・一貫線道路改良 ＊東部環状線接続道路改良</p>									
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町舗装維持修繕個別計画			計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成31年度～令和5年度				
具体的な取組【事業内容】	事業名				取組主体				
					国				
					県				
	ほ場整備事業、道路整備事業				鏡石町				
					民間				
<b>指標</b>									
指標名	東部環状線接続道路			計画名	東部環状線接続道路改良工事	現状値	(令和元年度) 20%	目標値	(令和6年度) 100%
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	目標値	20	30	50	60	80	100		
	実績値	20							
指標名	ほ場整備事業			計画名		現状値		目標値	
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	目標値								
	実績値								

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当名(内線)</b>	折笠友基・大内秀人		
強靱化のための施策プログラム	④ 幹線道路、橋梁施設の耐震対策等				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
5-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下、経済活動の停滞						
<p><b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況(課題等の整理)：脆弱性評価】</b></p> <p>○避難対策や物流輸送に必要な防災拠点・役場等を結ぶ緊急輸送路において、内陸直下型地震に対応した橋梁への耐震対策や幹線道路の維持補修整備を計画的に実施している。</p> <p>また、高度経済成長期以降に集中的に整備されて老朽化した橋梁について、予防保全を取り入れた長寿命化対策に取り組んでいる。</p> <p>今後も引き続き、緊急輸送路における橋梁の耐震対策や幹線道路の維持補修・整備によって、緊急輸送ネットワークの強化を図るとともに、長期的な維持管理費用の縮減と安全性の確保に向けた橋梁の長寿命化対策を進めていく必要がある。</p> <p>大規模地震等が発生した場合であっても、緊急輸送路や避難に必要となる道路・歩道等における安全かつ円滑な交通を維持するため、補修整備に取り組んでいる。</p> <p>住宅密集地への防火水槽の設置や耐震性防火水槽への計画的な更新を図るとともに、保守点検による不具合の早期把握・更新対応に努め、今後も引き続き、交通安全対策も含めて適正に維持管理していく必要がある。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○緊急輸送路等の指定となっている消防署と鳥見山公園を結ぶ町道笠石476号線の歩道新設工事を継続して進め、安全かつ円滑な交通を維持する事業に取り組んでおり、町道北町・堀米線、町道笠石・鏡田線では舗装点検結果をもとに、修繕に努めている。</p> <p>また、町道全体の道路附属物の点検を行い、健全度判定結果に基づき、修繕に努め、道路パトロールにて、地元との連携を通して計画的な更新を図るとともに維持補修に努めている。</p> <p>○高齢化橋梁の増大に伴い、道路交通の安全性を確保するうえで、これまでの事後の対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図ることにより、橋梁の長寿命化に対するコストの縮減を図って行く。また、5年に1度の法定点検を実施し、健全度判定結果に基づき修繕計画を立て実施している。</p> <p>* 幹線道路網の整備 * 道路の維持補修・定期的な点検 * 通学路の整備・補修 * 排水施設の整備 * 歩道・側溝整備          * 舗装道路整備、ポケットパーク整備 * 防火水槽設置・耐震性防火水槽への更新 * 橋梁の耐震化・長寿命化修繕          * 都市施設の整備推進          * 鏡石駅東第1土地区画整理事業(事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円)</p> <p>● 防災・安全交付金事業</p> <p>* (他) 笠石476号線ほか旭町工区 【事業期間 平成29年度～令和4年度 総事業費 65.0百万円】          * (他) 鏡田89号線鏡沼工区 【事業期間 平成31年度～令和2年度 総事業費 25.0百万円】          * (他) 笠石482号線外1路線 【事業期間 平成31年度～令和4年度 総事業費 70.0百万円】          * (1) 成田・玉川線ほか成竜橋ほか【事業期間 平成27年度～ 総事業費 405百万円】          * 道路施設点検(橋梁) 【事業期間 平成27年度～ 総事業費 25百万円】          * (1) 北町・堀米線ほか2号線ほか【事業期間 平成30年度～ 総事業費 251百万円】</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	鏡石駅東第1土地区画整理事業、社会資本整備総合交付金事業 防災・安全交付金事業、公共施設等適正管理推進事業		鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	笠石476号線	<b>計画名</b>	笠石476号線歩道新設工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 30%	<b>目標値</b>	(令和5年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	30	50	70	90	100	
	実績値	30					
<b>指標名</b>	久来石・行方・蓮池西線	<b>計画名</b>	久来石・行方・蓮池西線道路改良工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和6年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	40	50	60	70	80	100
	実績値	40					
<b>指標名</b>	東町地内公道整備	<b>計画名</b>	東町地内道路改良工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和2年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	40	100				
	実績値	40					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	都市G	<b>担当名（内線）</b>	有馬直希							
強靱化のための施策プログラム	①	地域高規格道路等へのアクセス			重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
5-2	食料等の安定供給の停滞											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○災害発生時において、被災地からの避難や被災地への救援救助活動、物資供給等の円滑な輸送を迅速に行うためには、広域交通の分断を回避し、防災拠点間を結ぶ移動の代替性を確保することが重要である。</p> <p>地域間の連携強化に向けた高速交通体系等の整備を進めるため、「都市計画道路の未整備路線」の整備を推進する必要がある。</p> <p>また、併せて緊急輸送道路や避難道路等の整備も計画的に推進する必要がある。</p> <p>●地域高規格道路等の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">* 駅東口都市計画道路整備 * 北原・不時沼線新設工事（国道4号接続）</p>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○災害発生時において、被災地からの避難や被災地への救援救助活動、物資供給等の円滑な輸送を迅速に行うためには、広域交通の分断を回避し、防災拠点間を結ぶ移動の代替性を確保することが重要であることから、地域間の連携強化に向けた高速交通体系等の整備を進めるため、「都市計画道路の未整備路線」の整備を推進する。</p> <p>●地域高規格道路等の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">* 駅東口都市計画道路整備 * 北原・不時沼線新設工事（国道4号接続）</p>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度							
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>							
					国							
					県							
					鏡石町							
					民間							
<b>指標</b>												
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
	目標値											
	実績値											
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
	目標値											
	実績値											

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・大内秀人		
強靱化のための施策プログラム	② 緊急輸送道路の防災・減災対策				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
5-2	食料等の安定供給の停滞						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○災害応急対策活動の実施に必要な物資、資機材、要員等の広域的な輸送を行うため、緊急輸送道路としての役割を担う幹線道路等において、道路亀裂や法面の危険箇所や豪雨による冠水箇所が発生している。</p> <p>道路防災総点検を実施するとともに、大きな災害が予測される箇所については、優先的に整備を行ってきたが、その他の要対策箇所についても計画的・重点的な対策を進めていく必要がある。</p> <p>また、住宅地における避難経路についても整備を行う必要があり、未整備区間等を含めた計画的な整備を進めていく必要がある。</p> <p>そこで、救急救援活動等に必要な緊急輸送道路や避難路については、国や県と連携を図り整備を推進する必要がある。</p> <p>●緊急輸送道路の防災・減災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 町内幹線道路の整備 * 笠石鏡田線道路改良 * 久来石・行方・蓮池西線道路改良 * 久来石・行方・蓮池西線踏切拡幅</li> <li>* 東町地内公道整備 * 国道4号鏡石拡幅（4車線化整備） * 国道4号矢吹鏡石道路計画（4車線化整備）</li> <li>* 鏡田111号線道路改良 * 笠石476号線道路改良</li> <li>* 笠石482号線道路改良 * 橋梁の長寿命化修繕 * 町内生活道路改良 * 施設点検、予防保全的な修繕・改修</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業（事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円）</li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○緊急輸送路等の指定となっている消防署と鳥見山公園を結ぶ町道笠石476号線の歩道新設工事を継続して進め、安全かつ円滑な交通を維持する事業に取り組んでおり、町道北町・堀米線、町道笠石・鏡田線では舗装点検結果をもとに、修繕に努める。</p> <p>また、町道全体の道路附属物の点検を行い、健全度判定結果に基づき、修繕に努め、道路パトロールにて、地元との連携を通して計画的な更新を図るとともに維持補修に努める。</p> <p>○久来石・行方・蓮池西線は笠石原町と南町を結ぶ重要な路線であるが狭隘であり、朝夕の通勤通学時間帯には車両の交互通行により歩行者等の安全を確保するのが困難であり視距も悪いため、現道を拡幅工事を実施し、より安全な道路として整備に努める。</p> <p>○鏡田111号線は県道下松本鏡石停車場線と一級町道鏡田仁井田線を結ぶ地区内交通を担う路線であり近隣には学校施設(岡ノ内幼稚園)がある。隣接する町道鏡田426号線に流入する通過交通が増大していることから本路線を整備し、流入する通過交通を迂回させることで、地区内の交通の円滑化を図れるように努める。</p> <p>○東町地内公道整備については現況道路が袋小路になっているため、災害時に緊急車両等の通行が困難になるため団地内の道路を整備に努める。</p> <p>○高齢化橋梁の増大に伴い、道路交通の安全性を確保するうえで、これまでの事後対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図ることにより、橋梁の長寿命化に対するコストの縮減を図って行く。</p> <p>また、5年に1度の法定点検を実施し、健全度判定結果に基づき修繕計画を立て実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 幹線道路網の整備 * 道路の維持補修・定期的な点検 * 通学路の整備・補修 * 排水施設の整備 * 歩道・側溝整備</li> <li>* 舗装道路整備、ポケットパーク整備 * 防火水槽設置・耐震性防火水槽への更新 * 橋梁の耐震化・長寿命化修繕</li> <li>* 都市施設の整備推進</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業</li> </ul> <p>【事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円（うち社会資本整備総合交付金21.0億円）】</p> <p>●防災・安全交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* (他) 笠石476号線ほか旭町工区【事業期間 平成29年度～令和4年度 総事業費 65.0百万円】</li> <li>* (他) 鏡田89号線鏡沼工区【事業期間 平成31年度～令和2年度 総事業費 25.0百万円】</li> <li>* (他) 笠石482号線外1路線【事業期間 平成31年度～令和4年度 総事業費 70.0百万円】</li> <li>* (1) 成田・玉川線ほか成竜橋ほか【事業期間 平成27年度～ 総事業費 405百万円】</li> <li>* 道路施設点検(橋梁)【事業期間 平成27年度～ 総事業費 25百万円】</li> <li>* (1) 北町・堀米線ほか2号線ほか【事業期間 平成30年度～ 総事業費 251百万円】</li> </ul>							
	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画	計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度				
具体的な取組 【事業内容】	事業名		取組主体				
	国道4号鏡石拡幅・国道4号矢吹鏡石道路計画（4車線化整備）		国				
	鏡石駅東第1土地区画整理事業、社会資本整備総合交付金事業、防災・安全交付金、 公共施設等適正管理推進事業		鏡石町				
			民間				
<b>指標</b>							
指標名	久来石・行方・蓮池西線	計画名	久来石・行方・蓮池西線道路改良工事	現状値	(令和元年度) 40%	目標値	(令和6年度) 100%
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	40	50	60	70	80	100
	実績値	40					
指標名	東町地内公道整備	計画名	東町地内道路改良工事	現状値	(令和元年度) 40%	目標値	(令和2年度) 100%
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	40	100				
	実績値	40					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課・産業課	<b>担当係</b>	事業G・農政G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・常松忠夫		
強靱化のための施策プログラム	③ 迂回路となり得る町道・農道・林道の整備				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
5-2	食料等の安定供給の停滞						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○町道・農道・林道は、大規模災害の発生時において、基幹交通の寸断に伴う輸送機能の停止や孤立集落の発生を回避するための代替輸送路・迂回路としての役割を期待できることから、引き続き、防災・減災の観点からも必要な農道・林道について計画的に整備していく必要がある。</p> <p>○農作業の利便性向上、農産物流通の効率化、生活環境の向上等を図るため、計画的な農道の整備に取り組んでいる。 森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林整備や林道の整備を進めている。 広域的な道路交通網の整備推進に向けては、「高久田・一貫線道路改良」「東部環状線接続道路改良」とほ場整備事業との一体的整備を図るよう進めている。</p> <p>●迂回路となり得る町道・農道・林道の整備 * 既存町道・農道・林道の点検、補修、新規整備 * 高久田・一貫線道路改良 * 東部環状線接続道路改良</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○東部環状線接続道路及び高久田・一貫線道路を整備することにより、広域的な交通ネットワーク網の整備と利用者の利便性、安全性の向上に努めている。また、ほ場整備事業との一体的整備を図ることで町道の迂回路の整備にも繋がる。</p> <p>○農作業の利便性向上、農産物流通の効率化、農山村の活性化及び生活環境の向上等を図るため、計画的な農道の整備を促進する。</p> <p>○森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林整備や林道の整備を推進する。</p> <p>○広域的な道路交通網の整備推進に向けては、「高久田・一貫線道路改良」「東部環状線接続道路改良」と「ほ場整備事業」との一体的整備を推進する。</p> <p>●迂回路となり得る町道・農道・林道の整備 * 既存町道・農道・林道の点検、補修、新規整備 * 高久田・一貫線道路改良 * 東部環状線接続道路改良</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町舗装維持修繕個別計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成31年度～令和5年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	ほ場整備事業、道路整備事業		鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	東部環状線接続道路	<b>計画名</b>	東部環状線接続道路改良工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 20%	<b>目標値</b>	(令和6年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	20	30	50	60	80	100
	実績値	20					
<b>指標名</b>	ほ場整備事業	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	まちづくり調整G	<b>担当名（内線）</b>	横田直人						
強靱化のための施策プログラム		④ 空港施設の機能強化			重点						
<b>リスクシナリオ</b>											
番号	内容										
5-2	食料等の安定供給の停滞										
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>											
<p>○福島空港については、東日本大震災の対応を踏まえて広域的防災機能の強化を図る空港として位置付けられている。</p> <p>県では、災害時の緊急支援物資等の航空輸送や災害派遣医療チーム等の受入れを円滑に行う拠点施設となるとともに、隣県の空港が被災によって機能停止した場合、福島空港が代替機能を担うことも視野に入れ、空港機能の確保に取り組んでいる。</p> <p>よって、当町においては、近隣市町村との情報共有など、平時より福島空港の機能向上への取組みや利用促進を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港施設の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 福島空港の利用促進</li> </ul> </li> </ul>											
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>											
<p>○福島空港の利用促進を図るため、福島空港利用促進協議会や福島空港活性化推進協議会の構成市町村として空港利用の促進を積極的に行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港施設の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 福島空港の利用促進</li> </ul> </li> </ul>											
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～							
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>							
				国							
				県							
				鏡石町							
				民間							
<b>指標</b>											
指標名			計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
	目標値										
	実績値										
指標名			計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
	目標値										
	実績値										

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央		
強靱化のための施策プログラム		⑤ 食料生産基盤の整備			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
5-2	食料等の安定供給の停滞						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○食料生産基盤である農地は、雨水を一時的に貯留する働きや下流域への土壌流出を防ぐ働きなどの多面的機能を有しており、耕作放棄による農地の荒廃は、自然災害時の被害拡大のリスクを増加させることから、ほ場の区画整理による食料生産基盤の整備に取り組む必要がある。</p> <p>安定的かつ効率的な営農の推進に向けて、「高久田地区ほ場整備事業」を進めているところであり、引き続き食料生産基盤の整備に取り組む必要がある。</p> <p>食料供給を安定的に行うという重要な役割を担うことが求められており、農地や農業水利施設等の生産基盤の整備を着実に推進する必要がある。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○ほ場の区画整理による食料生産基盤の整備を推進する。</p> <p>安定的かつ効率的な営農の推進に向けて、「高久田地区ほ場整備事業」を進めているところであり、引き続き食料生産基盤の整備を推進する。</p> <p>耕作放棄地・遊休農地対策としては、「かがみいし油田計画」プロジェクトにより「なたね」等の栽培に力をいれており、新しい農作物の栽培の推進・拡大を推進する。</p> <p>農地や農業水利施設等の生産基盤の整備を着実に推進する。</p> <p>●食料生産基盤の整備 * ほ場整備事業の推進（未実施地区の整備）</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	ほ場整備事業、農地再生プロジェクト事業			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	ほ場整備率（水田）	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	（令和元年度） 40.5%	<b>目標値</b>	（令和6年度） 45.0%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
%	目標値	40.5	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0
	実績値	40.5					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央		
強靱化のための施策プログラム		⑥ 農業の体質強化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
5-2	食料等の安定供給の停滞						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○農業は、大変厳しい経営環境の中、担い手不足などの大きな課題を抱えており、災害発生時を含め、国全体の食料の安定供給に将来にわたって貢献をしていくためには、経営安定対策や担い手の育成確保など、本町の農業の持続的な発展につながる取組を進めており、引き続き効果的に推進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業の体質強化（遊休農地・耕作放棄地対策等） <ul style="list-style-type: none"> <li>*新しい農作物栽培の推進・拡大 *油田計画面積拡大（農地再生プロジェクト）</li> <li>*水田事業の支援（水田生産調整） *土壌汚染調査（農作物放射線検査）</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○経営安定対策や担い手の育成確保など、本町の農業の持続的な発展につながる取り組みを効果的に推進する。</p> <p>○地域の特産であるキュウリ、イチゴ、花きの作付推進を図り、園芸農家の所得確保を図る取り組みを推進する。</p> <p>○肥培管理に労力のかからない土地利用型作物の作付を推進し、耕作放棄地の発生を防止し農地と景観の維持を図るとともに新たな産品づくりに寄与する取り組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業の体質強化（遊休農地・耕作放棄地対策等） <ul style="list-style-type: none"> <li>*新しい農作物栽培の推進・拡大 *油田計画面積拡大（農地再生プロジェクト）</li> <li>*水田事業の支援（水田生産調整） *土壌汚染調査（農作物放射線検査）</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
	水田農業の支援事業、農地再生プロジェクト事業、放射線量検査事業	鏡石町					
	民間						
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	耕作放棄地解消面積	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 800a	<b>目標値</b>	(令和3年度) 1000a
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
a	目標値	800	900	1000	/	/	/
	実績値	800					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央
------------	-----	------------	-----	----------------	------

強靱化のための施策プログラム	⑦ 食料品の販路拡大	重点
----------------	------------	----

リスクシナリオ	
番号	内容
5-2	食料等の安定供給の停滞

### 現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】

○災害時において、食料の供給を安定的に行うためには、平時においても販路の開拓、拡大等により、一定の生産量を確保していくことが必要であり、食の高付加価値化などによる農産物販路拡大の取組など、生産、加工、流通が一体となった取組を推進する必要がある。

- 町産農産物の販路拡大
  - \* 食の高付加価値化・販路拡大（6次化推進・販路拡大プロジェクト事業）
  - \* 沖縄県への販路拡大推進活動

### 現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】

○食の高付加価値化などによる農産物販路拡大の取組など、生産、加工、流通が一体となった取組を推進する。

○風評被害により落ち込んだ農産物や加工品の販売・消費拡大を図るための販売促進活動及び農業者等が行う6次化商品開発や販売促進活動を支援する取り組みを推進する。

- 町産農産物の販路拡大
  - \* 食の高付加価値化・販路拡大（6次化推進・販路拡大プロジェクト事業）
  - \* 米づくり部会、商工会、町観光協会等との連携による沖縄県への販路拡大推進活動
  - \* 子ども交流事業等に併せた友好市町村との産業振興の強化

<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度
--------------	---	-------------	---

<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>
		国
		県
	6次化推進・販路拡大プロジェクト事業	鏡石町
		民間

### 指標

指標名		計画名		現状値		目標値	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

指標名		計画名		現状値		目標値	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課・都市建設課	<b>担当係</b>	農政G・事業G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央・折笠友基		
強靱化のための施策プログラム	⑧ 農業水利等施設の適正な保全管理				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
5-2	食料等の安定供給の停滞						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○農業水利施設の多くは、既に標準耐用年数を経過し、老朽化等による機能低下が進んでいる。地域農業を支える農家の減少、高齢化、農業所得の低下といった施設管理体制に弱体化の傾向があり、農業水利施設の維持管理が課題となっている。</p> <p>災害の発生に備え、農業水利施設の多面的機能が十分に発揮されるよう、各施設管理者による適正な施設診断の実施や施設管理体制の強化を進め、防災・減災に配慮したストックマネジメントの推進及び適正な維持管理等の取組により、安全安心な農業基盤づくりを進めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業水利施設の適正な保全管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 農道・用排水路の整備、修繕、改修</li> <li>* 多面的機能支払交付金事業の活用・支援</li> <li>* 農地防災事業（ため池等整備事業（梨池下地区））</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○各施設管理者による適正な施設診断の実施や施設管理体制の強化を進め、防災・減災に配慮したストックマネジメントの推進及び適正な維持管理等の取組により、安全安心な農業基盤づくりを推進する。</p> <p>○多面的機能支払交付金事業の活用により農業施設の修繕改修を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業水利等施設の適正な保全管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 農道・用排水路の整備、修繕、改修（基盤整備事業、農業水利等長寿命化・防災減災事業）</li> <li>* 多面的機能支払交付金事業の活用・支援</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
	農地防災事業（ため池等整備事業（梨池下地区））		県				
	農業生産施設の整備事業、多面的機能支払交付金事業		鏡石町				
			民間				
<b>指標</b>							
指標名		計画名		現状値	目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						
指標名		計画名		現状値	目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳				
強靱化のための施策プログラム		① 緊急車両等に供給する燃料の確保			重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
6-1	電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の停止								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
○大規模自然災害等の発生時において、緊急車両や施設等で必要となる燃料の供給を確保するため、福島県石油業協同組合と燃料等の供給に関する災害時応援協定の締結を進める必要がある。									
●緊急車両等に供給する燃料の確保									
*緊急燃料供給事業所との協定締結									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
○大規模自然災害等の発生時において、緊急車両や施設等で必要となる燃料の供給を確保するため、福島県石油業協同組合と燃料等の供給に関する災害時応援協定の締結を進める必要がある。									
また、緊急車両等への優先給油を行う給油所との連携に取り組む必要がある。									
今後も引き続き、訓練等を通じて福島県石油業協同組合との連携強化を図るとともに、関係機関・各種団体等との緊密な連携の下、災害時に必要な燃料の確保に向けた取組を推進していく必要がある。									
●緊急車両等に供給する燃料の確保									
*緊急燃料供給事業所との協定締結									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>				
					国				
					県				
					鏡石町				
				民間					
<b>指標</b>									
<b>指標名</b>	非常用燃料供給に関する協定数			<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 1	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
件	目標値	0	1	1	1	1	1		
	実績値	0							
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	目標値								
	実績値								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課	<b>担当係</b>	環境G	<b>担当名（内線）</b>	斎藤則行		
強靱化のための施策プログラム		② 再生可能エネルギーの導入拡大			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
6-1	電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○電力需給調整問題の脆弱さへ対応するため、県内の産業集積と地域経済の活性化を図る必要があることから、再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでいくことが重要である。</p> <p>大規模災害発生時においても、生活・経済活動に必要なエネルギーの供給を確保するため、再生可能エネルギーを始めとした自家消費型の電力創出・供給システムの導入を促進し、エネルギー供給源の多様化を図っていく必要がある。</p> <p>町としても、エネルギーの施策に取り組んでおり、引き続き推進を図る。</p> <p>●再生可能エネルギーの導入拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*住宅用太陽光発電設備の推進、補助                     <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅用再生可能エネルギーシステム等導入促進事業の実施</li> <li>太陽光発電システム、HEMS、家庭用蓄電池の導入促進のため補助事業の実施</li> </ul> </li> <li>*公共施設への再生可能エネルギー導入                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システムの導入施設 8施設 (役場庁舎、勤労青少年ホーム、町公民館、ふれあいの森公園管理棟、3区コミセン、駅前トイレ、町立第一小学校、町立第二小学校)</li> <li>*蓄電池システムの導入施設 1施設(勤労青少年ホーム)</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○住宅用再生可能エネルギーシステム等導入促進事業（太陽光発電システム、HEMS、蓄電池）の継続実施及び補助内容の検討及び推進を図る。</p> <p>既存公共施設及び新設公共施設への太陽光発電システム等の再生可能エネルギー設備設置の検討</p> <p>○太陽光発電システム等の老朽化対策も含め、再設置等実施する。</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	住宅用再生可能エネルギーシステム等導入促進事業			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	住宅用太陽光発電システム設置件数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(平成30年度) 累計246件	<b>目標値</b>	(令和3年度) 286件
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
<b>件数</b>	<b>目標値</b>						
	<b>実績値</b>						
<b>指標名</b>	公共施設への再生可能エネルギー導入件数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(平成30年度) 8施設	<b>目標値</b>	(令和3年度) 9施設
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
<b>件数</b>	<b>目標値</b>						
	<b>実績値</b>						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課	<b>担当係</b>	環境G	<b>担当名（内線）</b>	齋藤則行		
強靱化のための施策プログラム	③ 省エネ・省資源対策への取組推進				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
6-1	電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
○エネルギー構成の多様化を推進するため、様々なエネルギー資源の活用について取組推進する必要がある。							
●省エネ・省資源対策への取組推進							
*地球温暖化防止事業							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○エネルギー構成の多様化を推進するため、様々なエネルギー資源の活用について取組推進する必要がある。							
*第2次鏡石町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の見直し、検討							
*鏡石町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定検討							
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略	計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度				
具体的な取組 【事業内容】	事業名				取組主体		
					国		
					県		
	鏡石町地球温暖化防止実行計画（事務事業編）				鏡石町		
					民間		
<b>指標</b>							
指標名	二酸化炭素の削減量	計画名	鏡石町地球温暖化防止実行計画	現状値	（平成30年度） 未調査	目標値	
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値	-	-	-	-	-	-
指標名		計画名		現状値		目標値	
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	上水道G	<b>担当名（内線）</b>	藤田欽一		
<b>強靱化のための施策プログラム</b>		① 上水道施設の防災・減災			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
6-2	上下水道等の長期間にわたる機能停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模自然災害が発生した場合であっても、水道による給水機能を確保するため、基幹管路や配水池、浄水場などの水道施設の耐震化・老朽化対策事業への取組みにより、水道の基盤強化と適正管理の確保に取り組んでいる。</p> <p>水道事業者が将来的な水需要等を考慮して水道施設の耐震化や更新、適切な維持管理を計画的に推進していくための支援の要望活動を進めている。</p> <p>災害時の初動対応や自治体間の相互応援協力など水道事業継続のための体制整備を促進する必要がある。</p> <p>安定的な飲料水の供給が図れるよう、既存の各浄水場（桜岡・成田・旭町）の施設整備や耐震化に努めている。なかでも、旭町浄水場は築50年以上が経過しているため、新たに「鏡石浄水場」の建設整備が進行中であり、緊急時の給水施設の整備も計画している。</p> <p>また、本町の上水道は、すべて地下水に依存しており、水量確保を含め浚渫工事を実施している。上水道管路においては、石綿セメント管の耐震化を考慮した更新事業を進めており、「有収率」の向上を図っている。</p> <p>全体的には、水道事業のアセットマネジメント計画を策定し、計画的な更新を進める必要がある。</p> <p>●上水道施設の防災・減災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 鏡石浄水場の建設 * 桜岡浄水場の耐震化 * 上水道管路耐震化（石綿管更新等） * 水源地の整備（水量確保）</li> <li>* 水道事業アセットマネジメント計画策定 * 成田浄水場の浸水対策・移転計画整備 * 予備水源の確保</li> </ul>							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○耐震化対策が未整備の浄水場施設について、今後の水需要の考慮しながら効率的に耐震化を図る。</p> <p>耐震性のない石綿セメント管布設区間について、計画的に耐震管への更新を図る。</p> <p>水源井について、適切な管理整備により長寿命化を図る。また、井戸の濁水に備えた予備水源の整備を検討する。</p> <p>浸水想定区域内に位置する成田浄水場について、浸水対策や移転計画を含め災害時の水道水の安定供給を測れるよう検討する。</p> <p>水道事業の安定的運営のため所有施設のアセットマネジメント計画を策定し効率的な事業運営を図る。</p> <p>●上水道施設の防災・減災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 鏡石浄水場の建設 * 桜岡浄水場の耐震化 * 上水道管路耐震化（石綿管更新等） * 水源地の整備（水量確保）</li> <li>* 水道事業アセットマネジメント計画策定 * 成田浄水場の浸水対策・移転計画整備 * 予備水源の確保</li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町新水道ビジョン	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成30年度～令和9年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	鏡石浄水場の建設、桜岡浄水場の耐震化、水道事業アセットマネジメント計画策定 上水道管路耐震化（石綿管更新等）、水源地の整備（水量確保） 成田浄水場の浸水対策・移転計画整備、予備水源の確保		鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	整備率	<b>計画名</b>	第5次拡張事業 鏡石浄水場建設工事	<b>現状値</b>	（令和元年度） 5%	<b>目標値</b>	（令和3年度） 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値	17%	51%	92%	100%		
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	下水道G	<b>担当名（内線）</b>	保田広隆
強靱化のための施策プログラム	② 下水道業務計継続計画（BCP）の策定・推進				重点
<b>リスクシナリオ</b>					
番号	内容				
6-2	上下水道等の長期間にわたる機能停止				
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>					
<p>○東日本大震災と同程度の大地震を想定し、下水道施設が被災した場合であっても、速やかにかつ高いレベルで下水道が果たすべき機能を維持・回復することを目的として、事前対策や非常時対応等について定めた「鏡石町下水道業務継続計画（BCP）」を策定し、情報伝達訓練等を実施している。</p> <p>災害発生時の対応手順の定着と確実な実行のため、今後も下水道BCPに基づく訓練の実施や計画見直しによる対応従事者のレベルアップを図っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●下水道業務継続計画（BCP）の策定・推進</li> </ul>					
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>					
○今後も下水道BCPに基づく訓練の実施や計画見直しによる対応従事者のレベルアップを図っていく。					
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 下水道業務継続計画（BCP）の策定・推進	計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成26年度策定・平成27年度改定		
具体的な取組 【事業内容】	事業名	取組主体			
		国			
		県			
		鏡石町			
		民間			
<b>指標</b>					
指標名		計画名		現状値	目標値
単位	年度	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				
単位	年度	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	下水道G	<b>担当名（内線）</b>	保田広隆		
強靱化のための施策プログラム		③ 下水道施設の維持管理			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
6-2	上下水道等の長期間にわたる機能停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模自然災害等によって下水道施設の機能が損なわれた場合、疫病や感染症等がまん延するリスクがあることから、下水道施設の適切な維持管理が求められる。</p> <p>町では、限られた人員、予算の中で効果的に施設管理を行うための管理区分の設定、点検・調査頻度、改築判断基準等を定めた「鏡石町県中流域下水道ストックマネジメント計画」を平成28年12月に策定しており、下水道施設を一体的に捉えた長寿命化対策及びライフサイクルコストの低減を推進するため、定期的な計画見直しによる精度向上を図り、下水道施設の持続的な機能確保に取り組んでいく必要がある。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○下水道長寿命化計画を適宜見直し、下水道施設の持続的な機能確保に取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●下水道施設の維持管理           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 下水道事業アセットマネジメント計画策定</li> <li>* 長寿命化対策 * 改築更新</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 公共下水道事業ストックマネジメント計画 下水道事業計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成28年度～ 昭和54年度～令和6年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	公共下水道事業 改築工事 社会資本整備総合交付金事業		鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	鏡石町下水道ストックマネジメント	<b>計画名</b>	ふくしまの美しい水環境整備の推進	<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値	12000千円	8,000千円	10,000千円			
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	下水道G	<b>担当名（内線）</b>	保田広隆		
強靱化のための施策プログラム		④ 合併処理浄化槽設置への転換促進			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
6-2	上下水道等の長期間にわたる機能停止						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
○し尿のみを処理する単独処理浄化槽について、平成12年の浄化槽法改正により新設が原則禁止されたが、依然として多くの単独処理浄化槽が残存し、老朽化が進んでいる。							
生活環境の改善や公共用水域の水質保全、感染症のまん延予防を図り、浄化槽の災害耐性を強化するためには、福島県浄化槽整備事業費補助金による補助事業を活用し、老朽化した単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進している。							
●合併処理浄化槽設置への転換促進							
*合併処理浄化槽設置整備の推進							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○今後も福島県浄化槽整備事業費補助金による補助事業を活用し、老朽化した単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進していく。							
●合併処理浄化槽設置への転換促進							
*合併処理浄化槽設置整備の推進							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	浄化槽整備事業、循環型社会形成推進交付金			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	浄化槽整備事業	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値	925千円	925千円	925千円	925千円	925千円	
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	下水道G	<b>担当名（内線）</b>	保田広隆							
<b>強靱化のための施策プログラム</b>		⑤ 農業集落排水施設の整備等			重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
6-2	上下水道等の長期間にわたる機能停止											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○東日本大震災により農業集落排水施設等の生活環境や生産基盤等に被害が発生しており、生活環境の改善、農業用排水の水質保全・機能維持を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落排水処理施設の整備及び老朽化した施設の改築・更新が求められている。</p> <p>施設の長寿命化を計画的に進めるため、町では施設の機能診断調査に基づく最適整備構想を策定し、施設の更新等を進めているが、平成30年代前半にかけて更新時期を迎える施設が多数あること、また、人口減少に伴う処理施設の統合等の検討を要する事例が想定されることから、適時適切な事業実施に向けて技術的支援を受ける必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業集落排水施設の整備等             <ul style="list-style-type: none"> <li>*農業集落排水施設機能診断</li> <li>*管路及び機械設備更新</li> </ul> </li> </ul>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○現在最適整備構想を策定中であり、策定後は整備構想をもとに、適切な施設更新等を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業集落排水施設の整備等             <ul style="list-style-type: none"> <li>*農業集落排水施設機能診断</li> <li>*管路及び機械設備更新</li> </ul> </li> </ul>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 最適整備構想			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度  平成25年度～ 策定中							
<b>具体的な取組 【事業内容】</b>	事業名				取組主体							
					国							
					県							
	農山漁村地域整備交付金				鏡石町							
				民間								
<b>指標</b>												
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・大内秀人		
強靱化のための施策プログラム		① 地域高規格道路等へのアクセス			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
6-3	地域交通ネットワークが分断する事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○災害発生時において、被災地からの避難や被災地への救援救助活動、物資供給等の円滑な輸送を迅速に行うためには、広域交通の分断を回避し、防災拠点間を結ぶ移動の代替性を確保することが重要である。</p> <p>地域間の連携強化に向けた高速交通体系等の整備を進めるため、「都市計画道路の未整備路線」の整備を推進する必要がある。</p> <p>また、併せて緊急輸送道路や避難道路等の整備も計画的に推進する必要がある。</p> <p>●地域高規格道路等の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">* 駅東口都市計画道路整備 * 北原・不時沼線新設工事（国道4号接続）</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○災害発生時において、被災地からの避難や被災地への救援救助活動、物資供給等の円滑な輸送を迅速に行うためには、広域交通の分断を回避し、防災拠点間を結ぶ移動の代替性を確保することが重要であることから、地域間の連携強化に向けた高速交通体系等の整備を進めるため、「都市計画道路の未整備路線」の整備を推進する。</p> <p>●地域高規格道路等の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">* 駅東口都市計画道路整備 * 北原・不時沼線新設工事（国道4号接続）</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域総合計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
		鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当者(内線)</b>	折笠友基・大内秀人				
強靱化のための施策プログラム	② 緊急輸送道路の防災・減災対策				重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
6-3	地域交通ネットワークが分断する事態								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況(課題等の整理)：脆弱性評価】</b>									
<p>○災害応急対策活動の実施に必要な物資、資機材、要員等の広域的な輸送を行うため、緊急輸送道路としての役割を担う幹線道路等において、道路亀裂や法面の危険箇所や豪雨による冠水箇所が発生している。</p> <p>道路防災総点検を実施するとともに、大きな災害が予測される箇所については、優先的に整備を行ってきたが、その他の要対策箇所についても計画的・重点的な対策を進めていく必要がある。</p> <p>また、住宅地における避難経路についても整備を行う必要があり、未整備区間等を含めた計画的な整備を進めていく必要がある。</p> <p>そこで、救急救済活動等に必要な緊急輸送道路や避難路については、国や県と連携を図り整備を推進する必要がある。</p> <p>●緊急輸送道路の防災・減災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 町内幹線道路の整備 * 笠石鏡田線道路改良 * 久来石・行方・蓮池西線道路改良 * 久来石・行方・蓮池西線踏切拡幅</li> <li>* 東町地内公道整備 * 国道4号鏡石拡幅(4車線化整備) * 国道4号矢吹鏡石道路計画(4車線化整備)</li> <li>* 鏡田111号線道路改良 * 笠石476号線道路改良</li> <li>* 笠石482号線道路改良 * 橋梁の長寿命化修繕 * 町内生活道路改良 * 施設点検、予防保全的な修繕・改修</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業(事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円)</li> </ul>									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
<p>○緊急輸送路等の指定となっている消防署と鳥見山公園を結ぶ町道笠石476号線の歩道新設工事を継続して進め、安全かつ円滑な交通を維持する事業に取り組んでおり、町道北町・堀米線、町道笠石・鏡田線では舗装点検結果をもとに、修繕に努めている。また、町道全体の道路附属物の点検を行い、健全度判定結果に基づき、修繕に努め、道路パトロールにて、地元との連携を通して計画的な更新を図るとともに維持補修に努めている。</p> <p>○久来石・行方・蓮池西線は笠石原町と南町を結ぶ重要な路線であるが狭隘であり、朝夕の通勤通学時間帯には車両の交互通行により歩行者等の安全を確保するのが困難であり視距も悪いため、現道を拡幅工事を実施し、より安全な道路として整備に努めている。</p> <p>○鏡田111号線は県道下松本鏡石停車場線と一級町道鏡田仁井田線を結ぶ地区内交通を担う路線であり近隣には学校施設(岡ノ内幼稚園)がある。隣接する町道鏡田426号線に流入する通過交通が増大していることから本路線を整備し、流入する通過交通を迂回させることで、地区内の交通の円滑化を図れるように努めている。</p> <p>○東町地内公道整備については現況道路が袋小路になっているため、災害時に緊急車両等の通行が困難になるため団地の道路を整備に努める。</p> <p>○高齢化橋梁の増大に伴い、道路交通の安全性を確保するうえで、これまでの事後的対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図ることにより、橋梁の長寿命化に対するコストの縮減を図って行く。また、5年に1度の法定点検を実施し、健全度判定結果に基づき修繕計画を立て実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 幹線道路網の整備 * 道路の維持補修・定期的な点検 * 通学路の整備・補修 * 排水施設の整備 * 歩道・側溝整備</li> <li>* 舗装道路整備、ポケットパーク整備 * 防火水槽設置・耐震性防火水槽への更新 * 橋梁の耐震化・長寿命化修繕</li> <li>* 都市施設の整備推進</li> <li>* 鏡石駅東第1土地区画整理事業</li> </ul> <p>【事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円(うち社会資本整備総合交付金21.0億円)】</p> <p>●防災・安全交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* (他) 笠石476号線ほか旭町工区 【事業期間 平成29年度～令和4年度 総事業費 65.0百万円】</li> <li>* (他) 鏡田89号線鏡沼工区 【事業期間 平成31年度～令和2年度 総事業費 25.0百万円】</li> <li>* (他) 笠石482号線外1路線 【事業期間 平成31年度～令和4年度 総事業費 70.0百万円】</li> <li>* (1) 成田・玉川線ほか成竜橋ほか 【事業期間 平成27年度～ 総事業費 405百万円】</li> <li>* 道路施設点検(橋梁) 【事業期間 平成27年度～ 総事業費 25百万円】</li> <li>* (1) 北町・堀米線ほか2号線ほか 【事業期間 平成30年度～ 総事業費 251百万円】</li> </ul>									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域総合計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>				
	国道4号鏡石拡幅・国道4号矢吹鏡石道路計画(4車線化整備)				国				
					県				
	鏡石駅東第1土地区画整理事業、社会資本整備総合交付金事業、防災・安全交付金、 公共施設等適正管理推進事業				鏡石町				
				民間					
<b>指標</b>									
<b>指標名</b>	久来石・行方・蓮池西線			<b>計画名</b>	久来石・行方・蓮池西線道路改良工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和6年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	目標値	40	50	60	70	80	100		
	実績値	40							
<b>指標名</b>	東町地内公道整備			<b>計画名</b>	東町地内道路改良工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b>	(令和2年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	目標値	40	100						
	実績値	40							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課・産業課	<b>担当係</b>	事業G・都市G・農政G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・大内秀人・常松忠央		
強靱化のための施策プログラム	③ 迂回路となり得る町道・農道・林道の整備				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
6-3	地域交通ネットワークが分断する事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○町道・農道・林道は、大規模災害の発生時において、基幹交通の寸断に伴う輸送機能の停止や孤立集落の発生を回避するための代替輸送路・迂回路としての役割を期待できることから、引き続き、防災・減災の観点からも必要な農道・林道について計画的に整備していく必要がある。</p> <p>○農作業の利便性向上、農産物流通の効率化、生活環境の向上等を図るため、計画的な農道の整備に取り組んでいる。</p> <p>森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林整備や林道の整備を進めている。</p> <p>広域的な道路交通網の整備推進に向けては、「高久田・一貫線道路改良」「東部環状線接続道路改良」とほ場整備事業との一体的整備を図るよう進めている。</p> <p>●迂回路となり得る町道・農道・林道の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">* 既存町道・農道・林道の点検、補修、新規整備 * 高久田・一貫線道路改良 * 東部環状線接続道路改良</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○東部環状線接続道路及び高久田・一貫線道路を整備することにより、広域的な交通ネットワーク網の整備と利用者の利便性、安全性の向上に努めている。また、ほ場整備事業との一体的整備を図ることで町道の迂回路の整備にも繋がる。</p> <p>○農作業の利便性向上、農産物流通の効率化、農山村の活性化及び生活環境の向上等を図るため、計画的な農道の整備を促進する。</p> <p>○森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林整備や林道の整備を推進する。</p> <p>○広域的な道路交通網の整備推進に向けては、「高久田・一貫線道路改良」「東部環状線接続道路改良」と「ほ場整備事業」との一体的整備を推進する。</p> <p>●迂回路となり得る町道・農道・林道の整備</p> <p style="margin-left: 20px;">* 既存町道・農道・林道の点検、補修、新規整備 * 高久田・一貫線道路改良 * 東部環状線接続道路改良</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町舗装維持修繕個別計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成31年度～令和5年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
	ほ場整備事業、道路整備事業	鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	東部環状線接続道路	<b>計画名</b>	東部環状線接続道路改良工事	<b>現状値</b>	(令和元年度) 20%	<b>目標値</b>	(令和6年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	20	30	50	60	80	100
	実績値	20					
<b>指標名</b>	ほ場整備事業	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当名(内線)</b>	折笠友基・大内秀人	
<b>強靱化のための施策プログラム</b>		④ 幹線道路・橋梁施設の耐震対策等			<b>重点</b>	
<b>リスクシナリオ</b>						
<b>番号</b>	<b>内容</b>					
6-3	地域交通ネットワークが分断する事態					
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況(課題等の整理)：脆弱性評価】</b>						
<p>○避難対策や物流輸送に必要な防災拠点・役場等を結ぶ緊急輸送路において、内陸直下型地震に対応した橋梁への耐震対策や幹線道路の維持補修整備を計画的に実施している。</p> <p>また、高度経済成長期以降に集中的に整備されて老朽化した橋梁について、予防保全を取り入れた長寿命化対策に取り組んでいる。</p> <p>今後も引き続き、緊急輸送路における橋梁の耐震対策や幹線道路の維持補修・整備によって、緊急輸送ネットワークの強化を図るとともに、長期的な維持管理費用の縮減と安全性の確保に向けた橋梁の長寿命化対策を進めていく必要がある。</p> <p>大規模地震等が発生した場合であっても、緊急輸送路や避難に必要となる道路・歩道等における安全かつ円滑な交通を維持するため、補修整備に取り組んでいる。</p> <p>住宅密集地への防火水槽の設置や耐震性防火水槽への計画的な更新を図るとともに、保守点検による不具合の早期把握・更新対応に努め、今後も引き続き、交通安全対策も含めて適正に維持管理していく必要がある。</p>						
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>						
<p>○緊急輸送路等の指定となっている消防署と鳥見山公園を結ぶ町道笠石476号線の歩道新設工事を継続して進め、安全かつ円滑な交通を維持する事業に取り組んでおり、町道北町・堀米線、町道笠石・鏡田線では舗装点検結果をもとに、修繕に努めている。</p> <p>また、町道全体の道路附属物の点検を行い、健全度判定結果に基づき、修繕に努め、道路パトロールにて、地元との連携を通して計画的な更新を図るとともに維持補修に努めている。</p> <p>○高齢化橋梁の増大に伴い、道路交通の安全性を確保するうえで、これまでの事後的対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図ることにより、橋梁の長寿命化に対するコストの縮減を図って行く。また、5年に1度の法定点検を実施し、健全度判定結果に基づき修繕計画を立て実施している。</p> <p>＊幹線道路網の整備 ＊道路の維持補修・定期的な点検 ＊通学路の整備・補修 ＊排水施設の整備 ＊歩道・側溝整備          ＊舗装道路整備、ポケットパーク整備 ＊防火水槽設置・耐震性防火水槽への更新 ＊橋梁の耐震化・長寿命化修繕          ＊都市施設の整備推進          ＊鏡石駅東第1土地区画整理事業          【事業期間 平成12年8月～令和16年3月、総事業費 42.7億円(うち社会資本整備総合交付金21.0億円)】</p> <p>●防災・安全交付金事業</p> <p>＊(他)笠石476号線ほか旭町工区【事業期間 平成29年度～令和4年度 総事業費 65.0百万円】          ＊(他)鏡田89号線鏡沼工区【事業期間 平成31年度～令和2年度 総事業費 25.0百万円】          ＊(他)笠石482号線外1路線【事業期間 平成31年度～令和4年度 総事業費 70.0百万円】          ＊(1)成田・玉川線ほか成竜橋ほか【事業期間 平成27年度～ 総事業費 405百万円】          ＊道路施設点検(橋梁)【事業期間 平成27年度～ 総事業費 25百万円】          ＊(1)北町・堀米線ほか2号線ほか【事業期間 平成30年度～ 総事業費 251百万円】</p>						
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 都市計画マスタープラン 鏡石町舗装維持修繕個別計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成25年度～令和13年度 平成31年度～令和5年度	
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>	
					国	
					県	
	鏡石駅東第1土地区画整理事業、社会資本整備総合交付金事業 防災・安全交付金、公共施設等適正管理推進事業				鏡石町	
				民間		
<b>指標</b>						
<b>指標名</b>	笠石476号線			<b>計画名</b>	笠石476号線歩道新設工事	
<b>現状値</b>				<b>現状値</b>	(令和元年度) 30%	<b>目標値</b> (令和5年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5
	目標値	30	50	70	90	100
	実績値	30				
<b>指標名</b>	久来石・行方・蓮池西線			<b>計画名</b>	久来石・行方・蓮池西線道路改良工事	
<b>現状値</b>				<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b> (令和6年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5
	目標値	40	50	60	70	80
	実績値	40				
<b>指標名</b>	東町地内公道整備			<b>計画名</b>	東町地内道路改良工事	
<b>現状値</b>				<b>現状値</b>	(令和元年度) 40%	<b>目標値</b> (令和2年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5
	目標値	40	100			
	実績値	40				

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G・都市G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・大内秀人
強靱化のための施策プログラム		⑤ 道路の除雪体制等の確保			重点
<b>リスクシナリオ</b>					
番号	内容				
6-3	地域交通ネットワークが分断する事態				
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>					
<p>○平成26年2月の豪雪災害を契機として、除雪体制の強化を進めてきた。  適時適切な道路除雪や凍結抑制剤の散布等に取り組んでいる。暴風雪や豪雪の異常気象発生時においても安全で円滑な道路環境を整備するため、建設業協同組合と連携しながら、除雪体制等の充実・確保に引き続き取り組んでいく必要がある。</p> <p>○道路の除雪体制等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 建設業協同組合との情報共有</li> <li>* 幹線道路の除雪 * 国道・県道管理者との連携・除雪体制強化 * 道路除雪計画策定 * 通学・通勤路歩道の除雪</li> </ul>					
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>					
<p>○毎年度策定している道路除雪計画に基づき、建設業協同組合や豪雪（緊急）の際は県中地方冬期道路交通円滑化協議会と連携を強化し、除雪体制の確立をより一層強化なものとし、冬期間における道路の除雪作業及び凍結防止作業を迅速かつ適切に行うこととし、道路交通の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 道路除雪計画策定による除雪体制の確保</li> <li>* 建設業協同組合との情報共有</li> <li>* 幹線道路の除雪</li> <li>* 通学・通勤路歩道の除雪 * 国道・県道管理者との連携強化</li> </ul>					
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町道路除雪計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 単年度計画		
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>			
		国			
		県			
	除雪作業業務委託	鏡石町 民間			
<b>指標</b>					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課、総務課	<b>担当係</b>	事業G・都市G・総務G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・大内秀人・渡辺光徳
強靱化のための施策プログラム		⑥ 河川管理施設の整備等			重点
<b>リスクシナリオ</b>					
番号	内容				
6-3	地域交通ネットワークが分断する事態				
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>					
<p>○台風や集中豪雨などの治水対策として、河川改修等を実施するとともに、大規模自然災害が発生したとしても迅速かつ的確な初動対応を実現できるよう河川管理等施設等の適正管理に取り組んでいる。</p> <p>水門・樋門等の河川管理施設については、県管理施設であり、耐用年数を超過する施設となっていることから、長寿命化計画に基づく計画的な補修・更新を行い、河川管理施設の正常な状態を常時確保する必要がある。</p> <p>なお、阿武隈川等の水門・樋門管理については、地元成田地区に業務委託しており、適正な管理に努めている。</p> <p>しかしながら、台風や集中豪雨においては、現地での目視確認による作業であり、河川氾濫を想定すると大変危険が伴うことから、簡易型水位計やライブカメラの設置を望む。</p> <p style="text-align: center;">* 阿武隈川・鈴川の改修整備 * 簡易型水位計の設置、ライブカメラの設置 * 国への管理移管</p>					
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>					
<p>○令和元年台風19号による阿武隈川等の堤防決壊による水害を踏まえた防災・減災対策として、関係機関が連携してハード整備・ソフト対策が連携した総合的な取組を行うことにより、浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化を目指す。</p> <p>取組みを行う中で、河川改修整備、簡易水位計の設置、ライブカメラの設置について国・県に強く要望していく。</p> <p>○湛水対策として阿武隈川の水門・樋門管理については、継続して地元成田地区・河川管理者との連携を図り、維持管理に努めていく。</p> <p>令和元年台風19号による阿武隈川等の堤防決壊による水害を踏まえた湛水被害対策として、国、県、地元地区と連携した取組を行い、湛水被害の軽減、社会経済被害の最小化を目標としていく。</p> <p>取組みを行う中で、河川改修整備、簡易水位計の設置、ライブカメラの設置等について国・県に管理要望していく。</p> <p style="text-align: center;">* 阿武隈川・鈴川の改修整備 * 簡易型水位計の設置、ライブカメラの設置 * 国への管理移管 * 高台移転</p>					
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 阿武隈川水系河川整備計画 郡山圏域河川整備計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成19年3月～30年間 平成18年4月～30年間		
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>			
	防災・減災国土強靱化のための3カ年緊急対策、阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト		国		
	福島県豪雨対策緊急河川整備事業、阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト		県		
	阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト		鏡石町		
		民間			
<b>指標</b>					
指標名		計画名		現状値	目標値
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				
指標名		計画名		現状値	目標値
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	まちづくり調整G	<b>担当名（内線）</b>	大木寿実							
強靱化のための施策プログラム		⑦ 鉄道施設の復旧・基盤強化			重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
6-3	地域交通ネットワークが分断する事態											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○大規模災害発生時における鉄道利用者の安全性の確保及び救援物資等の大量輸送に必要な鉄道機能を維持するため、鉄道事業者による駅舎や高架など鉄道施設の耐災害性の確保が必要である。</p> <p>J R 路線についても基盤強化に向け、鉄道事業者と連携を図りながら継続して取り組むとともに、東西自由通路や構造物等の耐震性の強化や安全性向上に資する設備の整備等に対して、国との緊密な連携の下、必要な支援に取り組んでいく必要がある。</p> <p>東西自由通路の維持管理に努めているが、施設の老朽が進行していることから、更新整備等の計画を進めることが重要である。</p> <p>●鉄道施設の復旧・基盤強化</p> <p style="margin-left: 20px;">* J R 鏡石駅・東西自由通路整備、改修</p>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○大規模災害発生時における鉄道利用者の安全性の確保及び救援物資等の大量輸送に必要な鉄道機能を維持するため、鉄道事業者による駅舎や高架など鉄道施設の耐災害性の確保が必要である。</p> <p>東西自由通路等施設の老朽化が進行しており、利用者の安全確保に向けて、耐震性強化や機能拡充など駅東口の駅前広場との一体的整備を図る必要があることから、将来的な利便性向上や災害時の防災機能の強化を図っていく。</p> <p>●鉄道施設の基盤強化</p> <p style="margin-left: 20px;">* J R 鏡石駅・東西自由通路の耐震性強化・機能拡充 * 東西自由通路の再整備 * 駅東口整備事業</p>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～							
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>							
					国							
					県							
					鏡石町							
				民間								
<b>指標</b>												
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
	目標値											
	実績値											
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課・福祉こども課	<b>担当係</b>	事業G・都市G・福祉G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基・大内秀人・矢部憲宗					
強靱化のための施策プログラム					⑧ 地域公共交通の確保	重点				
<b>リスクシナリオ</b>										
番号	内容									
6-3	地域交通ネットワークが分断する事態									
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>										
<p>○地域住民の通勤、通学、通院、買い物など、日常生活に必要な生活交通を維持・確保するため、公共交通機関の利用促進・経営安定化支援を行っている。</p> <p>町内周遊バス・デマンド運行の実施（高齢者、障がい者等で交通手段が困難な方に自宅で乗降できる無料の「ゆうあいバス」を社会福祉協議会が行っている。町は金銭的な支援を行っている）、さらには、スマートICの活用など地域住民や通勤等の利用拡大に向けては、24時間化への促進が必要不可欠である。</p> <p>鉄道・バス等の地域公共交通は、災害時の救援に係る物資等輸送や住民避難の輸送手段として重要であるとともに、地域住民の生活を支え、地域コミュニティを維持するために必要な生活基盤であることから、引き続き、地域公共交通の維持・確保のための取組を推進していく必要がある。</p> <p>JR鏡石駅にある東西自由通路の利用者への安心安全の確保のため、耐震化及び改修を進める必要があることから、関係機関と事業推進に向けた取組強化が必要である。さらには、福島空港による利用促進も併せて進める必要がある。</p>										
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>										
<p>鉄道・バス等の地域公共交通は、災害時の救援に係る物資等輸送や住民避難の輸送手段として重要であるとともに、地域住民の生活を支え、障がい者や高齢者の福祉施設・病院等への移動、サービスを受けるためにも必要である。</p> <p>「ゆうあいバス」の更なる利便性の向上と利用者拡大のために運営方法等を検討する必要がある。</p> <p>町内周遊バス・デマンド運行の実施についても検討が必要である。</p> <p>●地域公共交通の確保</p> <p style="margin-left: 20px;">*スマートICの利用車両拡大・周辺道路整備 *スマートICの24時間化への促進 *町内周遊バス・デマンド運行利用</p> <p style="margin-left: 20px;">*鉄道運行の利便性向上（JR鏡石駅・東西自由通路整備）*バス運行の利便性向上（路線バス運行維持対策） *福島空港の活用促進</p> <p style="margin-left: 20px;">*JR鏡石駅を中心としたコンパクトなまちづくりの促進</p>										
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～							
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>					
					国					
					県					
					鏡石町					
				民間						
<b>指標</b>										
指標名					計画名	地域公共交通等調査事業	現状値	(令和元年度) 0	目標値	(令和3年度) 100
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
%	目標値	10	50	100						
	実績値	10								
指標名					計画名		現状値		目標値	
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
	目標値									
	実績値									

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	上水道G	<b>担当名（内線）</b>	藤田 欽一										
強靱化のための施策プログラム		① 渇水時における情報共有体制の確保			重点										
<b>リスクシナリオ</b>															
番号	内容														
6-4	異常渇水等により用水の供給の途絶														
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>															
<p>○当町の水道水は地下水であるが、異常気象等における影響が生じる場合には、渇水状況を把握し、適切な渇水対策の推進を図る。</p> <p>福島県では「渇水対策連絡会議設置要綱」を策定し、気象・水源情報や利水状況等のデータ収集、渇水情報部会の開催、渇水対策連絡会議の招集など、渇水の段階に応じた関係者による情報共有及び節水の呼びかけ等の広報を行う体制を整えている。</p> <p>いざ渇水が発生したとしても迅速かつ的確な初動対応を実現できるよう、日頃から渇水に関する基礎的情報の収集と渇水対策関係者による情報共有体制の強化に向けて取り組んでいく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 渇水時における情報共有体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 関係機関等との連絡調整</li> </ul> </li> <li>● 予備水源の確保</li> </ul>															
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>															
<p>○広域的な防災連絡体制の整備をすることで災害時の資材、人材、また応急給水体制等の充実を図る。県を中心に周辺市町村で広域的な対応ができるよう検討していく。</p> <p>既存の井戸の渇水に備えた予備水源の整備を検討する。</p>															
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町新水道ビジョン	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成30年度～令和9年度												
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>											
				国											
				県											
				鏡石町											
			民間												
<b>指標</b>															
指標名				計画名				現況値				目標値			
単位	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6								
		目標値													
		実績値													
指標名				計画名				現況値				目標値			
単位	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6								
		目標値													
		実績値													

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	上下水道課	<b>担当係</b>	上水道G	<b>担当名（内線）</b>	藤田欽一
------------	-------	------------	------	----------------	------

強靱化のための施策プログラム	② 予備水源の確保	重点
----------------	-----------	----

### リスクシナリオ

番号	内容
6-4	異常渇水等により用水の供給の途絶

### 現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】

○当町の水道水は地下水で有限の資源であり、一つの水源井から取水可能な水量には限りがある。

現在稼働中の井戸は揚水開始から30年以上経過しているものあり、地下水の渇水の恐れがある。このため、現在稼働中の水源井の適切な維持管理を行うとともに、地下水水位の低下に備え予備水源の確保を図る。

地下水の状況については、福島県で実施している地下水資源調査業務や現在稼働中の水源井の水位を注視し、現状の把握に努める。

- 水源井の適切な維持管理。

### 現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】

○既存の水源井の渇水に備え、取水可能な地下水資源の調査を計画的に実施し、渇水時に使用可能な予備水源として整備を図る。

- 地下水資源調査。
- 予備水源の確保、整備。

<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町新水道ビジョン	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成30年度～令和9年度
--------------	------------------------------------	-------------	---

<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>
		国
		県
		鏡石町
		民間

### 指標

指標名	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央		
強靱化のための施策プログラム		③ 農業用水の渇水対策			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
6-4	異常渇水等により用水の供給の途絶						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
○異常渇水の発生時又は発生するおそれがある場合においては、用水系統図等の準備・提供や農業用水の計画的な配水・節水などの対策を適切に実施するとともに、矢吹原土地改良区との連携を図り、毎月ダム貯水状況報告を受け、状況把握と連絡体制の確認を行う必要がある。							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○矢吹原土地改良区との連携を図り、毎月ダム貯水状況報告を受け、関係機関との情報共有や連携対応に係る体制の強化を図り農業用水の渇水対策の充実に向けて取り組みを推進する。							
●農業用水の渇水対策							
*速やかな受益者への情報提供							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
		鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課・都市建設課	<b>担当係</b>	農政G・事業G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央・折笠友基							
強靱化のための施策プログラム	① 農業水利等施設の適正な保全管理				重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
7-1	ため池、防災施設等の損壊・機能不全による二次災害の発生											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○農業水利施設の多くは、既に標準耐用年数を経過し、老朽化等による機能低下が進んでいる。地域農業を支える農家の減少、高齢化、農業所得の低下といった施設管理体制に弱体化の傾向があり、農業水利施設の維持管理が課題となっている。</p> <p>災害の発生に備え、農業水利施設の多面的機能が十分に発揮されるよう、各施設管理者による適正な施設診断の実施や施設管理体制の強化を進め、防災・減災に配慮したストックマネジメントの推進及び適正な維持管理等の取組により、安全安心な農業基盤づくりを進めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業水利施設の適正な保全管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 農道・用排水路の整備、修繕、改修</li> <li>* 多面的機能支払交付金事業の活用・支援</li> </ul> </li> </ul>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○各施設管理者による適正な施設診断の実施や施設管理体制の強化を進め、防災・減災に配慮したストックマネジメントの推進及び適正な維持管理等の取組により、安全安心な農業基盤づくりを推進する。</p> <p>○多面的機能支払交付金事業の活用により農業施設の修繕改修を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業水利等施設の適正な保全管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 農道・用排水路の整備、修繕、改修（基盤整備事業、農業水利等長寿命化・防災減災事業）</li> <li>* 多面的機能支払交付金事業の活用・支援</li> </ul> </li> </ul>												
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略			計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和元年度							
具体的な取組【事業内容】	事業名				取組主体							
					国							
					県							
	農業生産施設の整備事業、多面的機能支払交付金事業				鏡石町							
					民間							
<b>指標</b>												
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課、都市建設課	<b>担当係</b>	農政G・事業G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央・折笠友基		
強靱化のための施策プログラム	② 農業用ため池ハザードマップの作成等				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-1	ため池、防災施設等の損壊・機能不全による二次災害の発生						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○東日本大震災では、多くのため池で損壊等の被害が発生したことを踏まえ、農業用ため池の防災・減災対策として、ため池の浸水想定や点検・診断等の調査を進めるとともに、区域を図示したハザードマップの作成について検討していく必要がある。</p> <p>今後は、個別の施設計画を策定することとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業用ため池ハザードマップの作成等 <ul style="list-style-type: none"> <li>*ため池ハザードマップ作成</li> <li>*農業用ため池の点検、診断</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○大規模地震や豪雨等により多くのため池が被災していることを踏まえ、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害のおそれがあるため池に選定された高野池と諏訪池についてハザードマップを作成し、地震対策等に係る詳細調査を行い管理体制の強化を図り、被害想定区域の安全を確保する。○農業用ため池の防災・減災対策として、ため池の浸水想定や点検・診断等の調査を進めるとともに、区域を図示したハザードマップの作成を推進する。</p> <p>○今後は、個別の施設計画の策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業用ため池ハザードマップの作成等 <ul style="list-style-type: none"> <li>*ため池ハザードマップ作成</li> <li>*農業用ため池の点検、診断</li> <li>*農業用ため池の耐震化事業（農村地域防災減災事業）</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和元年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
	震災対策農業水利施設整備事業、農村地域防災減災事業			鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	ため池耐震性調査率	<b>計画名</b>	ため池耐震性調査	<b>現状値</b>	(令和元年度) 0%	<b>目標値</b>	(令和2年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
%	目標値	0	100				
	実績値	0	100				
<b>指標名</b>	ハザードマップ作成率	<b>計画名</b>	防災重点ため池ハザードマップ作成計画	<b>現状値</b>	(平成30年度) 100%	<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
%	目標値	100					
	実績値	100					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課、総務課	<b>担当係</b>	事業G、総務G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基、渡辺光徳
強靱化のための施策プログラム		③ 河川管理施設の整備等			重点
<b>リスクシナリオ</b>					
番号	内容				
7-1	ため池、防災施設等の損壊・機能不全による二次災害の発生				
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>					
<p>○台風や集中豪雨などの治水対策として、河川改修等を実施するとともに、大規模自然災害が発生したとしても迅速かつ的確な初動対応を実現できるよう河川管理等施設等の適正管理に取り組んでいる。</p> <p>水門・樋門等の河川管理施設については、県管理施設であり、耐用年数を超過する施設となっていることから、長寿命化計画に基づく計画的な補修・更新を行い、河川管理施設の正常な状態を常時確保する必要がある。</p> <p>なお、阿武隈川等の水門・樋門管理については、地元成田地区に業務委託しており、適正な管理に努めている。</p> <p>しかしながら、台風や集中豪雨においては、現地での目視確認による作業であり、河川氾濫を想定すると大変危険が伴うことから、簡易型水位計やライブカメラの設置を望む。</p> <p style="text-align: center;">* 阿武隈川・鈴川の改修整備 * 簡易型水位計の設置、ライブカメラの設置 * 国への管理移管</p>					
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>					
<p>○令和元年台風19号による阿武隈川等の堤防決壊による水害を踏まえた防災・減災対策として、関係機関が連携してハード整備・ソフト対策が連携した総合的な取組を行うことにより、浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化を目指す。</p> <p>取組みを行う中で、河川改修整備、簡易水位計の設置、ライブカメラの設置について国・県に強く要望していく。</p> <p>○湛水対策として阿武隈川の水門・樋門管理については、継続して地元成田地区・河川管理者との連携を図り、維持管理に努めていく。</p> <p>令和元年台風19号による阿武隈川等の堤防決壊による水害を踏まえた湛水被害対策として、国、県、地元地区と連携した取組を行い、湛水被害の軽減、社会経済被害の最小化を目標としていく。</p> <p>取組みを行う中で、河川改修整備、簡易水位計の設置、ライブカメラの設置等について国・県に管理要望していく。</p> <p style="text-align: center;">* 阿武隈川・鈴川の改修整備 * 簡易型水位計の設置、ライブカメラの設置 * 国への管理移管 * 高台移転</p>					
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 阿武隈川水系河川整備計画 郡山圏域河川整備計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成19年3月～30年間 平成18年4月～30年間		
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>			
	防災・減災国土強靱化のための3ヵ年緊急対策、阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト		国		
	福島県豪雨対策緊急河川整備事業、阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト		県		
	阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト		鏡石町		
		民間			
<b>指標</b>					
指標名		計画名		現状値	目標値
単位	年度	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				
指標名		計画名		現状値	目標値
単位	年度	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課	<b>担当係</b>	環境G	<b>担当名（内線）</b>	斎藤則行							
強靱化のための施策プログラム		① 有害物質の流出・拡散防止対策の推進			重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
7-2	有害物質の大規模流出・拡散											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○有害物質使用事業場における化学物質の適正な管理体制を確保することを目的として「福島県化学物質適正管理指針」が策定され、管理化学物質を年間100kg以上取り扱う工場・事業場を対象として、災害・事故発生時の化学物質による環境汚染を防止するため、管理規程の作成、施設・設備の保守点検の実施及び緊急時における迅速な応急措置等を求めている。</p> <p>現在、県では、工場・事業場における化学物質の使用量・製造量の把握や周辺環境（大気・排出水等）の調査に取り組んでおり、当町においても、関係機関等と連絡を密にしながら、今後、有害物質使用事業場における防災・減災対策に係る検討をさらに深め、有害物質の流出・拡散防止対策を推進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●有害物質の流出・拡散防止対策の推進</li> <li>  * 関係機関との連絡調整</li> </ul>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
○有害物質使用事業場における防災・減災対策に係る初期対応の推進を図るとともに、有害物質の流出・拡散防止対策を促進する。県等の関係機関からの協力を得て、連絡調整体制を構築する。												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～									
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>								
				国								
				県								
				鏡石町								
			民間									
<b>指標</b>												
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	正木諒								
強靱化のための施策プログラム		② アスベスト使用被災建築物の適切な管理・解体			重点								
<b>リスクシナリオ</b>													
番号	内容												
7-2	有害物質の大規模拡散・流出												
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>													
<p>○災害発生時において、アスベスト使用建築物が損壊・破損することに伴い、アスベストが飛散・暴露するおそれがあるため、平常時から関係部局等との連携の下、アスベスト使用建築物の所在情報を把握するとともに、災害時において迅速かつ的確な応急対策を行うための準備を進めておく必要がある。</p> <p>アスベスト使用建築物については、本庁舎の車庫上倉庫と勤労青少年ホームであり、いずれもアスベスト除去済みである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アスベスト使用被災建築物の適切な管理・解体 <ul style="list-style-type: none"> <li>*公共施設のアスベスト除去</li> </ul> </li> </ul>													
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>													
<p>○アスベスト使用が未確認の公共施設は、各消防団屯所（防災センター以外の8カ所）である。</p> <p>目視、設計図面所による調査を実施し、必要があれば曝露防止措置を講じなければならない。</p> <p>なお、時期等を勘案しながら、計画的にアスベスト除去を進めていく。</p>													
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～										
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>								
					国								
					県								
					鏡石町								
					民間								
<b>指標</b>													
指標名					計画名			現状値			目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>						
	<b>目標値</b>	未確認公共施設の調査	曝露防止が必要な施設への措置	曝露防止が必要な施設への措置	曝露防止が必要な施設への措置	曝露防止が必要な施設への措置	曝露防止が必要な施設への措置	曝露防止が必要な施設への措置					
	<b>実績値</b>												
指標名					計画名			現状値			目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>						
	<b>目標値</b>												
	<b>実績値</b>												

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課	<b>担当係</b>	環境G	<b>担当名（内線）</b>	齋藤則行						
強靱化のための施策プログラム	③ PCB廃棄物の適正処理				重点						
<b>リスクシナリオ</b>											
番号	内容										
7-2	有害物質の大規模拡散・流出										
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>											
<p>○災害等の発生によって、PCBが拡散・流出する事態を防止するためには、保管事業者がPCB廃棄物を速やかにかつ適正に処理するとともに、処理完了までの間において本体・保管容器の転倒・漏れ防止対策等に留意した適正保管を実施することが求められる。</p> <p>PCB廃棄物の適正処理を促進するため、今後も引き続き、事業者に対する指導等を継続・強化していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● PCB廃棄物の適正処理</li> </ul>											
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>											
○町施設におけるPCB廃棄物の所在確認及び適正処理を実施する。											
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～							
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>							
				国							
				県							
				鏡石町							
				民間							
<b>指標</b>											
指標名			計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
	目標値										
	実績値										
指標名			計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
	目標値										
	実績値										

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム	① 原子力防災体制の充実・強化				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
○原子力災害の教訓を踏まえ、福島県と連携しながら、広域避難計画や具体化・充実化や各種研修の計画的な実施等への取組み、原子力防災体制の充実・強化を進めている。								
●原子力防災体制の充実・強化								
* 研修会の実施								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
○原子力災害の教訓を踏まえ、福島県と連携しながら、広域避難計画や具体化・充実化や各種研修の計画的な実施等への取組み、原子力防災体制の充実・強化を進めている。								
●原子力防災体制の充実・強化								
* 研修会への参加、実施								
* 防災訓練(原子力災害対策訓練)への参加								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～			
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>			
					国			
					県			
					鏡石町			
				民間				
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	研修会の実施回数			<b>計画名</b>	<b>現況値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和6年度) 1
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
回	目標値	0	1	1	1	1	1	
	実績値	0						
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>	<b>現況値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値							
	実績値							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳							
強靱化のための施策プログラム		② 原子力災害時避難対策の推進			重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○新たな原子力災害発生時における円滑な住民避難に向けては、福島県において「福島県原子力災害広域避難計画」が策定されており、原子力災害対策重点区域13市町村の避難先市町村、具体的な避難施設及び避難ルートを予め定めている。</p> <p>当計画の実効性を高めるため、住民避難訓練（原子力防災訓練）が毎年実施され、課題の抽出や関係者の対応能力の向上に努めている。</p> <p>自家用車避難を原則とする広域避難において、渋滞の発生が想定されることから、「原子力災害時における避難に伴う渋滞対策検討会」が設置され、円滑な広域避難に向けた課題の整理やその解決に向けた検討が進められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●原子力災害時避難対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>*原子力災害時避難対策マニュアル作成</li> </ul> </li> </ul>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○当町においても、原子力災害発生時の町民の被ばくをできるだけ少なくするため、今後も引き続き、県との連携を図りながら、避難対策の充実に取り組んでいく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●原子力災害時避難対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>*原子力災害時避難対策マニュアル作成</li> </ul> </li> </ul>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～									
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>								
				国								
				県								
				鏡石町								
			民間									
<b>指標</b>												
指標名				計画名			現状値			目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											
指標名				計画名			現状値			目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳				
強靱化のための施策プログラム	③ 広域避難計画に基づく住民避難訓練の実施				重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
○原子力発電所において、緊急事象が発生した場合に備え、福島県では、毎年度、原子力防災訓練を実施していることから、当町においても積極的な参加により、町民の意識の向上を図る。									
●広域避難計画に基づく住民避難訓練の実施									
*福島県の防災避難訓練への参加・意識向上 *広報・広聴の充実・強化									
*デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
○緊急時における関係機関の連携確認、関係者の防災技術の習熟、地域住民の取るべき行動についての理解促進のため、福島県や関係機関と連携した住民避難訓練への参加を実施していく必要がある。									
●広域避難計画に基づく住民避難訓練の実施									
*福島県の防災避難訓練への参加・意識向上 *広報・広聴の充実・強化									
*デジタル防災行政無線等の更新、個別受信機の充実、インターネット等を活用した情報提供システムの整備									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>				
					国				
					県				
					鏡石町				
					民間				
<b>指標</b>									
<b>指標名</b>	住民避難訓練の実施回数			<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和6年度) 1
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
回	目標値	0	1	1	1	1	1		
	実績値	0							
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
	目標値								
	実績値								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム	④ 関係機関・原子力事業者との情報連絡体制の充実・強化				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
○原子力災害に備えた緊急時通信連絡体制の整備として、福島県によるこれまでのTV会議システムの接続拠点追加や機器の増設・更新等を進めている。 防災通信連絡訓練の実施により、関係機関との連携強化を図っている。 ●関係機関・原子力事業者との情報連絡体制の充実・強化 *連携協定							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○いかなる災害が発生したとしても、国、福島県、関係機関及び原子力事業者等と速やかに情報を共有し、的確な初動対応を行うための連絡体制を確保する必要がある。 今後も通信機器の保守点検の実施や定期的な通信訓練による関係職員の実務習熟度の向上を図っていく必要がある。 ●関係機関・原子力事業者との情報連絡体制の充実・強化 *連携協定の締結 *原子力防災通信訓練への参加							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
		鏡石町					
	民間						
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	原子力防災通信訓練の実施回数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 2	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
<b>回</b>	目標値	2	2	2	2	2	2
	実績値	2					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	教育課・健康環境課 上下水道課	<b>担当係</b>	教育G・環境G・上水道G	<b>担当名（内線）</b>	角田智晴・斎藤則行・藤田欽一		
強靱化のための施策プログラム		⑤ 放射線モニタリング体制の充実・強化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○福島県では、現在、原子力発電所周辺の影響監視を行うとともに、県内全域において空間線量率のモニタリングや環境試料の分析を幅広く実施し、福島県放射能測定マップ等を活用して県内外に情報を発信している。</p> <p>当町においても、公共施設の放射線量の測定や一般町民向け食品中放射線量の測定、自家消費放射線検査の実施を行っており、学校給食の安全管理についても取り組んでいる。</p> <p>地震、台風等の自然災害等を原因として放射性物質が飛散・漏えいするリスクにも備え、今後も引き続き放射線モニタリング体制を確保していく必要がある。</p> <p>教育施設では週1回の測定を現在行っている。</p> <p>現在は自家消費放射能検査事業を第1放射能簡易測定センターにて学校給食食材の測定を行っている。</p> <p>●放射線モニタリング体制の充実・強化</p> <p style="margin-left: 20px;">*放射線量の測定（学校・社会体育施設・役場庁舎・幼稚園・保育所等） *学校給食の安全管理 *公立岩瀬病院との連携実施</p> <p style="margin-left: 20px;">*一般町民向け食品中放射線量の測定 *自家消費放射線検査実施 *水道水のモニタリング調査の実施</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○放射線モニタリング体制の充実・強化を図る。</p> <p style="margin-left: 20px;">*震災後継続して実施している水道水のモニタリング調査について、引き続き適切に実施していく。</p> <p style="margin-left: 20px;">*一般町民向け食品中放射線量の測定</p> <p style="margin-left: 20px;">*簡易放射能測定センターにおいて放射線量の測定を実施。令和2年度で終了予定。</p> <p style="margin-left: 20px;">*公立岩瀬病院との連携実施（公立岩瀬病院所有のWBC車による内部被ばく線量の測定を実施。令和2年度で終了予定。）</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
	財政支援（震災復興特別交付税）	国					
		県					
	学校給食食材放射能測定事業	鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	検査件数	<b>計画名</b>	自家消費放射能検査事業	<b>現状値</b>	(平成30年度) 2,479	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2,500
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
検体数	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課	<b>担当係</b>	環境G	<b>担当名（内線）</b>	齋藤則行							
強靱化のための施策プログラム	⑥ 放射性物質に汚染された廃棄物の適正処理				重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○汚染廃棄物のうち国が指定した廃棄物等は、特定廃棄物埋立処分施設（富岡町）で処分することとなっており、県では、国、県、富岡・檜葉両町と締結した安全協定に基づき、施設の安全な運用確認のため、状況確認等を実施している。</p> <p>災害発生時においても、汚染廃棄物が適正に処理される体制を確保するため、国、県、防災関係機関が連携し、災害発生時の連絡体制の確認や災害対応等に取り組んでいく必要がある。</p> <p>なお、当町においては、震災時に発生した放射線物質に汚染された廃棄物は平成30年度中にすべて中間貯蔵室に搬出済み。</p> <p>●放射性物質に汚染された廃棄物の適正処理</p> <p style="margin-left: 20px;">* 運搬・搬出処理管理</p>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○放射性物質に汚染された廃棄物の適正処理</p> <p style="margin-left: 20px;">* 災害発生時には、関係機関と連携し、連絡体制の確認や災害対応等に取り組んでいく。</p>												
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～							
具体的な取組【事業内容】	事業名				取組主体							
					国							
					県							
					鏡石町							
					民間							
<b>指標</b>												
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											
指標名				計画名			現状値			目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課	<b>担当係</b>	事業G	<b>担当名（内線）</b>	折笠友基				
強靱化のための施策プログラム	⑦ 除染により発生した除却土壌等の適切な管理				重点				
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
<p>○除染により発生した除去土壌等については、現場又は仮置場等で遮へいた状態で保管されており、中間貯蔵施設へ搬出するまでの間の安全性を確保するため、仮置場等での保管に係る課題等に対して現地調査や知見・技術的手法の取りまとめを行うとともに、住民説明会への専門家派遣等による住民の疑問・不安への対応に取り組んできた。</p> <p>災害発生時において、仮置場等で保管されている除去土壌等から放射性物質が飛散・流出する事態を防ぐため、今後も福島県との連携・連絡体制を強化し、各現場の状況に応じた適正管理及び対応策の明確化・充実化を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 除染により発生した除去土壌等の適切な管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 道路側溝等堆積物撤去処理</li> </ul> </li> </ul>									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
<p>○大震災による原発事故に伴う放射性物質の影響を危惧し、住民協働の環境美化活動による道路側溝等の土砂上げを今日まで自粛したことにより、堆積した土砂による衛生環境の悪化が課題となっている。</p> <p>この課題について、国の示した対応方針に基づき道路側溝等堆積物の除去作業を実施する。</p>									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>				
					国				
					県				
	福島再生加速化交付金道路等堆積物撤去・処理支援事業				鏡石町				
					民間				
<b>指標</b>									
<b>指標名</b>	道路等堆積物除去率			<b>計画名</b>	道路等側溝堆積物除去計画	<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	(令和元年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6		
%	目標値	100							
	実績値	100							
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6		
	目標値								
	実績値								

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課・教育課	<b>担当係</b>	環境G・教育G	<b>担当名（内線）</b>	斎藤則行・角田智晴		
強靱化のための施策プログラム	⑧ 放射線等に関する正しい知識の普及啓発				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○放射線による健康被害や原子力発電所の状況に対し、現在も町民は不安を抱いていることから、福島県等が開催する講演会等への参加や環境創造センター（コミュタン福島）での環境学習など放射線に関する正しい知識の普及啓発に努めている。</p> <p>原子力緊急事態における地域住民の不要な被ばくを回避するため、放射線に関する正しい知識の普及啓発に引き続き取り組んでいく必要がある。</p> <p>自家消費野菜等食品放射能測定結果の広報を実施。毎月広報紙に掲載。</p> <p>簡易放射能測定センターにおける測定が令和2年度で終了予定のため、広報紙掲載も終了予定。</p> <p>●放射線等に関する正しい知識の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 環境創造センター交流棟「コミュタン福島」での環境学習</li> <li>* 食の安全確保、食の安全広報の充実・強化</li> </ul> <p>自家消費野菜等食品放射能測定結果の広報を実施。毎月広報誌に掲載。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○放射線等に関する正しい知識の普及啓発を図るとともに「食の安全確保」に係る情報発信のための広報活動を充実・強化する。</p> <p>放射能教育を効率的に実施する為、中学1年生を対象に環境創造センター交流棟「コミュタン福島」での環境学習を継続して実施していく。そのために学校に対してバス代の補助を行う。</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
	放射線教育補助事業	鏡石町					
	民間						
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	実施回数	<b>計画名</b>	放射線教育補助事業	<b>現状値</b>	（平成30年度） 1回	<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
<b>実施回数</b>	目標値	1	1	1	1	1	1
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	教育課・健康環境課	<b>担当係</b>	教育G・環境G	<b>担当名（内線）</b>	角田智晴・斎藤則行							
強靱化のための施策プログラム	⑨ 様々な教育分野と関連した放射線教育の推進				重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○農林水産物の環境放射線モニタリングや甲状腺検査、福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組など、児童・生徒の身の回りで行われている復興に向けた様々な取組に目を向ける機会を通じて、児童・生徒が放射線等についての基礎知識を持ち、放射線等から身を守る実践力を身につけるため、問題解決的学習の実践や各種研修会における放射線教育等に取り組んでいる。</p> <p>今後も、放射線等に関する基礎的な内容について理解を深める学習を中心としつつ、防災、環境、食育、健康、エネルギー、人権及び道徳などの各教育分野との関連を図りながら、子どもたちの未来を拓く放射線教育を推進していく必要がある。</p> <p>●様々な教育分野と関連した放射線教育の推進</p> <p style="margin-left: 20px;">*放射線教育の実施（小中学校、幼稚園、保育所） *一般向け放射線教育の周知・広報の充実</p>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○放射線教育を効率的に実施する為、中学1年生を対象に環境創造センター交流棟「コミュニティ福島」での環境学習を継続して実施していく。</p> <p>そのために学校に対してバス代の補助を行う。</p> <p>●様々な教育分野と関連した放射線教育の推進</p> <p style="margin-left: 20px;">*放射線教育の実施（小中学校、幼稚園、保育所） *一般向け放射線教育の周知・広報の充実</p>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～									
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>							
					国							
					県							
					鏡石町							
					民間							
<b>指標</b>												
指標名				計画名			現状値			目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											
指標名				計画名			現状値			目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳							
強靱化のための施策プログラム		⑩ 防災教訓の伝承・風化防止			重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
7-3	原子力発電所等からの放射性物質の放出及びそれに伴う被ばく											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○東日本大震災及び原子力災害は、人類がこれまで経験したことのない未曾有の複合災害であり、災害の実態と復興への取組を国や世代を超えて継承・共有していくため、記録誌を作成した。</p> <p>原子力災害は、本県にしかない経験と教訓を今後の防災・減災対策に活かすとともに、想像を超える災害が起こりうるという危機意識を喚起し、経験を忘れずに災害に備えることの大切さを伝えることにより、自助・共助の取組を促し、地域防災力の向上を図るため、今後も引き続き、震災教訓の継承・風化防止に取り組んでいく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●震災教訓の伝承・風化防止 <ul style="list-style-type: none"> <li>*記録集等の作成、配付</li> </ul> </li> </ul>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○東日本大震災及び原子力災害の経験を風化させないよう記録誌の活用や、記念誌への記録掲載などを通じて、経験と教訓を後世に伝える努力をする必要がある。</p> <p>また、消防団員の経験やノウハウを今後に伝え、継続していくために、消防団とOB団員による支援隊の連携強化を図るとともに、活動への支援を継続していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●震災教訓の伝承・風化防止 <ul style="list-style-type: none"> <li>*記録集等の作成、配付</li> <li>*消防団及び消防活動支援隊の連携強化と活動支援</li> </ul> </li> </ul>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～									
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>								
				国								
				県								
	地域の防災体制整備事業			鏡石町								
			民間									
<b>指標</b>												
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
	目標値											
	実績値											
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央		
強靱化のための施策プログラム		① 食料生産基盤の整備			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-4	農地・森林等の荒廃による被害の拡大						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○食料生産基盤である農地は、雨水を一時的に貯留する働きや下流域への土壌流出を防ぐ働きなどの多面的機能を有しており、耕作放棄による農地の荒廃は、自然災害時の被害拡大のリスクを増加させることから、ほ場の区画整理による食料生産基盤の整備に取り組む必要がある。</p> <p>安定的かつ効率的な営農の推進に向けて、「高久田地区ほ場整備事業」を進めているところであり、引き続き食料生産基盤の整備に取り組む必要がある。</p> <p>食料供給を安定的に行うという重要な役割を担うことが求められており、農地や農業水利施設等の生産基盤の整備を着実に推進する必要がある。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○ほ場の区画整理による食料生産基盤の整備を推進する。</p> <p>安定的かつ効率的な営農の推進に向けて、「高久田地区ほ場整備事業」を進めているところであり、引き続き食料生産基盤の整備を推進する。</p> <p>耕作放棄地・遊休農地対策としては、「かがみいし油田計画」プロジェクトにより「なたね」等の栽培に力をいれており、新しい農作物の栽培の推進・拡大を推進する。</p> <p>農地や農業水利施設等の生産基盤の整備を着実に推進する。</p> <p>●食料生産基盤の整備 * ほ場整備事業の推進（未実施地区の整備）</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
		県					
	ほ場整備事業、農地再生プロジェクト事業	鏡石町					
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	ほ場整備率（水田）	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	（令和元年度） 40.5%	<b>目標値</b>	（R6年度） 45.0%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
%	目標値	40.5	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0
	実績値	40.5					
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央		
強靱化のための施策プログラム		② 農業の体質強化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-4	農地・森林等の荒廃による被害の拡大						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○農業は、大変厳しい経営環境の中、担い手不足などの大きな課題を抱えており、災害発生時を含め、国全体の食料の安定供給に将来にわたって貢献をしていくためには、経営安定対策や担い手の育成確保など、本町の農業の持続的な発展につながる取組を進めており、引き続き効果的に推進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業の体質強化（遊休農地・耕作放棄地対策等） <ul style="list-style-type: none"> <li>*新しい農作物栽培の推進・拡大</li> <li>*油田計画面積拡大（農地再生プロジェクト）</li> <li>*水田事業の支援（水田生産調整）</li> <li>*土壌汚染調査（農作物放射線検査）</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○経営安定対策や担い手の育成確保など、本町の農業の持続的な発展につながる取り組みを効果的に推進する。</p> <p>○地域の特産であるキュウリ、イチゴ、花きの作付推進を図り、園芸農家の所得確保を図る取り組みを推進する。</p> <p>○肥培管理に労力のかからない土地利用型作物の作付を推進し、耕作放棄地の発生を防止し農地と景観の維持を図るとともに新たな産品づくりに寄与する取り組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業の体質強化（遊休農地・耕作放棄地対策等） <ul style="list-style-type: none"> <li>*新しい農作物栽培の推進・拡大</li> <li>*油田計画面積拡大（農地再生プロジェクト）</li> <li>*水田事業の支援（水田生産調整）</li> <li>*土壌汚染調査（農作物放射線検査）</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	水田農業の支援事業、農地再生プロジェクト事業、放射線量検査事業		鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	耕作放棄地解消面積	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 800a	<b>目標値</b>	(令和3年度) 1000a
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
a	目標値	800	900	1000	/	/	/
	実績値	800			/	/	/
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央							
強靱化のための施策プログラム		③ 食料品の確保・販路拡大			重点							
<b>リスクシナリオ</b>												
番号	内容											
7-4	農地・森林等の荒廃による被害の拡大											
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>												
<p>○災害時において、食料の供給を安定的に行うためには、平時においても販路の開拓、拡大等により、一定の生産量を確保していくことが必要であり、食の高付加価値化などによる農産物販路拡大の取組など、生産、加工、流通が一体となった取組を推進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 町産農産物の販路拡大           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 食の高付加価値化・販路拡大（6次化推進・販路拡大プロジェクト事業）</li> <li>* 沖縄県への販路拡大推進活動</li> </ul> </li> </ul>												
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>												
<p>○食の高付加価値化などによる農産物販路拡大の取組など、生産、加工、流通が一体となった取組を推進する。</p> <p>○風評被害により落ち込んだ農産物や加工品の販売・消費拡大を図るための販売促進活動及び農業者等が行う6次化商品開発や販売促進活動を支援する取り組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 町産農産物の販路拡大           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 食の高付加価値化・販路拡大（6次化推進・販路拡大プロジェクト事業）</li> <li>* 米づくり部会、商工会、町観光協会等との連携による沖縄県への販路拡大推進活動</li> </ul> </li> </ul>												
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度									
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>								
				国								
				県								
	6次化推進・販路拡大プロジェクト事業			鏡石町								
			民間									
<b>指標</b>												
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	目標値											
	実績値											

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央		
強靱化のための施策プログラム		④ 災害に強い森林の整備			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-4	農地・森林等の荒廃による被害の拡大						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
○原子力災害に伴う避難指示や放射性物質による汚染等の影響により、森林整備や林業生産活動が停滞し、水源かん養や山地災害防止機能等の森林が有する多面的機能の低下が懸念されている状況にある。 森林整備と放射性物質対策を一体的に行う取組みを実施し、多面的機能を高度に発揮できる健全な森林整備や経済の振興等により、災害に強い森林づくりを推進する必要がある。							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○森林整備と放射性物質対策を一体的に行う取組みを実施し、多面的機能を高度に発揮できる健全な森林整備や経済の振興等により、災害に強い森林づくりを推進する。 ○当町においても、引き続き間伐等の森林整備や「ふれあいの森公園」の整備を推進する。 ●災害に強い森林の整備 *間伐等の森林整備等 *ふれあいの森公園の整備							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	ふくしま森林再生事業		鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	ふくしま森林再生事業森林整備面積	<b>計画名</b>	ふくしま森林再生事業全体計画・年度別実施計画	<b>現状値</b>	(令和元年度) 8ha	<b>目標値</b>	(令和3年度) 13ha
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
ha	目標値	13	13	13	/	/	/
	実績値	8			/	/	/
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課・都市建設課	<b>担当係</b>	農政G・事業G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央・折笠友基		
強靱化のための施策プログラム		⑤ 農業水利等施設の適正な保全管理			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-4	農地・森林等の荒廃による被害の拡大						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○農業水利施設の多くは、既に標準耐用年数を経過し、老朽化等による機能低下が進んでいる。地域農業を支える農家の減少、高齢化、農業所得の低下といった施設管理体制に弱体化の傾向があり、農業水利施設の維持管理が課題となっている。</p> <p>災害の発生に備え、農業水利施設の多面的機能が十分に発揮されるよう、各施設管理者による適正な施設診断の実施や施設管理体制の強化を進め、防災・減災に配慮したストックマネジメントの推進及び適正な維持管理等の取組により、安全安心な農業基盤づくりを進めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業水利施設の適正な保全管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>*農道・用排水路の整備、修繕、改修</li> <li>*多面的機能支払交付金事業の活用・支援</li> <li>*農地防災事業（ため池等整備事業（梨池下地区））</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○各施設管理者による適正な施設診断の実施や施設管理体制の強化を進め、防災・減災に配慮したストックマネジメントの推進及び適正な維持管理等の取組により、安全安心な農業基盤づくりを推進する。</p> <p>○多面的機能支払交付金事業の活用により農業施設の修繕改修を推進する。</p> <p>○ため池等農業用水利施設及び農業用排水路の老朽化等による機能低下に伴い、令和2年度に公共施設等総合管理計画に基づき、点検、診断によって得られた施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期、対策費用を定め、最適な施設管理を図る。</p> <p>○多面的機能支払交付金事業団体による、営農に係る農業用施設の定期点検、診断、用排水路の維持補修及び整備について町と地元で連携しながら継続的に行い、農業基盤の安定を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業水利等施設の適正な保全管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>*農道・用排水路の整備、修繕、改修（基盤整備事業、農業水利等長寿命化・防災減災事業）</li> <li>*多面的機能支払交付金事業の活用・支援</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>					
		国					
	農地防災事業(ため池等整備事業(梨池下地区))	県					
	農業生産施設の整備事業、多面的機能支払交付金事業、農業用排水路整備事業	鏡石町					
	多面的機能支払交付金事業団体	地元保全会					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	多面的機能支払交付金事業活動組織数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 8団体	<b>目標値</b>	(令和3年度) 8団体
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
団体	目標値	8	8	8	/	/	/
	実績値	8					
<b>指標名</b>	農業用水利施設点検・診断策定率	<b>計画名</b>	農業用水利施設個別計画策定	<b>現状値</b>	(令和元年度) 0%	<b>目標値</b>	(令和2年度) 100%
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
	目標値	0	100				
	実績値	0	100				

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央		
強靱化のための施策プログラム		⑥ 鳥獣被害防止対策の充実・強化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-4	農地・森林等の荒廃による被害の拡大						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○近年、有害鳥獣の生息域が拡大傾向にある一方、対策に当たる人材が不足し、農作物等への被害増加が懸念される状況にある。</p> <p>○鳥獣被害を一因とする耕作放棄地の発生や森林の荒廃等は、災害発生時における被害拡大のリスクを増加させる可能性もあることから、生息環境の管理、被害防除及び効果的な捕獲等を組み合わせた総合的な対策を推進するとともに、鳥獣被害防止対策を担う人材の育成に取り組み、関係機関が連携した鳥獣被害防止対策を強化していく必要がある。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○有害鳥獣の生息環境の管理、被害防除及び効果的な捕獲等を組み合わせた総合的な対策を推進するとともに、鳥獣被害防止対策を担う人材の育成に取り組み、関係機関と連携した鳥獣被害防止対策を推進する。</p> <p>○鳥獣被害防止特措法に基づく鏡石町鳥獣被害防止計画により協議会、実施隊を設置し、鳥獣被害防止対策のため、わなや電気柵等の設置及び研修、狩猟免許取得者増に向けた支援を推進する。</p> <p>●鳥獣被害防止対策の充実・強化          ＊鏡石町地域農業再生協議会（鳥獣被害防止対策事業）の設置 ＊鳥獣被害防止計画の推進</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>		
					国		
					県		
	有害鳥獣被害防止対策事業				鏡石町		
					民間		
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	イノシシの年間捕獲頭数	<b>計画名</b>	鏡石町鳥獣被害防止計画	<b>現状値</b>	(令和元年度) 0頭	<b>目標値</b>	(令和3年度) 3頭
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
<b>頭数</b>	<b>目標値</b>	3	3	3	/	/	/
	<b>実績値</b>	0			/	/	/
<b>指標名</b>	有害鳥獣による農作物被害額	<b>計画名</b>	鏡石町鳥獣被害防止計画	<b>現状値</b>	(令和元年度) 0千円	<b>目標値</b>	(令和3年度) 0千円
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
<b>千円</b>	<b>目標値</b>	0	0	0	/	/	/
	<b>実績値</b>	0			/	/	/
<b>指標名</b>	鳥獣被害防止計画策定有無	<b>計画名</b>	鏡石町鳥獣被害防止計画	<b>現状値</b>	(令和元年度) 策定有	<b>目標値</b>	(令和3年度) 策定有
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
	<b>目標値</b>	策定有	策定有	策定有	/	/	/
	<b>実績値</b>	策定有			/	/	/

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G		<b>担当名（内線）</b>	常松忠央			
強靱化のための施策プログラム		⑦ 農業・林業の担い手確保・育成				重点			
<b>リスクシナリオ</b>									
番号	内容								
7-4	農地・森林等の荒廃による被害の拡大								
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>									
<p>○農業担い手の経営所得安定対策や認定農業者及び新規就農者は増加傾向にあるものの、依然として農業者の高齢化や農業経営体数の減少、東日本大震災及び原子力災害の影響に伴う避難、風評による営農意欲の減退等の課題が懸念されている。</p> <p>自然災害の発生に備え、農地の多面的機能が十分に発揮されるよう、今後も引き続き、認定農業者・新規就農者の確保・育成や企業の農業参入支援を推進するとともに、農用地の利用集積や経営の規模拡大・効率化を促進し、経営基盤の強化を図ることによる営農再開や農業担い手の確保に取り組んでいく必要がある。</p>									
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>									
<p>○認定農業者・新規就農者の確保・育成や企業の農業参入支援を推進するとともに、農用地の利用集積や経営の規模拡大・効率化を促進し、経営基盤の強化を図ることによる営農再開や農業担い手の確保の取り組みを推進する。</p> <p>○農業分野における各種事業への取組による魅力ある農業づくりの取り組みを推進する。</p> <p>○経営安定対策や担い手の育成確保など、本町の農業の持続的な発展につながる取組を効果的に推進する。</p> <p>○地域の特産であるキュウリ、イチゴ、花きの作付推進を図り、園芸農家の所得確保を図る取り組みを推進する。</p> <p>○肥培管理に労力のかからない土地利用型作物の作付を推進し、耕作放棄地の発生を防止し農地と景観の維持を図るとともに新たな産品づくりに寄与する取り組みを推進する。</p> <p>●農業・林業の担い手確保・育成等</p> <p style="margin-left: 20px;">* 水田フル活用推進事業 * 産地パワーアップ事業 * 担い手育成支援事業</p> <p style="margin-left: 20px;">* 農地再生プロジェクト事業 * 農業支援事業 * 6次化推進事業</p>									
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>				
					国				
					県				
	水田農業の支援事業、農地再生プロジェクト事業 6次化推進・販路拡大プロジェクト事業				鏡石町				
				民間					
<b>指標</b>									
<b>指標名</b>	認定農業者数			<b>計画名</b>	現 状 値		(令和元年度) 97人	<b>目 標 値</b>	(令和3年度) 100人
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6		
人	目標値	100	100	100	/	/	/		
	実績値	97							
<b>指標名</b>	新規農業就業者数			<b>計画名</b>	現 状 値		(令和元年度) 4人	<b>目 標 値</b>	(令和3年度) 5人
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6		
人	目標値	4	5	5	/	/	/		
	実績値	4							
<b>指標名</b>	避難地域において農業を開始した認定農業者数			<b>計画名</b>	現 状 値		(令和元年度) 0人	<b>目 標 値</b>	(令和3年度) 1人
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6		
人	目標値	1	1	1	/	/	/		
	実績値	0							

**国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票**

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G・観光G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央・小林洋一		
強靱化のための施策プログラム	① 風評等の防止に向けた適切な情報発信・販売対策等			重点			
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-5	風評等による地域経済等への甚大な影響						
現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】							
<p>○東日本大震災からの復興及び原子力災害の影響による風評の払拭に向けて、検査や生産管理による安全・安心の確保、観光資源や県産農林水産物等の魅力等についての情報発信、国内外からの様々な観光誘客プロモーション等に取り組んでいる。</p> <p>災害等の発生に伴う誤認識や消費者の過剰反応などの風評により、地域経済が甚大な影響を受けるという経験を踏まえ、正確な情報をいち早く収集し、適時適切に情報発信していくとともに、風評払拭に向けた粘り強い取組を通じて、戦略的・効果的な対策の手法等について検討を深めていく必要がある。</p> <p>「田んぼアート事業」や「地域づくり（かんかんてらす）事業」の取組により農産物の販路拡大や6次化推進事業など連携を強化しながら、さらなる、鏡石町の情報発信に繋げていく。</p> <p>●風評等の防止に向けた適切な情報発信・販売対策等</p> <p>*観光プロモーション推進事業 *田んぼアート事業 *観光協会支援</p> <p>*6次化推進事業・販路拡大プロジェクト事業 *地域づくり（かんかんてらす）事業</p>							
現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】							
<p>○各種関係団体と連携し、岩瀬牧場や鳥見山公園、田んぼアート等、既存の観光資源の利活用を図り、鏡石町における観光客の増加と観光振興を図る。</p> <p>また、新たな観光資源の開発や観光施設の整備、農業と観光が連携した新たな誘客スポット等を創出して、農業のPRと地域商業の活性化を図り産業の発展を推進する。</p> <p>今ある地域資源を農工商が連携する形で活用して、観光をはじめとした交流人口の拡大を推進し、地域全体で滞在時間と個人消費額の拡充を図るとともに、平成30年度にオープンしたまちの駅「かんかんてらす」の安定的な運営を目指す。</p> <p>*子ども交流事業等に併せた友好市町村との産業振興の強化 *交流人口・関係人口対策</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和1年度				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
	6次化・販路拡大支援事業、観光プロモーション推進事業、 田んぼアート事業、観光協会事業、地域づくり事業		鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	観光客入込数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(平成30年度) 138,212人	<b>目標値</b>	(令和3年度) 140,000人
<b>単位</b>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人	目標値	100,000	140,000	140,000			
	実績値						
<b>指標名</b>	県内の外国人宿泊者数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(平成30年度) 141,350人	<b>目標値</b>	(令和3年度) 98,788人
<b>単位</b>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人	目標値	98,788	98,788	98,788			
	実績値						
<b>指標名</b>	GAP（農業生産工程管理）に取り組む生産者数	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(平成30年度) 1件	<b>目標値</b>	(令和3年度) 3件
<b>単位</b>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件	目標値	1	2	3			
	実績値	1					
<b>指標名</b>	鏡石まちの駅「かんかんてらす」販売額	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(平成30年度) 15,485千円	<b>目標値</b>	(令和3年度) 18,000千円
<b>単位</b>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
千円	目標値	18,000	18,000	18,000			
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	産業課	<b>担当係</b>	農政G	<b>担当名（内線）</b>	常松忠央		
強靱化のための施策プログラム		② 家畜伝染病対策の充実・強化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
7-5	風評等による地域経済等への甚大な影響						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模自然災害時においても家畜伝染病の発生予防・まん延防止対策を迅速かつ的確に行うため、初動防疫に必要な資材の備蓄、防疫演習の実施、防疫対策業務に関する協定締結等を実施しており、今後も引き続き、関係機関との緊密な連携の下、家畜防疫体制の強化を図る必要がある。</p> <p>町内においても緊急時の連絡体制や職員等の初動マニュアルを作成し、備える必要がある。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○家畜伝染病の発生予防・まん延防止対策を迅速かつ的確に行うため、今後も引き続き、関係機関との緊密な連携の下、家畜防疫体制の強化を推進する。</p> <p>町内においても緊急時の連絡体制や職員等の初動マニュアルの作成を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家畜伝染病対策の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 関係機関との連絡体制の強化、初動マニュアル作成</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>		<b>取組主体</b>				
			国				
			県				
			鏡石町				
		民間					
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	初動マニュアル策定	<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	(令和元年度) 策定無	<b>目標値</b>	(令和3年度) 策定有
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
	目標値	策定有	策定有	策定有	/	/	/
	実績値	策定無			/	/	/
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課	<b>担当係</b>	環境G	<b>担当名（内線）</b>	齋藤則行
強靱化のための施策プログラム	① 災害廃棄物処理計画の策定・推進				重点
<b>リスクシナリオ</b>					
番号	内容				
8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態				
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>					
<p>○東日本大震災の経験を踏まえ、平成26年3月に国は従来の指針に代わる新たな「災害廃棄物対策指針」を策定したが、現在、県及び県内市町村において国の新指針に基づく災害廃棄物処理計画の策定には至っていない状況である。</p> <p>被災地における応急対策や復旧・復興の円滑な実施に向け、災害により発生した廃棄物を迅速に処理するため、国の新指針に準拠した災害廃棄物処理計画を策定する必要があることから、国、県及び関係団体等との連携を強化する取組等により、災害廃棄物処理体制の推進を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害廃棄物処理計画の策定・推進</li> <li>  *災害廃棄物処理計画</li> </ul>					
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>					
<p>○現在、「災害廃棄物処理計画」は未策定である。</p> <p>国が策定した「災害廃棄物対策指針」に基づき「災害廃棄物処理計画」を策定し、国、県及び関係団体等との連携を強化する取組等を進め、災害廃棄物処理体制の推進を図る。</p>					
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略	計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和元年度		
具体的な取組【事業内容】	事業名	取組主体			
		国			
		県			
	災害廃棄物処理計画策定事業	鏡石町			
		民間			
<b>指標</b>					
指標名		計画名		現状値	目標値
単位	年度	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				
指標名		計画名		現状値	目標値
単位	年度	R1	R2	R3	R4
	目標値				
	実績値				

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課	<b>担当係</b>	環境G	<b>担当名（内線）</b>	斎藤則行									
強靱化のための施策プログラム	② 災害廃棄物等の処理・収集運搬体制の充実・強化				重点									
<b>リスクシナリオ</b>														
番号	内容													
8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態													
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>														
<p>○大規模な地震や水害等の発生時には、通常どおりの廃棄物処理が困難となるとともに、大量の廃棄物が発生することが見込まれるため、災害廃棄物等の撤去、収集運搬、処理・処分に関する災害時応援協定を関係団体と締結し、大規模災害発生時において災害廃棄物等を迅速に処理するための体制整備に取り組んでいる。</p> <p>今後も、県や関係機関等と協力しながら、災害廃棄物等の処理・収集運搬体制の充実・強化に努めていく必要がある。</p> <p>●災害廃棄物等の処理・収集運搬体制の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 災害廃棄物のストックヤードの選定・確保 * 悪臭防止等の公害対策の実施</li> <li>* ごみの不法投棄防止啓発、監視活動強化 * 道路清掃と害虫駆除 * 可燃ゴミ減量化、リサイクル奨励</li> <li>* 須賀川地方保健環境組合との連携・充実・強化 * 災害廃棄物処理応援協定締結</li> </ul>														
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>														
<p>○災害廃棄物等の処理・収集運搬体制の充実・強化を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 災害廃棄物のストックヤードの選定・確保 スtockヤードの選定・確保を図る。</li> <li>* 悪臭防止等の公害対策の実施 悪臭防止の対策を実施する。</li> <li>* ごみの不法投棄防止啓発、監視活動強化 監視員を委嘱し、監視活動の強化を図る。</li> <li>* 道路清掃と害虫駆除 害虫駆除に関しては行政区の要望により引き続き実施する。</li> <li>* 可燃ゴミ減量化、リサイクル奨励 通常時から資源物の回収を進め、可燃ゴミの減量化とリサイクルの奨励を図る。</li> <li>* 須賀川地方保健環境組合との連携・充実・強化 組合とは引き続き連携・強化を図る。</li> <li>* 災害廃棄物処理応援協定締結 応援協定締結に向けて検討する。</li> </ul>														
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画 鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～ 平成27年度～令和元年度											
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>										
				国										
				県										
				鏡石町										
			民間											
<b>指標</b>														
指標名					計画名			現状値			目標値			
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6							
		目標値												
		実績値												
指標名					計画名			現状値			目標値			
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6							
		目標値												
		実績値												

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム		① 町への支援			重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
8-2	復旧・復興を担う人材の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
○当町の職員・施設等が被災することによって行政機能が大幅に低下し、被災地の復旧・復興が遅れる事態を回避するため、国、県及び他の地方公共団体からの職員応援派遣の措置等を円滑に行う体制整備が求められている。								
●人的支援 * 行政機関からの応援職員の受入整備								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
○引き続き、関係機関との連携を密にしなが、新たに災害が発生した際には速やかに職員を派遣していただくようなスキームの構築を進めていく必要がある。								
●人的支援 * 行政機関からの応援職員の受入整備 * 災害応援協の締結(見直し)								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>			
					国			
					県			
					鏡石町			
					民間			
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	災害応援協定の締結数			<b>計画名</b>	(令和元年度) 1	<b>現状値</b>	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
件	目標値	1	1	2	2	2	2	
	実績値	1						
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>		<b>現状値</b>	<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値							
	実績値							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム	② 大規模災害等における広域応援体制の充実・強化				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
8-2	復旧・復興を担う人材の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○大規模災害等が発生し、単独では十分な応急措置が実施できない場合に備え、友好町村等と相互応援協定、広域応援協定等を締結し、人的・物的支援について広域応援体制を構築している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模災害等における広域応援体制の充実・強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 友好町村等の災害・消防相互応援協定</li> <li>* こおりやま広域圏における応援協定の締結</li> </ul> </li> </ul>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○大規模災害時であっても相互に応援要請・職員派遣の円滑な対応を行うため、各種会議や訓練等の実施を通じて各相互応援協定の実効性を確保し、広域応援体制の充実・強化を図る必要がある。</p> <p>災害応援協定に基づいた相互応援体制の充実・強化に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模災害等における広域応援体制の充実・強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>* 友好町村等の災害・消防相互応援協定</li> <li>* こおりやま広域圏における応援協定の締結</li> </ul> </li> </ul>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～			
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>			
					国			
					県			
					鏡石町			
					民間			
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	災害応援協定の締結数			<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	(令和元年度) 1	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
件	目標値	1	1	2	2	2	2	
	実績値	1						
<b>指標名</b>				<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	目標値							
	実績値							

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課・都市建設課	<b>担当係</b>	総務G・都市G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳・有馬直希			
強靱化のための施策プログラム	③ 復旧・復興を担う人材の育成				重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
8-2	復旧・復興を担う人材の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
○大規模自然災害の発生時において、損壊の危険がある被災建築物や土砂災害危険箇所等における二次災害の発生を防止し、応急復旧活動を円滑に実施する体制を整える。								
被災建築物応急危険度判定士や被災宅地危険度判定士については、業務状況等鑑みながら人材育成に取り組んでいる。								
●復旧・復興を担う人材の育成								
*被災建築物応急危険度判定士の育成 *明日を担う人づくりと生涯学習の推進対策								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
○被災建築物応急危険度判定士や被災宅地危険度判定士については、業務状況等鑑みながら人材育成に取り組んでいく。								
今後も、職員研修により専門知識の深化と幅広い知識の習得を図り、複雑化かつ多様化する復旧・復興業務へ速やかに対応できる人材育成を推進していく必要がある。								
●復旧・復興を担う人材の育成								
*被災建築物応急危険度判定士の育成 *応急危険度判定等の研修会への参加 *明日を担う人づくりと生涯学習の推進対策								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>			
					国			
					県			
	被災建築物応急危険度判定士、被災宅地危険度判定士				鏡石町			
				民間				
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	応急危険度判定士有資格者数	<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和6年度) 2
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
人	目標値	0	0	1	1	2	2	
	実績値	0						
<b>指標名</b>	判定士の講習受講者数	<b>計画名</b>	被災建築物応急危険度判定士、被災宅地危険度判定士		<b>現状値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
人	目標値	1	1	1	1	1	1	
	実績値	0						
<b>指標名</b>	応急危険度判定研修会への参加回数	<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	(令和元年度) 0	<b>目標値</b>	(令和6年度) 1
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
回	目標値	0	1	1	1	1	1	
	実績値	0						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム	④ 災害時応援協定締結者との連携強化				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
8-2	復旧・復興を担う人材の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○大規模災害発生時において、建設関係事業者による応援協力によって応急対策（被災状況の調査や公共施設の応急復旧等）を迅速かつ効果的に行うため、各種建設関係団体と災害時応援協定を締結している。</p> <p>また、消防相互応援協定、友好市町村との災害相互応援協定等締結し連携強化を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時応援協定締結者との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害時相互応援協定締結</li> </ul> </li> </ul>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○消防相互応援協定、友好市町村との災害相互応援協定等締結していることから、今後もさらに連携強化を図っていきたい。</p> <p>円滑な対応に不安があることから、防災訓練等を通じて建設関係事業者との一層の連携強化を図り、日頃から協定内容や初動対応等を確認する取組が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時応援協定締結者との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害時相互応援協定締結</li> </ul> </li> </ul>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>		
					国		
					県		
					鏡石町		
				民間			
<b>指標</b>							
指標名	災害時相互応援協定数	計画名		現状値	(令和元年度) 3	目標値	(令和6年度) 4
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
件	目標値	3	3	4	4	4	4
	実績値	3					
指標名		計画名		現状値		目標値	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	<b>R1</b>	<b>R2</b>	<b>R3</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6</b>
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗								
強靱化のための施策プログラム		⑤ 災害・復興ボランティア関係団体との連携強化			重点								
<b>リスクシナリオ</b>													
番号	内容												
8-2	復旧・復興を担う人材の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態												
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>													
<p>○大規模自然災害等が発生した場合であっても、ボランティアを円滑に受け入れ、ボランティアを必要とする作業内容や場所等の把握、災害ボランティアセンターの設置、ボランティアの活動調整等を適切に行うため、ボランティア受入施設等の担当者研修や災害ボランティアセンター運営講座、NPOなど情報交換や研修会に参加するなど連携強化に努めている。</p> <p>また、社会福祉協議会との連携・協働に向けた協議を行っており、スムーズな事務運営に取り組んでいる。</p> <p>今後も、県内のボランティア関係団体等との連携を強化し、災害・復興ボランティア受入体制の充実を図っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害・復興ボランティア関係団体との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害ボランティア活動環境の整備</li> </ul> </li> </ul>													
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>													
<p>○県内のボランティア関係団体等との連携を強化、社会福祉協議会との連携・協働し、災害・復興ボランティア受入体制の充実・強化を図っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害・復興ボランティア関係団体との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害ボランティア活動環境の整備</li> </ul> </li> </ul>													
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～										
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>								
					国								
					県								
					鏡石町								
					民間								
<b>指標</b>													
<b>指標名</b>					<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5			R 6				
	目標値												
	実績値												
<b>指標名</b>					<b>計画名</b>			<b>現状値</b>			<b>目標値</b>		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5			R 6				
	目標値												
	実績値												

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム		① 地域コミュニティの再生・活性化			重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
8-3	地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
○自然災害等において、住宅等の損壊などにより、日常生活がおくれない生活環境となることから、速やかに住まいの確保に向けた対応ができるよう、体制整備に努めている。							
避難生活を続けている状況下においては、生活環境等の整備や避難者の帰還促進に向けた交流・相談支援等を行うとが、日常生活に必要な生活交通の不足や基本的な生活機能も失いかねない懸念があることから、地域コミュニティの再生・活性化を図っている。							
●地域コミュニティの再生・活性化							
* 地域コミュニティ拠点（地区集会所等）の維持・管理・修繕 * 地域における防災組織の強化							
* 行政区・班組織への加入推進 * 交流の場とするサロン設置・充実							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
○応急期、復旧期、復興期の状況に応じた適切な住まいの確保が必要である。							
被災者の生活再建支援を行う体制強化に努める必要がある。							
●地域コミュニティの再生・活性化							
* 地域コミュニティ拠点（地区集会所等）の維持・管理・修繕 * 地域における防災組織の強化							
* 行政区・班組織への加入推進 * 交流の場とするサロン設置・充実 * 被災者再建見舞金制度の創設							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
				国			
				県			
				鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	地域サロン設置数	<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
<b>件</b>	目標値						
	実績値						
<b>指標名</b>		<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
<b>件</b>	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課・福祉こども課	<b>担当係</b>	都市G・福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗・有馬直希		
強靱化のための施策プログラム	② 地域公共交通の確保				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
8-3	地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○地域住民の通勤、通学、通院、買い物など、日常生活に必要な生活交通を維持・確保するため、公共交通機関の利用促進・経営安定化支援を行っている。</p> <p>町内周遊バス・デマンド運行の実施（高齢者、障がい者等で交通手段が困難な方に自宅で乗降できる無料の「ゆうあいバス」を社会福祉協議会が行っている。町は金銭的な支援を行っている）、さらには、スマートICの活用など地域住民や通勤等の利用拡大に向けては、24時間化への促進が必要不可欠である。</p> <p>鉄道・バス等の地域公共交通は、災害時の救援に係る物資等輸送や住民避難の輸送手段として重要であるとともに、地域住民の生活を支え、地域コミュニティを維持するために必要な生活基盤であることから、引き続き、地域公共交通の維持・確保のための取組を推進していく必要がある。</p> <p>J R 鏡石駅にある東西自由通路の利用者への安心安全の確保のため、耐震化及び改修を進める必要があることから、関係機関と事業推進に向けた取組強化が必要である。さらには、福島空港による利用促進も併せて進める必要がある。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○鉄道・バス等の地域公共交通は、災害時の救援に係る物資等輸送や住民避難の輸送手段として重要であるとともに、地域住民の生活を支え、障がい者や高齢者の福祉施設・病院等への移動、サービスを受けるためにも必要である。</p> <p>「ゆうあいバス」の更なる利便性の向上と利用者拡大のために運営方法等を検討する必要がある。</p> <p>町内周遊バス・デマンド運行の実施についても検討が必要である。</p> <p>●地域公共交通の確保</p> <p style="margin-left: 20px;">*スマートICの利用車輌拡大・周辺道路整備 *スマートICの24時間化への促進 *町内周遊バス・デマンド運行利用</p> <p style="margin-left: 20px;">*鉄道運行の利便性向上（J R 鏡石駅・東西自由通路整備）*バス運行の利便性向上（路線バス運行維持対策） *福島空港の活用促進</p>							
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画		計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～			
具体的な取組 【事業内容】	事業名			取組主体			
				国			
				県			
				鏡石町			
			民間				
<b>指標</b>							
指標名	計画名			現状値	(令和元年度) 0	目標値	(令和3年度) 100
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
%	目標値	10	50	100			
	実績値	0					
指標名	計画名			現状値	(令和元年度) 780	目標値	
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
台	目標値	780					
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳			
強靱化のための施策プログラム		③ 自助・共助の取組促進			重点			
<b>リスクシナリオ</b>								
番号	内容							
8-3	地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態							
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>								
<p>○地域防災力を高めるため、「自助」、「公助」、「共助」の取組を促進し、情報発信や防災出前講座の実施、に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自助・共助の取組促進（自助力、共助力の向上・地域での取組）</li> <li>* 行政区の組織の充実・強化とコミュニティの促進</li> <li>* 消防団、消防活動支援隊等の充実、連携強化</li> </ul>								
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>								
<p>○災害による被害を軽減するためには、防災に関わる機関による「公助」の取組とともに、一人一人が自分の身を守る「自助」の取組と地域の協力・助け合いによる「共助」の取組を促進し、連携を強めることが重要となることから、自助・共助に関する情報発信や防災出前講座の実施、に取り組んでいる。</p> <p>地域の防災活動におけるリーダーとして活躍している消防団員のさらなる知識向上など、今後も、様々な事業を通じて、町民の自助・共助に関する理解を深め、家庭における非常用品の備蓄や地域の防災行事への参加など、自助・共助の取組を促進していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自助・共助の取組促進（自助力、共助力の向上・地域での取組）</li> <li>* 行政区の組織の充実・強化とコミュニティの促進</li> <li>* 消防団、消防活動支援隊等の充実、連携強化</li> </ul>								
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～					
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>				
				国				
				県				
	地域の防災体制整備事業、防災施設設備整備事業			鏡石町				
			民間					
<b>指標</b>								
<b>指標名</b>	消防団員数	<b>計画名</b>	第5次総合計画		<b>現状値</b>	(令和元年度) 169	<b>目標値</b>	(令和6年度) 180
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
人	目標値	169	171	173	175	177	180	
	実績値	169						
<b>指標名</b>	消防活動支援隊委員数	<b>計画名</b>			<b>現状値</b>	(令和元年度) 227	<b>目標値</b>	(令和6年度)
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値	227	230	235	240	245	250	
	実績値	227						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	総務課	<b>担当係</b>	総務G	<b>担当名（内線）</b>	渡辺光徳		
強靱化のための施策プログラム		④ 自主防災組織等の強化				重点	
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
8-3	地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○自主防災組織は、地域住民が「自らの命と地域は自分たちで守る」という意識の下、行政区単位で結成される防災組織であり、自主防災組織が積極的に防災活動に取り組むことより、自主防災組織の機能が強化されるとともに地域住民の防災意識の高揚が期待されており、当町においても、行政区単位の自主防災組織を設置している。</p> <p>また、地域防災の中心的な役割を担う消防団、消防活動支援隊も組織されている。</p> <p>災害ボランティア活動については、社会福祉協議会が行っているが、町としては、運営のための協力をしている。</p> <p style="padding-left: 20px;">* 自主防災組織等の強化 * 消防団、消防活動支援隊の充実・強化</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○自主防災組織の機能が強化されるとともに地域住民の防災意識の高揚が期待される。</p> <p>当町においても、自主防災組織が設置されているが、日頃の取組が重要であることから、防災訓練への実施・参加などに取り組み、今後も引き続き、自主防災組織による防災活動を促進し、自主防災組織の機能強化と地域防災力の向上を図っていく必要がある。</p> <p>また、地域防災の中心的な役割を担う消防団、消防活動支援隊の組織の充実・強化を図る必要がある。</p> <p>災害ボランティア活動の窓口の周知と積極的な参加呼びかけのため、社会福祉協議会とともに広報活動や制度の改善等も含め協議していく。</p> <p>災害時要援護者の地域ごとの台帳整備を行い、ボランティア活動に活かせるようにする。</p> <p style="padding-left: 20px;">* 自主防災組織等の強化 * 消防団、消防活動支援隊の充実・強化</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～		
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>		
					国		
					県		
	地域の防災体制整備事業				鏡石町		
				民間			
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	自主防災組織の設置数			<b>計画名</b>	(令和元年度) 13	<b>現状値</b>	(令和6年度) 13
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	13	13	13	13	13	13
	実績値	13					
<b>指標名</b>	避難行動要支援者対策			<b>計画名</b>	(令和元年度) 20	<b>現状値</b>	(令和3年度) 100
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	20	60	100			
	実績値	20					

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課	<b>担当係</b>	福祉G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗					
強靱化のための施策プログラム	⑤ 避難行動要支援者対策の推進				重点					
<b>リスクシナリオ</b>										
番号	内容									
8-3	地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態									
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>										
<p>○高齢者、障がい者、乳幼児などの要配慮者は、災害情報の受理・認識、避難行動、避難所における生活等の場面で困難に直面することが予想され、要配慮者に対する防災対策が重要な課題となっている。</p> <p>災害発生時、速やかに要配慮者を把握して円滑に避難誘導等を行うため、避難行動要支援者名簿を作成している。</p> <p>65歳以上の高齢者住宅の改修について助成している。これにより自宅での移動や避難時の移動が安全に行うことができる。</p>										
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>										
<p>○避難行動要支援者の避難を想定した訓練の実施等に取り組む必要があり、今後も名簿の作成・随時更新や対象者一人一人の具体的な個別支援計画の作成（見直し）などの取組を引き続き行う。</p> <p>関係機関及び地域住民の協力・連携による避難行動要支援者の避難訓練を実施し、地域防災力の向上及び避難行動要支援者対策の充実を推進していく必要がある。</p> <p style="margin-left: 20px;">* 避難行動要支援者対策の推進（個別計画書の作成）</p>										
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～							
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>	<b>取組主体</b>								
		国								
		県								
	社会資本整備総合交付金事業による高齢者住宅改修事業	鏡石町								
		民間								
<b>指標</b>										
<b>指標名</b>					<b>計画名</b>	避難行動要支援者対策	<b>現況値</b>	（令和元年度） 20	<b>目標値</b>	（令和3年度） 100
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
	目標値	20	60	100						
	実績値	20								
<b>指標名</b>					<b>計画名</b>	高齢者住宅改修事業	<b>現況値</b>		<b>目標値</b>	
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6			
	目標値	100	100	100						
	実績値	100	100	100						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	福祉こども課、総務課、 税務町民課	<b>担当係</b>	福祉G、総務G、町民G	<b>担当名（内線）</b>	矢部憲宗、渡辺光徳、佐藤喜伸		
強靱化のための施策プログラム	⑥ 被災者の生活再建の支援				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
8-3	地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○被害になった被災者に対して介護保険料等の減免を行っている。</p> <p>○災害により（災害関連含む）亡くなった方に対し災害弔慰金の支給を行っている。</p> <p>○災害により住宅や家財に被災した方に災害援護資金の貸し付けを行っている。</p> <p>○平成10年5月に成立した被災者生活再建支援法に基づき、自然災害により著しく被害を受けた世帯へ被災者生活再建支援金を支給している。</p> <p>○地震や風水害等の自然災害により被害のあった住宅について、内閣府の定める災害の被害認定基準等に基づき、全壊、半壊等の「被害の程度」を調査し、判定している。人事異動等により調査員の知識の引継ぎなどが困難である。</p> <p>○住宅等に被害のあった被災者へ町民税、固定資産税などの町税、国民健康保険税や後期高齢者医療保険料などの減免した一部負担金の免除などを行っている。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○被害になった被災者に対して介護保険料等の減免について他の町税や保険料と周知や申請方法を合わせて検討する。</p> <p>○被災者の速やかな生活再建は必須であるため、申請に係る支援体制など引継ぎをしていきたい。</p> <p>○内閣府で作成している実施体制の手引きを参考に、調査計画の策定と調査体制の検討、税務OBなど実務経験者の活用、応援・授受に係るネットワークと体制の整備と県との連携などに取り組んでいく。</p> <p>○申請の受付体制を整えるため、交付会場の想定や被災者への申請に関する広報計画などに取り組んでいく。</p>							
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～				
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>			<b>取組主体</b>			
	災害救助法、災害弔慰金の支給等に関する法律、被災者生活再建支援法			国			
				県			
	災害の被害認定基準等に基づく調査			鏡石町			
	住宅被害判定士の育成			民間			
<b>指標</b>							
<b>指標名</b>	被災者生活再建支援制度研修への参加回数				<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	<b>目標値</b>
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						
<b>指標名</b>	住宅被害認定調査員数				<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	<b>目標値</b>
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						
<b>指標名</b>	研修会への参加回数				<b>計画名</b>	<b>現状値</b>	<b>目標値</b>
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	都市建設課、総務課	<b>担当係</b>	都市G、総務G	<b>担当名（内線）</b>	有馬直希、渡辺光徳								
強靱化のための施策プログラム	⑦ 応急仮設住宅の確保				重点								
<b>リスクシナリオ</b>													
番号	内容												
8-3	地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態												
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>													
○災害により住家が滅失した被災者のうち、自らの資力では住宅を確保することができない者に対し、簡単な住宅を仮設し一時的な居住の安定を図ることが必要である。													
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>													
○災害により住家が滅失した被災者に応急仮設住宅を提供し、一時的な居住の安定を図るため、平時においておらかじめ二次災害の危険がない建設適地を把握し、早期着工できる準備をしておく。建設時には県及び建設業者と共同し、建設に関する計画の立案や技術的援助等の要請を行う。また、借上げ住宅の提供にあつては、災害時に利用可能な町営住宅等の把握に努め、災害時に迅速にあつせんできるよう、あらかじめ体制を整備する。													
○災害救助法による住宅応急修理制度の実施にあたって県と共同して行う。													
○建設された応急仮設住宅における適切な管理、運営を行う。													
<b>関連計画名</b>	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画	<b>計画期間</b>	平成24年度～令和3年度 平成25年度～										
<b>具体的な取組【事業内容】</b>	<b>事業名</b>				<b>取組主体</b>								
	応急仮設住宅制度（借上げ住宅含む）、住宅応急修理制度				国								
					県								
					鏡石町								
					民間								
<b>指標</b>													
指標名					計画名			現状値			目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6						
	目標値												
	実績値												
指標名					計画名			現状値			目標値		
<b>単位</b>	<b>年度</b>	R1	R2	R3	R4	R5	R6						
	目標値												
	実績値												

## 国土強靱化地域計画における脆弱性評価・施策調査票

<b>担当課</b>	健康環境課、総務課 教育課	<b>担当係</b>	健康G、総務G、教育G	<b>担当名（内線）</b>	岩橋ひとみ、渡辺光徳、角田智晴		
強靱化のための施策プログラム	⑧ 心の健康への専門的な支援の推進				重点		
<b>リスクシナリオ</b>							
番号	内容						
8-3	地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態						
<b>現在の取組状況【目標に対する現在の状況（課題等の整理）：脆弱性評価】</b>							
<p>○災害の状況により避難所、被災家庭等を巡回し被災者に対する健康管理面の保健指導を行っている。</p> <p>○メンタルヘルスケアについては、必要時、県や医療機関、福祉関係者等との連携を図りながら健康相談等を実施し、被災者の健康状況の把握をしている。</p> <p>○サロンなどの居場所の利用促進、情報提供、個別の支援、また家族全体への支援が必要になる場合も多く、支援者不足により対応が困難。</p>							
<b>現状に対する今後の方針【現状からの改善点・対応策：強靱化推進方針】</b>							
<p>○非災害時からメンタルヘルスに関わる基本的な知識や心理的応急処置（PFA）など、一般町民が行える技術を学ぶ機会を提供する。それにより災害によって受けるメンタルヘルスのダメージを緩和し、心の減災を図る。</p> <p>○サロンなど居場所づくりの充実・拡充をしていく必要がある。</p>							
関連計画名	第5次総合計画 鏡石町地域防災計画			計画期間	平成24年度～令和3年度 平成25年度～		
具体的な取組 【事業内容】	事業名				取組主体		
					国		
					県		
	保健師等による健康相談及び訪問指導				鏡石町		
					民間		
<b>指標</b>							
指標名	計画名			現状値	目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						
指標名	計画名			現状値	目標値		
単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値						
	実績値						